

ARCHITREND ZERO シリーズ

Q & A

平面図？



「平面図」の
お困りごと

お困りごとを解決！

疑問に思っていることを
わかりやすく解説します。



目 次

Q : 一部がアール（円弧）になる部屋の入力方法	1
Q : 間崩れの入力方法	3
Q : 部屋の中に別の部屋を入力しようとすると「入力できませんでした」と表示されると きの対処方法	7
Q : 階段下に物入を入力する方法	12
Q : 小屋裏収納の入力階について	14
Q : 部屋のスパンを変更する方法	15
Q : 間取りを 910 から 1000 に変更する方法	17
Q : 間取りを左右反転する方法	19
Q : 部屋名を移動する方法	21
Q : メーター モジュールで入力したとき、帖数が合わないのを合わせる方法	22
Q : 柱のサイズの初期値を変更する方法	24
Q : 外部に柱を入力する方法	27
Q : 柱と壁のサイズを 105 から 120 にまとめて変更する方法	29
Q : 通し柱の位置を壁面に合うように移動する方法	32
Q : 柱を表現しない方法	34
Q : 仕上のない、現しの柱を作成する方法	37
Q : 「柱壁」ダイアログの「非構造柱」について	39
Q : 外部に袖壁を追加する方法	40
Q : 外部に斜めの袖壁を入力する方法	43
Q : たれ壁（下がり壁）を表現する方法	46
Q : 下端が斜めのたれ壁を入力する方法	49
Q : 外壁を真壁で表現する方法	51
Q : 造作出窓の作成方法	57
Q : 妻壁に、屋根勾配に沿った台形建具を入力する方法	59
Q : 片引き戸のアウトセット建具を入力する方法	61
Q : 和室にサッシを入力したとき、内障子が付かないようにする方法	64
Q : シャッター付きの建具を入力する方法	65
Q : 建具の幅を指定して入力する方法	67
Q : 同じ位置に取付高が異なる建具を重ねて入力する方法	68
Q : 建具の幅、入力位置を変更する方法	70
Q : 建具の開き方向を変更する方法	73

Q : 建具の三方をクロスで巻き込むようにする方法	75
Q : 片引き戸を外付け・引き込みで表現する方法	78
Q : 建具記号の基準増減の数値と、建具属性の取付高が合わないときの対処方法	80
Q : 「一括作成」の機能について	83
Q : 手動で入力した柱はそのまで、一括作成する方法	85
Q : 追加した柱・壁に壁仕上をまわす方法	86
Q : 仕上作成を行っても仕上が入れ替わらないようにする方法	87
Q : 1階と2階の外壁仕上の目地を合わせる方法	88
Q : 階段の入力方法	91
Q : 外階段の入力方法	96
Q : 多角形の階段や踊り場を入力する方法	99
Q : 2階に階段を複写する方法	102
Q : 階段の段数を変更したときに、蹴上高を合わせる方法	104
Q : 階段の切断線を変更する方法	106
Q : 2階から上に上がる階段の立体を消す方法	108
Q : 上端が斜めの手摺壁を入力する方法	110
Q : パースに外部の梁を表現する方法	112
Q : バルコニーの入力方法	114
Q : バルコニーの手摺壁の仕上を張り分ける方法	119
Q : 手摺壁の高さを一部だけ変更する方法	121
Q : パースモニタで筋かいを表現する方法	123
Q : 平面図で方位マークを入力する方法	126
Q : 部品を入力するとき、向きを変えて配置する方法	128
Q : 建材マスターの「リンク切れ取得」をおこなってもリンク切れになるときの対処方法	129
Q : 2階平面図に下階の屋根を読み込む方法	130
Q : 平面図に配置図を読み込む方法	132
Q : SketchUP データを取り込む方法	134

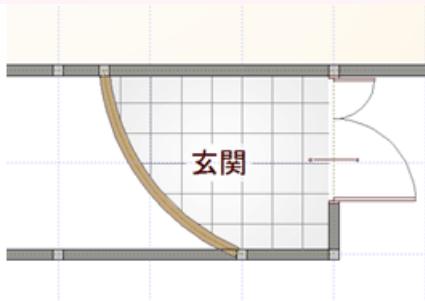
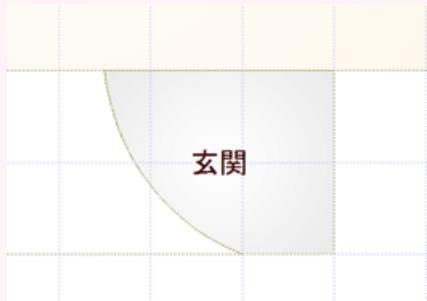
平面図

Q

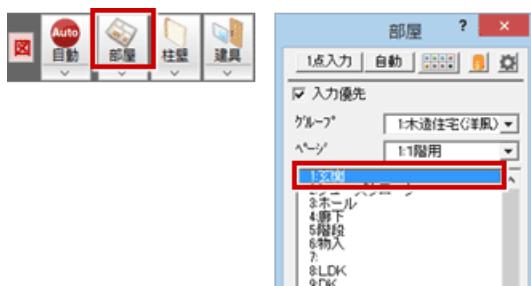
一部がアール（円弧）になる部屋の入力方法を教えてください。

A

部屋の入力方法を「多角円形」に変更して入力します。



1 「部屋」をクリックして、入力したい部屋を選びます。



2 入力方法を「多角円形」に変更します。



3 部屋の範囲（次図：1, 2）を順に入力します。



4

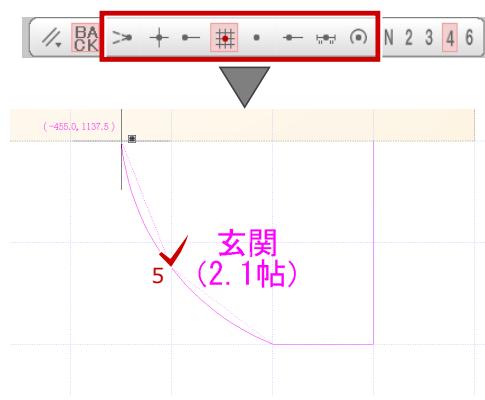
円弧の開始点は、同じ点（次図：3, 4）を2回クリックします。



5

次に、通過点（次図：5）をクリックします。クリックする通過点の位置によってピックを切り替えます。

※ ここでは「ピック（グリッド）」をONにします。



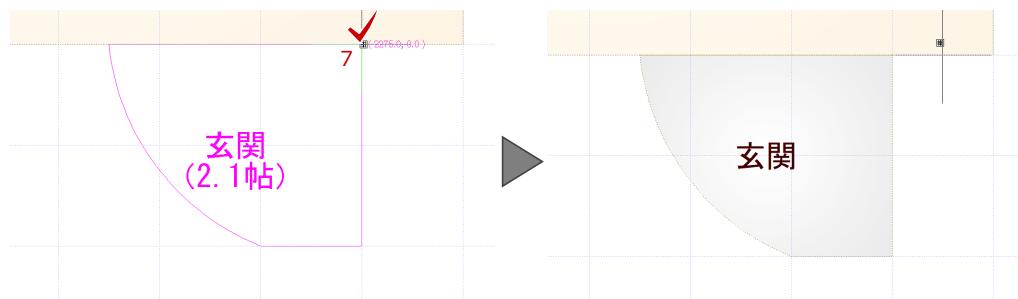
6

終点（次図：6）をクリックします。



7

最後に1点目（次図：7）を再度クリック、またはポップアップメニューの「OK」をクリックします。



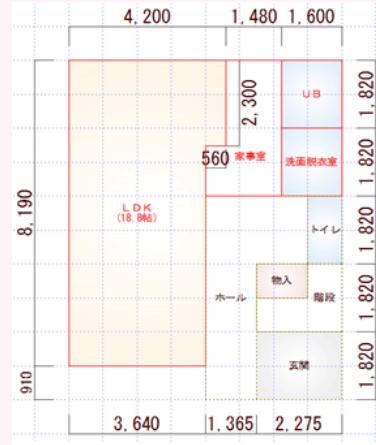
平面図



間崩れの入力方法を教えてください。



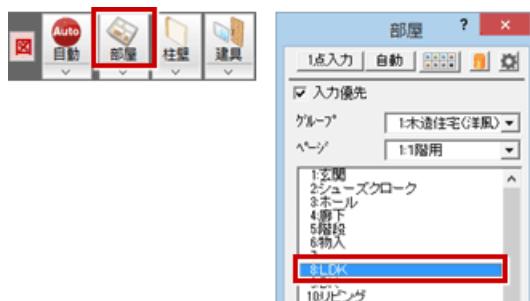
「相対座標入力」や「部屋」ダイアログの「1点入力」を使用して、間崩れした部屋を入力します。



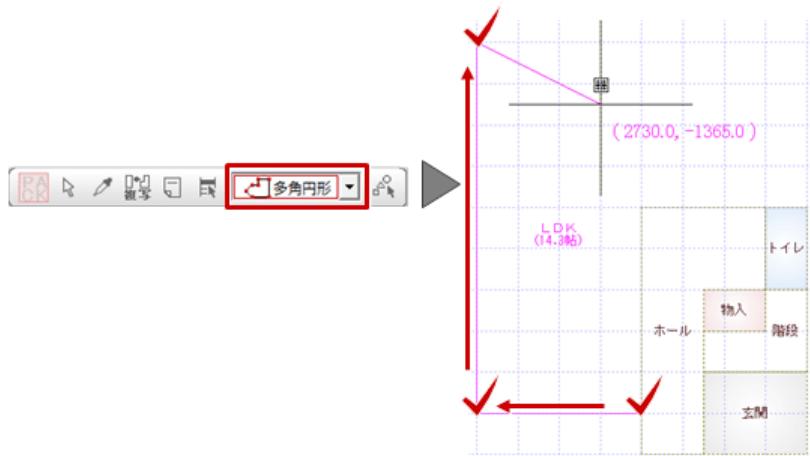
相対座標入力を使用して入力する

多角形の部屋のときは、「相対座標入力」を使用して入力点からの相対座標値で指定します。

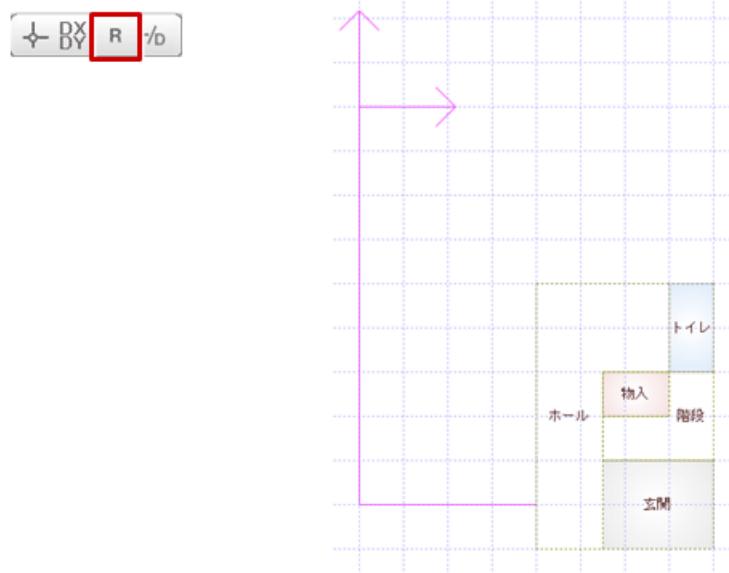
- 1 「部屋」をクリックして、入力したい部屋を選びます。



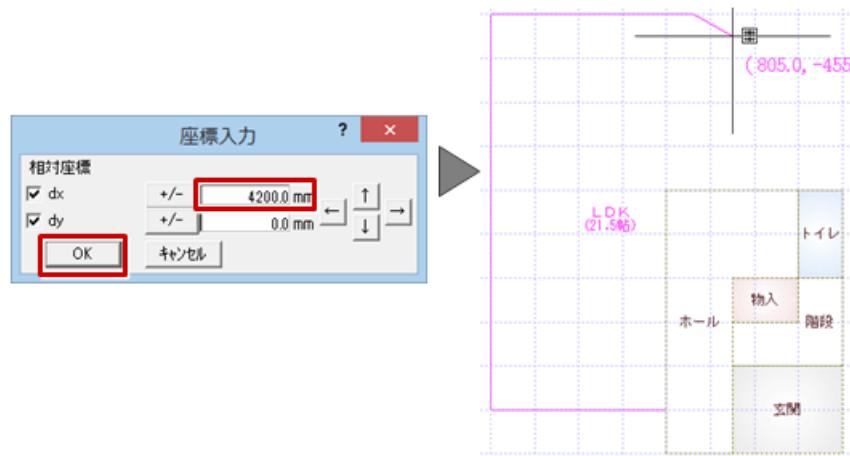
- 2 入力方法を「多角円形」にし、グリッドにのる点まで順にクリックします。



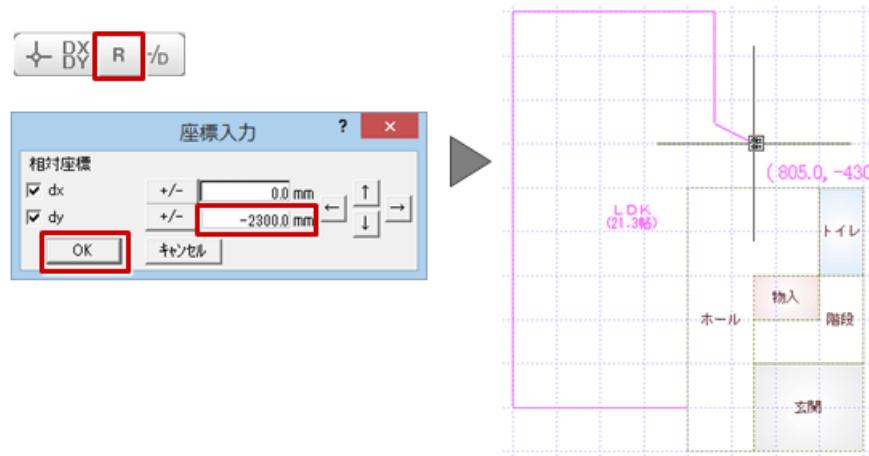
3 グリッドにのらない点をクリックするときは、「相対座標入力」をONにします。



4 ここでは「座標入力」ダイアログの「dx」に「4200」と設定して、「OK」をクリックします。

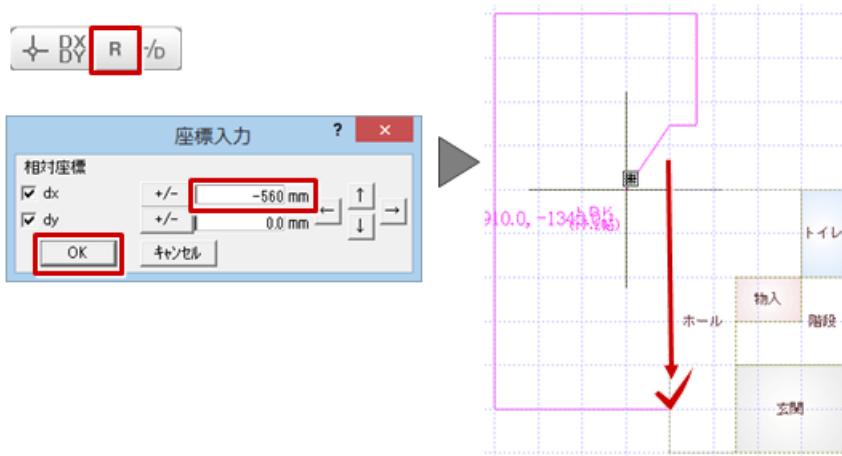


5 続けて「相対座標入力」をONにし、「dy」に「-2300」と設定して、「OK」をクリックします。



6 「相対座標入力」をONにし、「dx」に「-560」と設定して、「OK」をクリックします。

7 終点をクリックして、部屋入力を終了します。

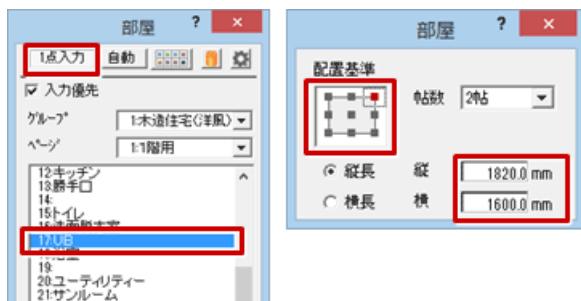


1 点入力を使用して入力する

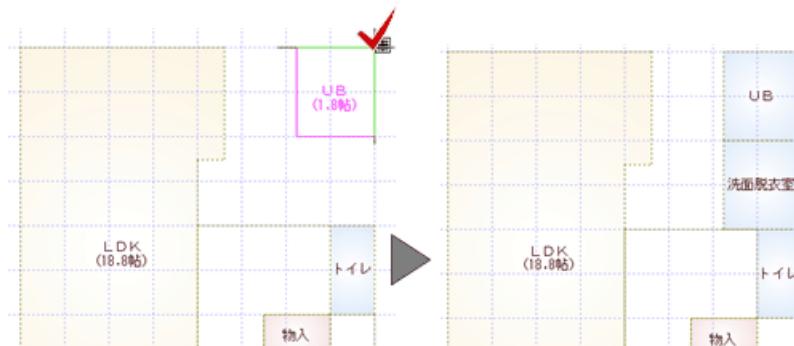
矩形の部屋のときは、部屋サイズを指定してから部屋を入力します。

1 「部屋」ダイアログから入力したい部屋を選び、「1点入力」をONにします。

2 ここでは「縦」を「1820」、「横」を「1600」と設定し、「配置基準」は右上をONにします。



3 設定したサイズのラバーバンドが表示されるので、配置位置をクリックします。
同様に、洗面脱衣室も入力します。



4

残りの部屋を選びます。

ここでは「ユーティリティー」を選び、「部屋名」を「家事室」に変更します。

5

「1点入力」を OFF にし、「入力優先」も OFF にして、部屋の範囲を指定します。

※ 範囲を指定する際、「入力優先」が OFF のため既存の部屋と重なってもかまいません。



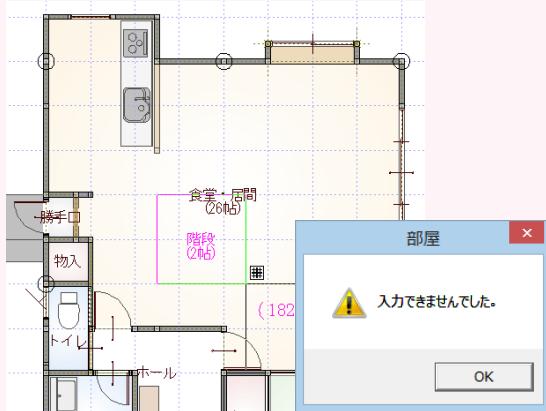
平面図

Q

部屋の中に別の部屋を入力しようとすると「入力できませんでした」と表示されるときの対処方法を教えてください。

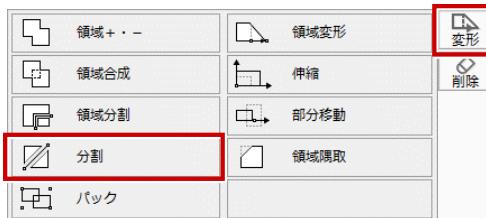
A

ドーナツ形状となるように部屋を入力できません。
部屋を分割してから別の部屋を入力します。

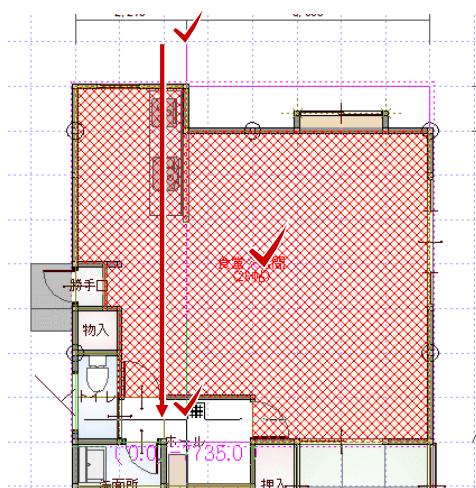


部屋を分割して別の部屋を入力する

1 「変形」メニューから「分割」を選びます。

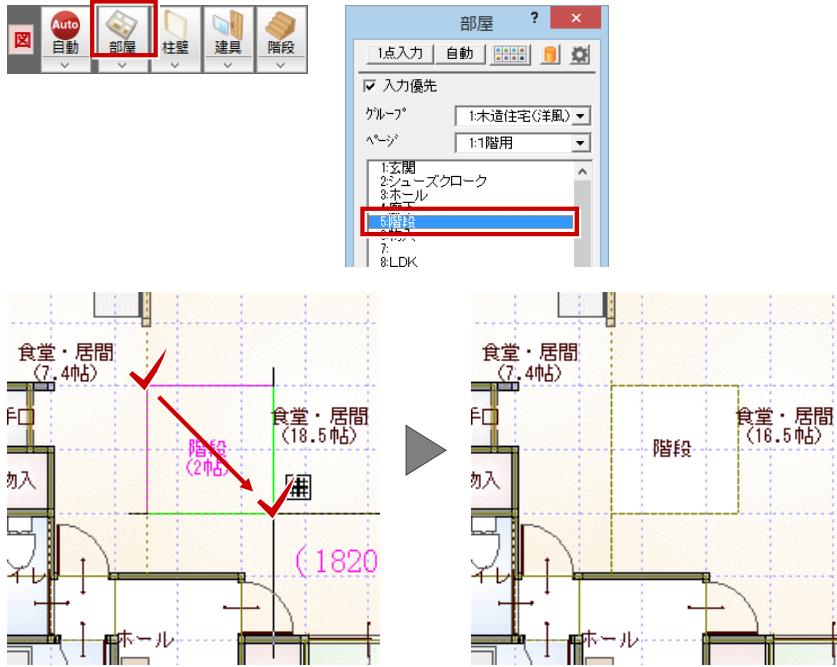


2 部屋を選択して、分割する2点をクリックします。



3

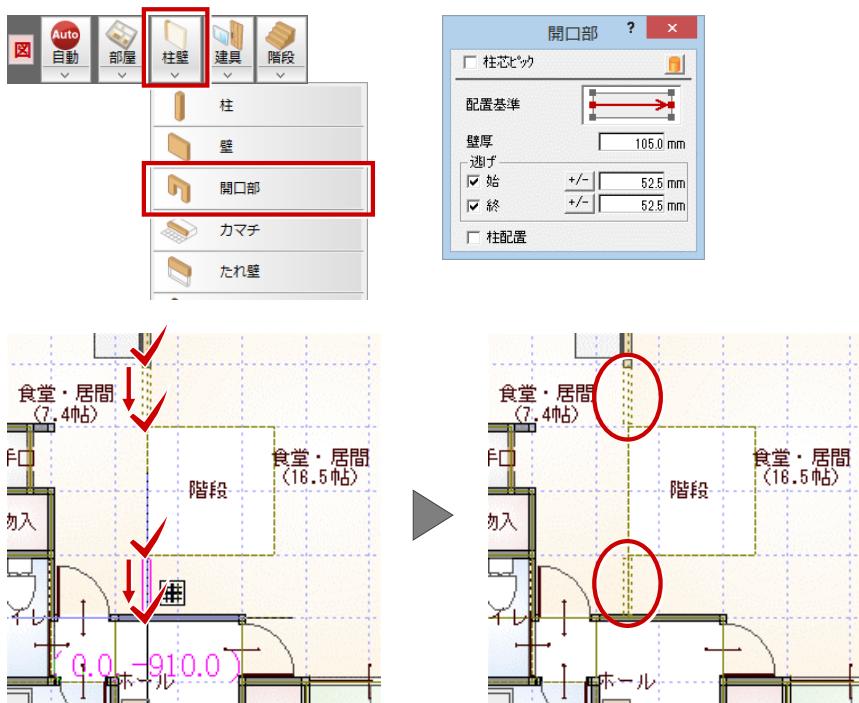
「部屋」ダイアログで部屋を選び、分割した部屋線を基準にして部屋を入力します。



4

分割された部屋の間には、「柱壁」メニューの「開口部」で開口を入力します。

※ ここでは、始点と終点に「逃げ」を設定しています。

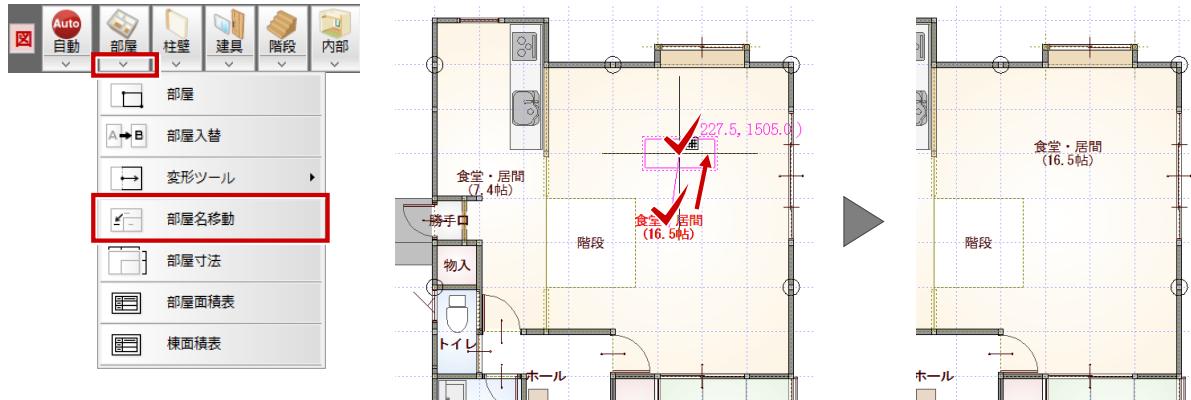


分割した部屋の帖数を修正する

分割した部屋にはそれぞれに部屋名や面積が表示されるため、1部屋だけ表示するように修正します。

1

「部屋」メニューから「部屋名移動」を選んで、部屋名を移動します。



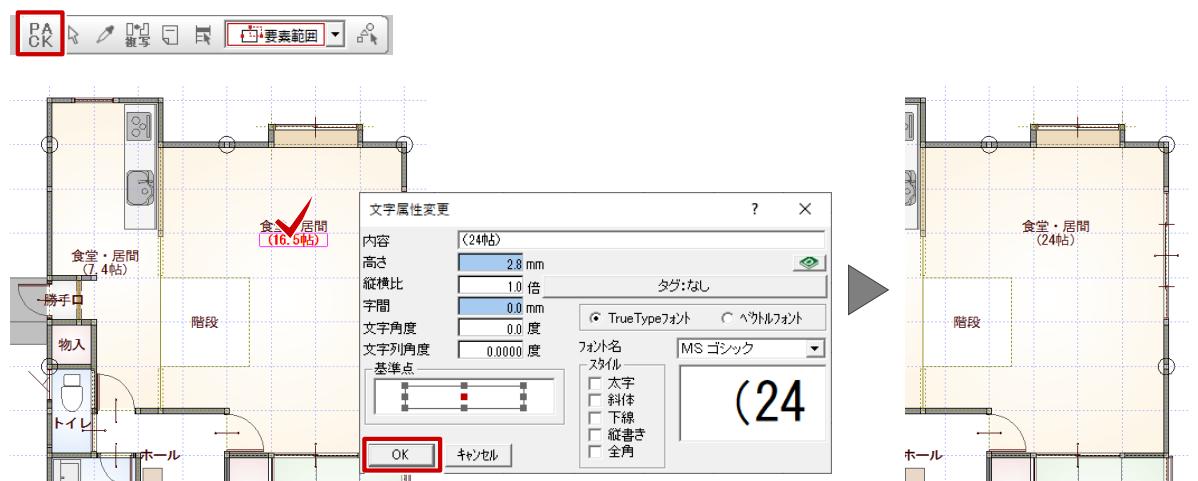
2

「文字」メニューから「文字属性変更」を選びます。



3

「パック化選択切替」を OFF にして、残す方の面積部分をクリックし、分割した2部屋の面積を合わせた帖数に変更します。



4

「パック化選択切替」を ON に戻します。

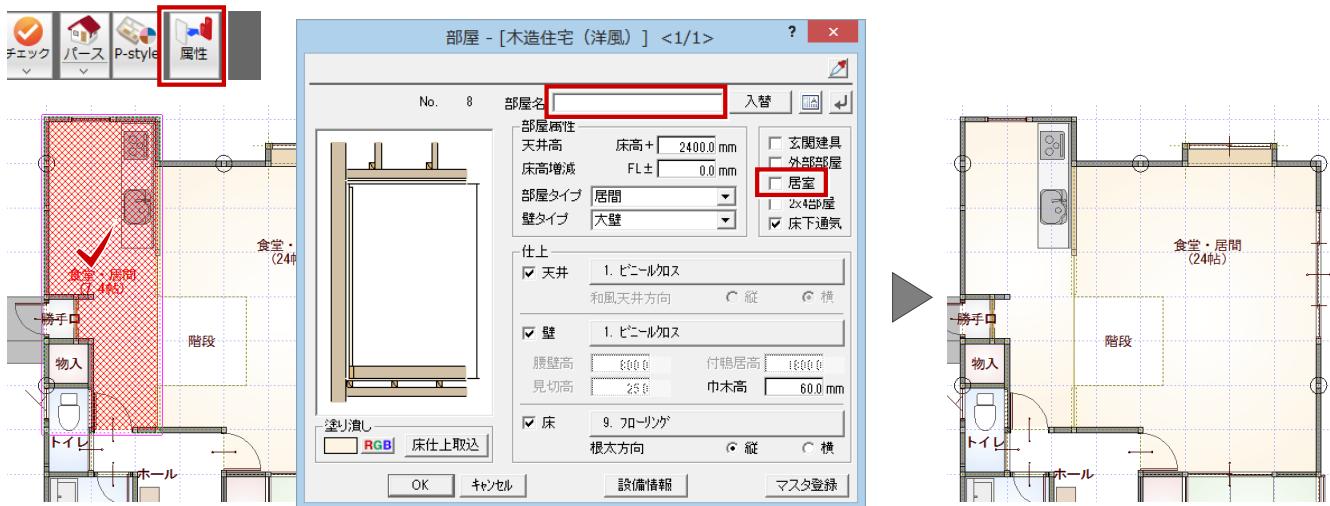


5

「属性変更」をクリックして、部屋名を削除する方の部屋をクリックします。

6

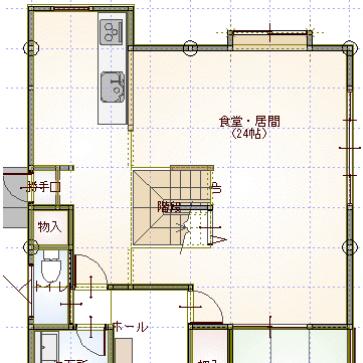
「部屋」ダイアログの「部屋名」を空欄にして、「居室」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



仕上を再作成する

1

階段まわりに必要なシンボルや建具等を入力します。



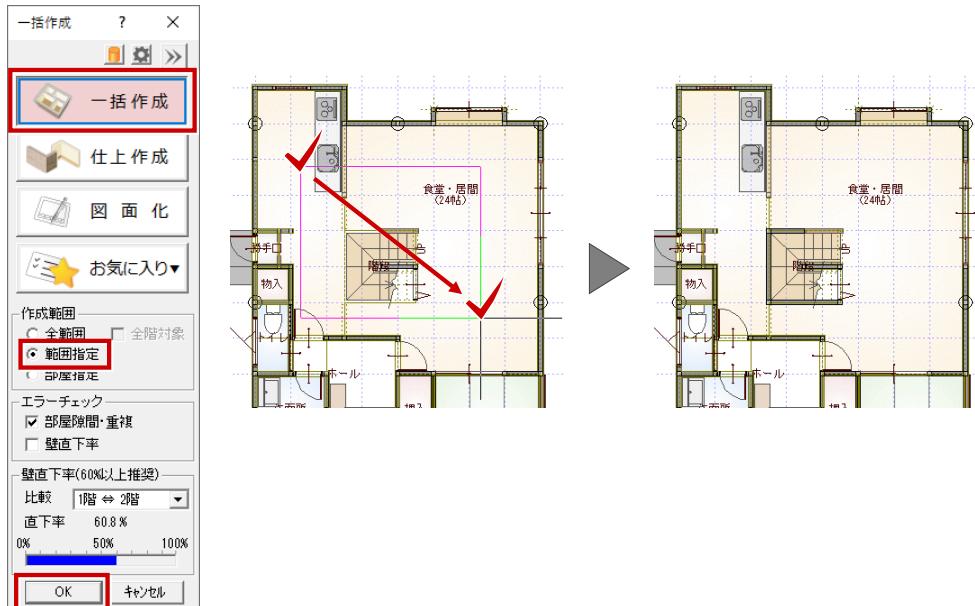
2

「一括作成」をクリックします。



3 「範囲指定」をONにして、「OK」をクリックします。

4 分割された部屋が含まれるように範囲をクリックします。



- 部屋と同様、他図面でも領域で作成されているものはドーナツ形状にすることはできません。
領域を分割して入力します。
例：屋根、床・天井仕上、敷地、床面積など

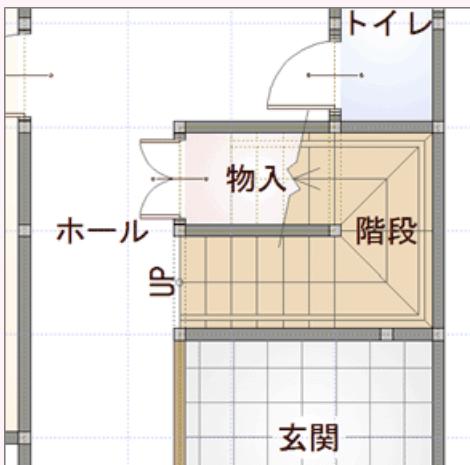
平面図

Q

階段下に物入を入力する方法を教えてください。

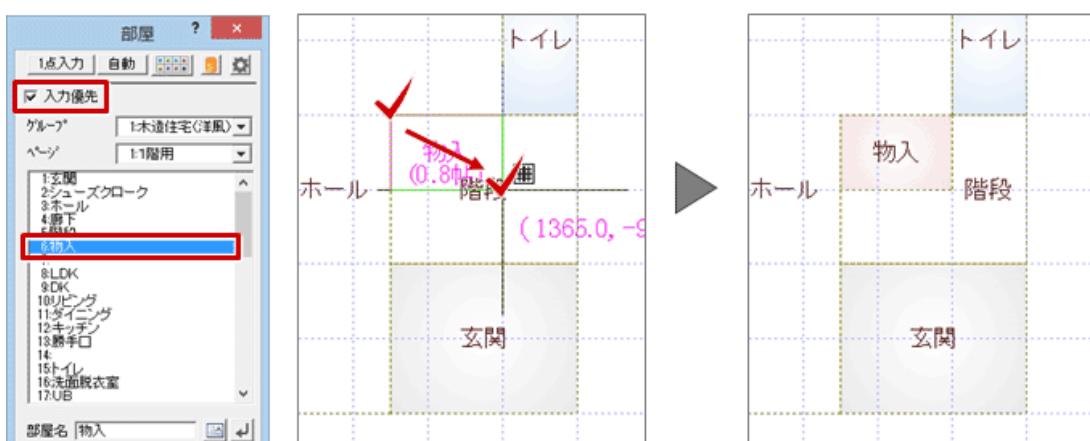
A

「入力優先」を ON にして階段室の上から物入部屋を入力し、階段シンボルを入力後に「一括作成」を実行します。

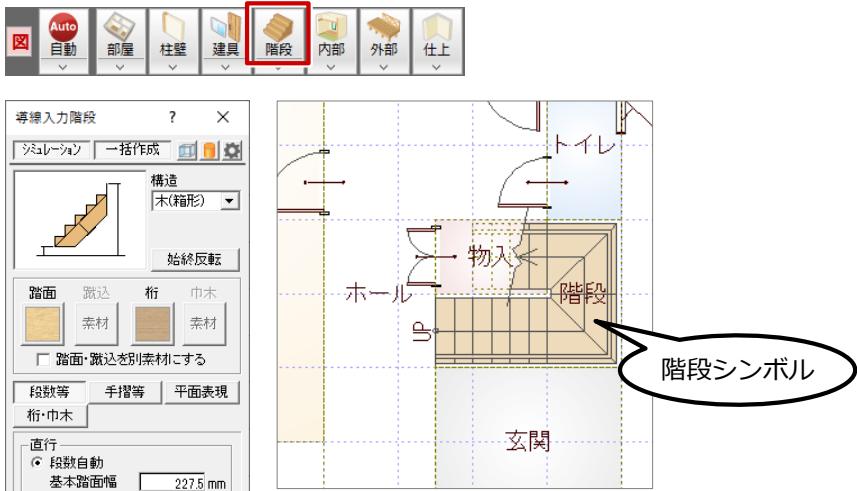


1 「部屋」をクリックして、「物入」を選択します。

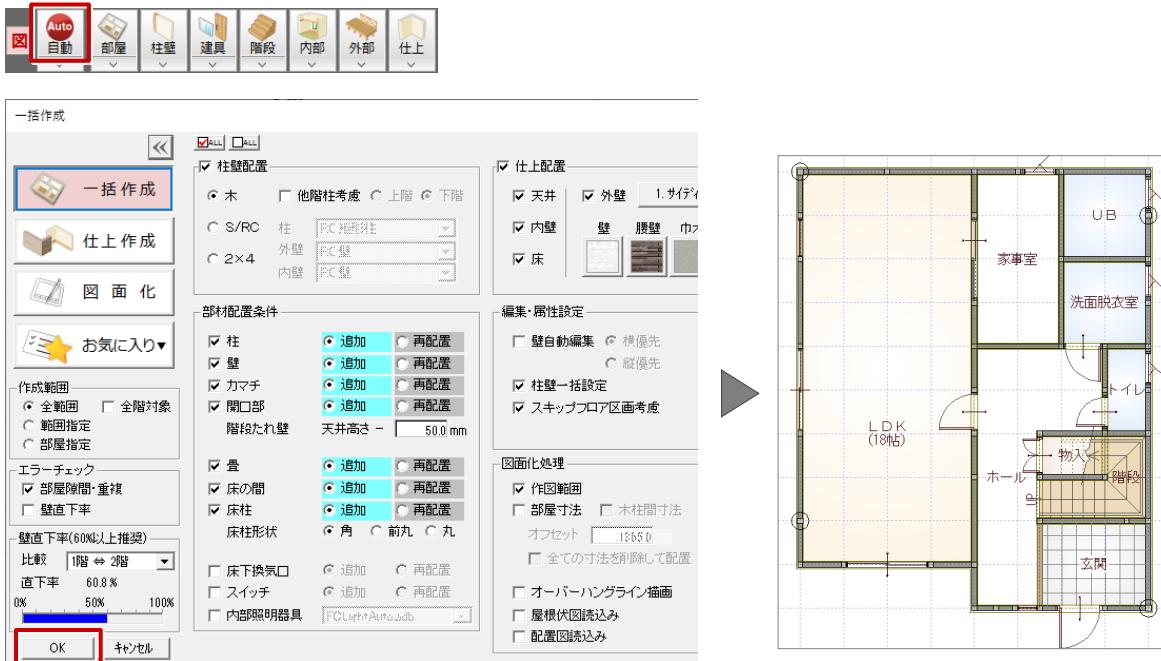
2 「入力優先」が ON になっていることを確認して、階段室に重ねるように入力します。



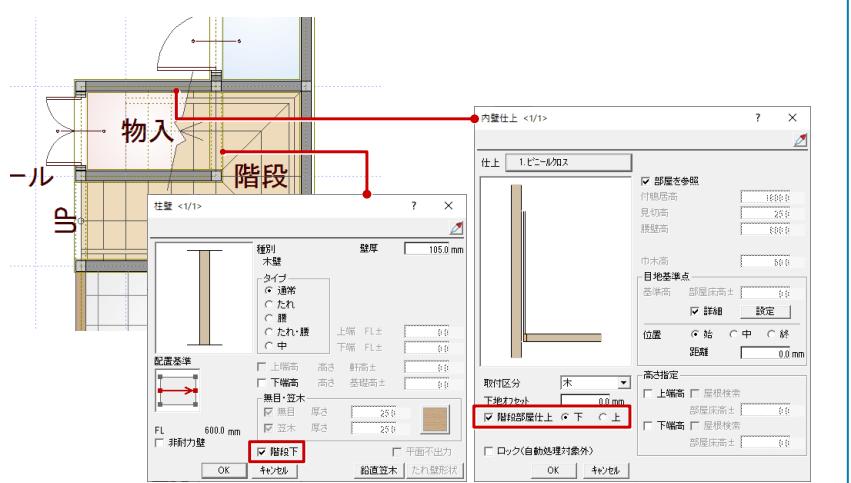
3 「階段」をクリックして、階段シンボルを入力します。 ※ ここでは、建具も入力しています。



4 「一括作成」をクリックして、柱壁や仕上などを配置します。



- 「一括作成」の前に階段シンボルを入力しておくことで、階段下物入の壁や仕上がうまく納まるように自動処理されます。



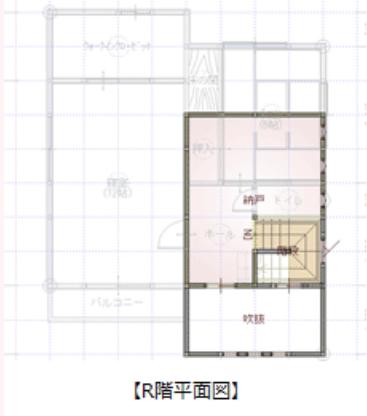
平面図

Q

小屋裏収納はどこに書けばいいのか教えてください。

A

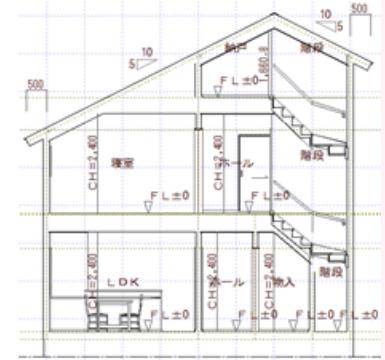
R階平面図で、小屋裏収納の部屋や建具などを入力してください。



【R階平面図】



【断面パース】



【断面図】

- ・屋根はR階の下の階で入力します。
 ・小屋裏に天井がある場合は、部屋属性の天井高を参照して「一括作成」を行ったときに天井が作成されます。
 ただし、天井は水平な状態で作成されるため、屋根より天井が飛び出す可能性があります。その場合は天井高を変更するか、天井伏図の「変形」メニューの「屋根参照」コマンドで屋根勾配に応じた勾配天井にできます。



- ・平面図からシックハウスチェックに連動させる場合、シックハウスチェックではR階の検討ができないため、注意が必要です。小屋裏収納の下の部屋で小屋裏部分の気積も考慮することで検討します。

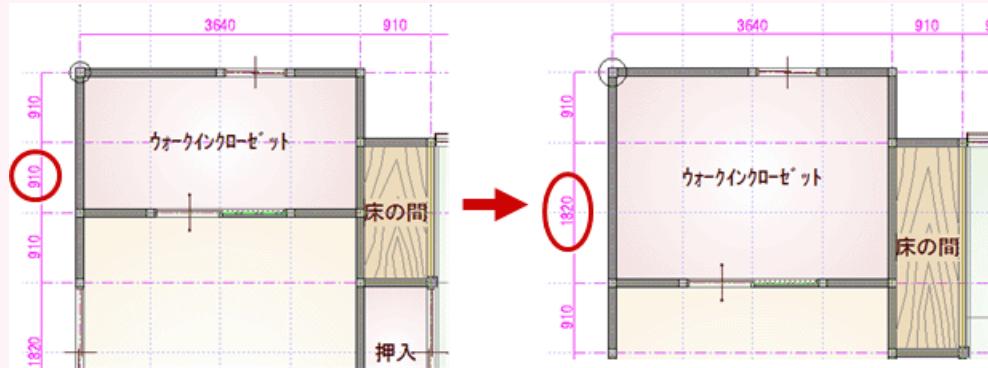
平面図

Q

部屋のスパンを変更する方法を教えてください。

A

「部屋」メニューの「変形ツール」の「部屋スパン変更」を使って、部屋のスパンを変更します。



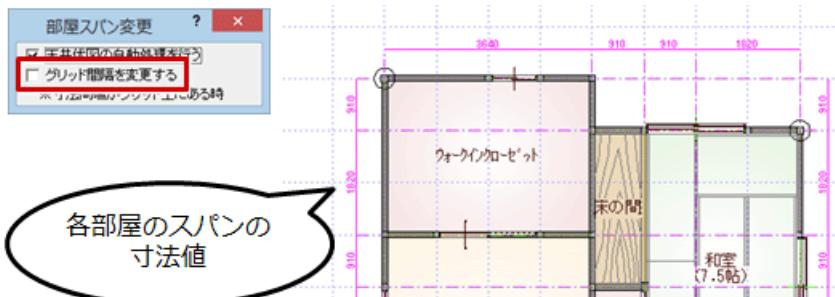
1

「部屋」メニューから「変形ツール」の「部屋スパン変更」を選びます。



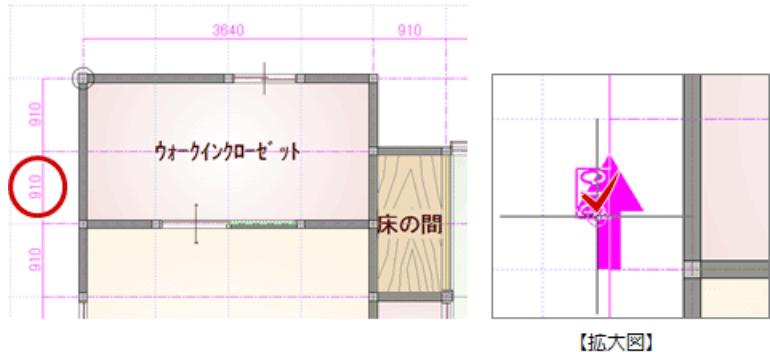
2

「部屋スパン変更」ダイアログの「グリッド間隔を変更する」が OFF であることを確認します。
※ 同時にグリッド間隔も部分的に変更したいときは ON にします。



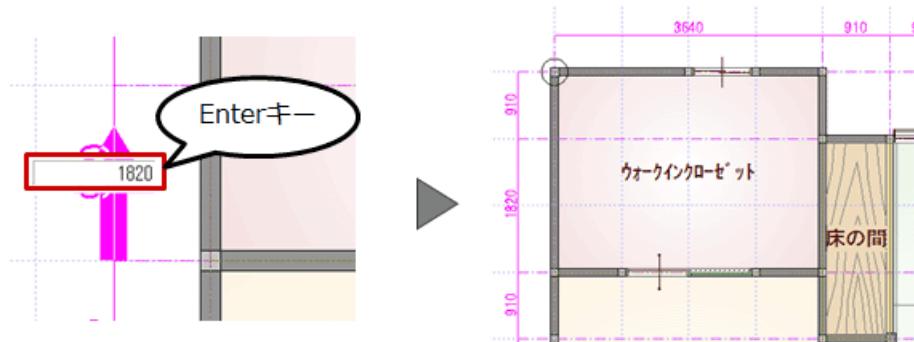
3

変更する部屋の寸法にカーソルを合わせ、伸縮する方向の矢印（ラバーバンド）が表示された状態で寸法をクリックします。



4

変更する数値（ここでは「1820」）を入力して、Enterキーを押します。
指定したスパンで複数の部屋が変形されます。



平面図

Q

間取りを 910 から 1000 に変更する方法を教えてください。

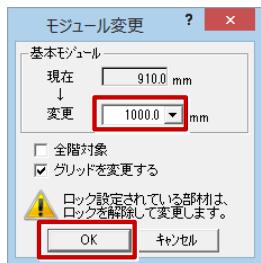
A

「ツール」メニューの「モジュール変更」を使用して、モジュールを変更します。

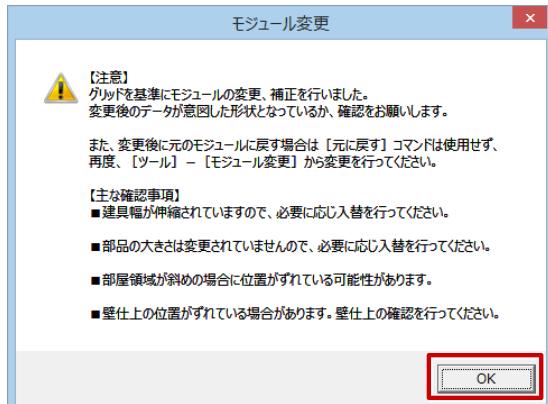
1 「ツール」メニューから「モジュール変更」を選びます。



2 「モジュール変更」ダイアログの「変更」を「1000」と設定して、「OK」をクリックします。
※ 平面図の全階をまとめて変更したいときは、「全階対象」を ON にします。



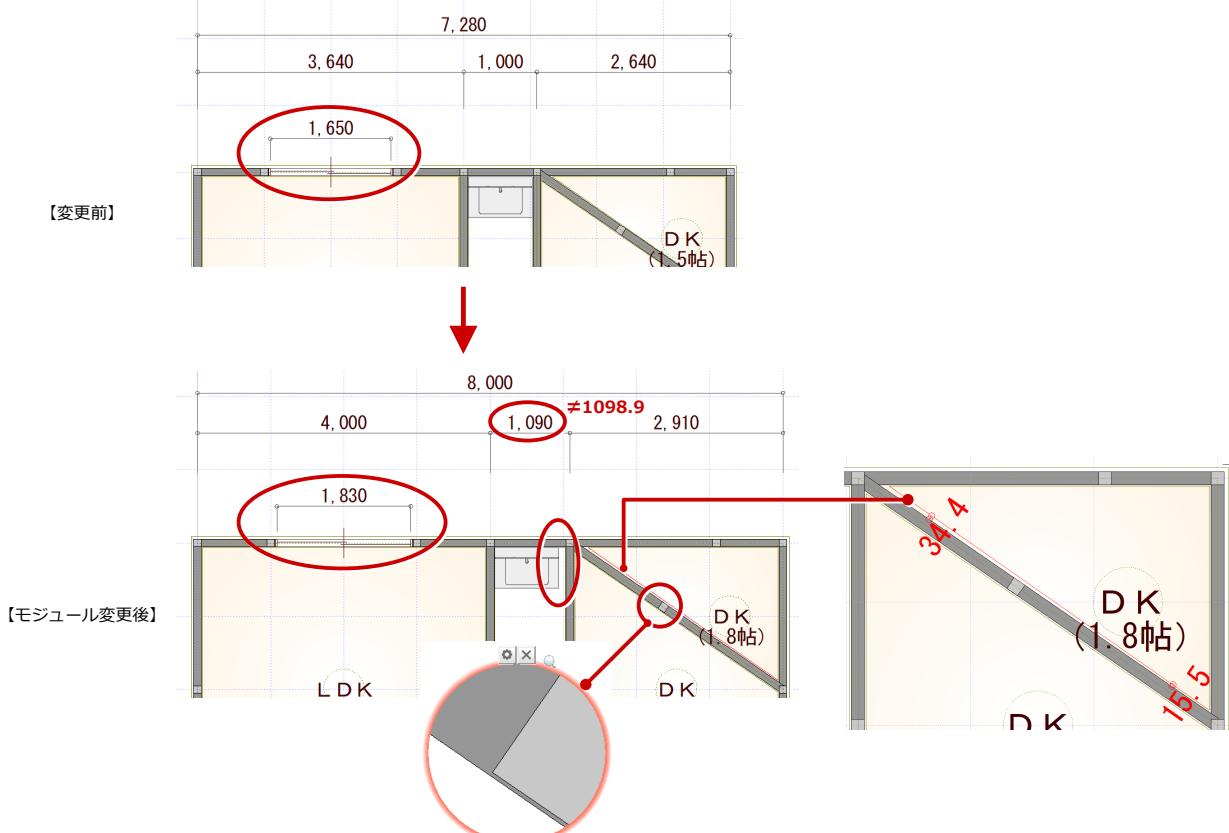
3 確認画面の【注意】【主な確認事項】を確認し、「OK」をクリックします。



4 変更後のデータを確認します。



- ・「モジュール変更」は平面図のみが対象です。モジュールを変更後、天井伏図と屋根伏図の編集が必要です。
 - ・変更後のデータが意図した形状となっているか、必ず確認してください。
 - 建具の幅は伸縮します。適切な寸法の建具に入れ替えてください。
 - 部品の寸法は変わりません。ユニットバスなどの部品で、壁と部品の隙間が大きくなる場合があります。
適切な寸法の部品に入れ替えてください。
 - 間崩れの場合、部屋領域が比率に応じた寸法になっていない可能性があります。
 - 部屋領域が斜めの場合に、柱などの位置がずれていることがあります。
 - 壁仕上の位置がずれていることがあります。



平面図

Q

間取りを左右反転する方法を教えてください。

A

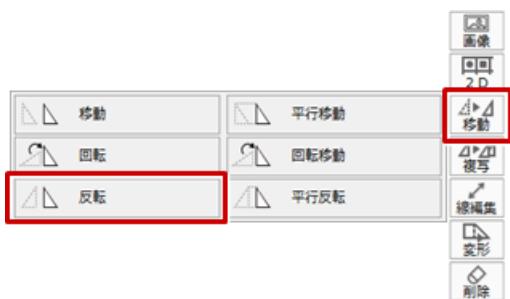
「表示」メニューの「仕上表示」で仕上を表示してから、
「移動」メニューの「反転」を使って、間取りを反転します。

1 「表示」メニューから「仕上表示」を選びます。

※ 反転するときに仕上もすべて選択するため、仕上を表示します。



2 「移動」メニューから「反転」を選びます。



3 反転するデータの範囲を指定します。

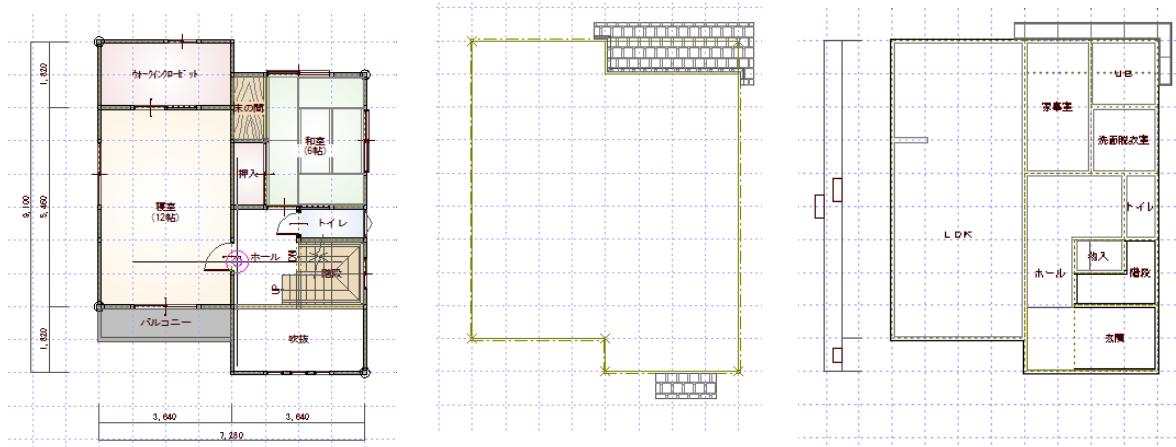


4 反転の基準点をクリックし、方向を確認してクリックします。

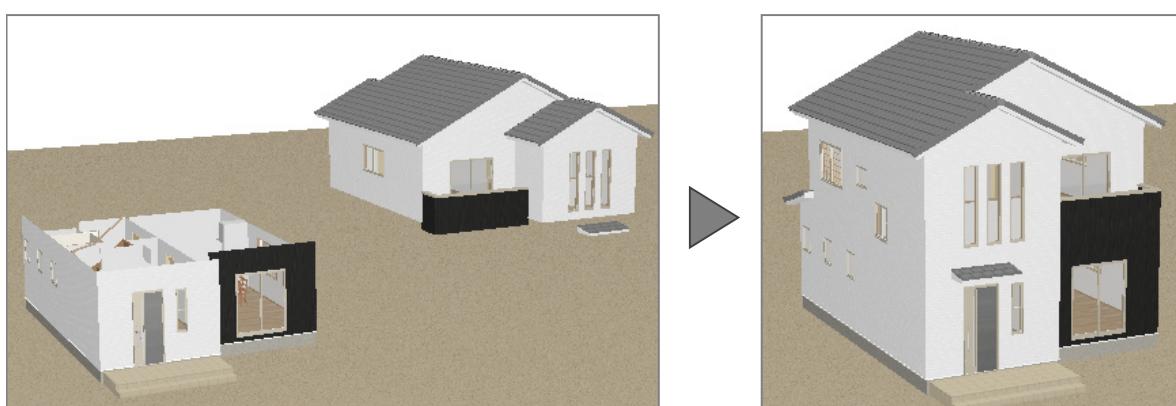


5 1階平面図を反転すると、他の図面と位置がずれます。

1階平面図と同様に、作成済みの他階平面図、屋根伏図、天井伏図を反転します。



6 「パースモニタ」をクリックし、建物にズレがないことを確認します。



平面図

Q

部屋名を移動する方法を教えてください。

A

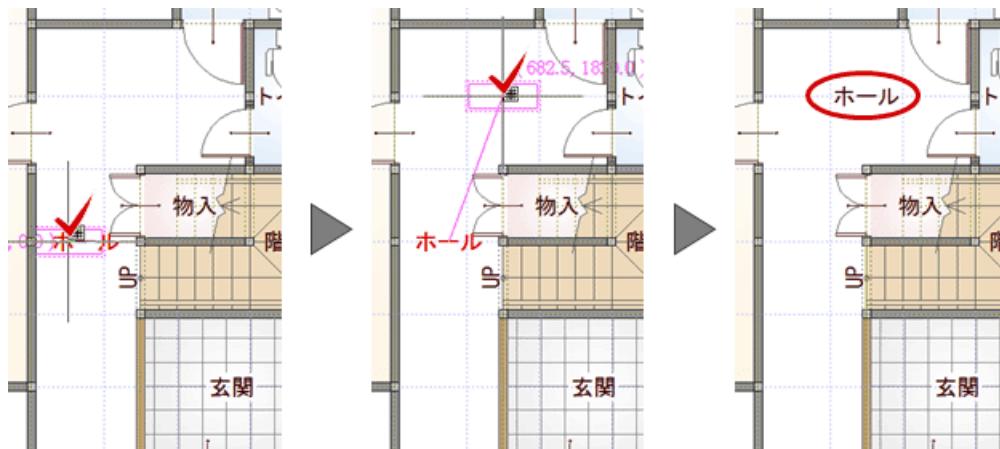
「部屋」メニューの「部屋名移動」で移動します。

※ バルコニー、ベランダ、ドライエリア、ロフトの外部シンボルに名称が設定されている場合も、このコマンドで名称を移動できます。

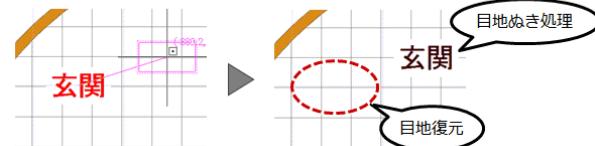
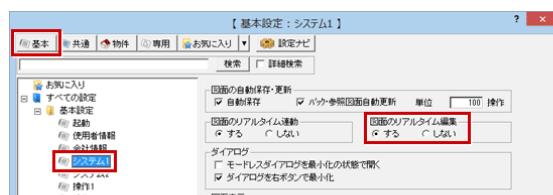
1 「部屋」メニューから「部屋名移動」を選びます。



2 部屋名をクリックして、移動先をクリックします。



・「基本設定：システム 1」の「図面のリアルタイム編集」が「する」になっていると、床目地のある部屋名を移動したときに、移動先の目地がクリップされて、移動元の目地は自動的に復元されます。



平面図

Q

メーターモジュールで入力しましたが、帖数が合いません。帖数を合わせる方法を教えてください。

A

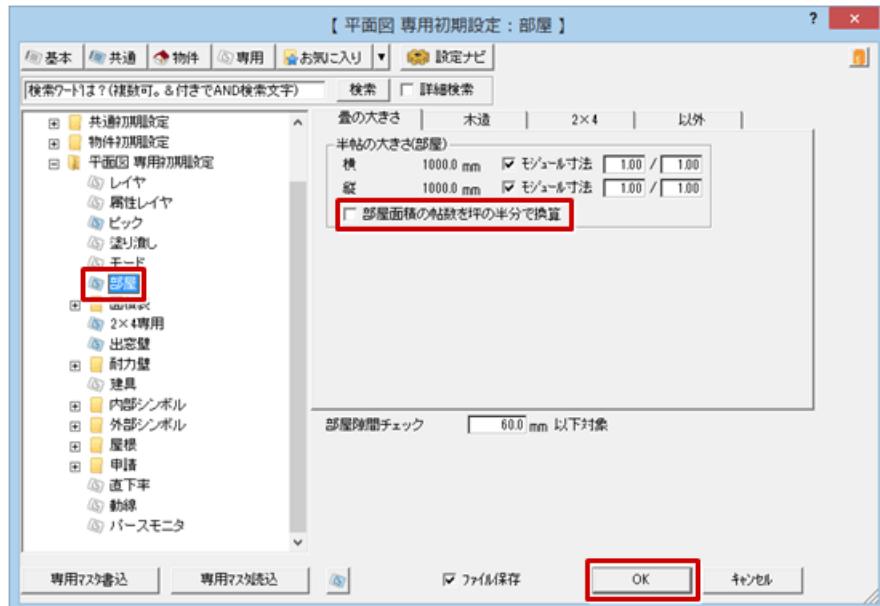
平面図の「専用初期設定：部屋」の「部屋面積の帖数を坪の半分で換算」を OFF にして、帖数を合わせます。

※ この設定は平面詳細図でも有効です。

1

平面図を開いて、「設定」をクリックします。

「専用初期設定：部屋」の「部屋面積の帖数を坪の半分で換算」を OFF にして、「OK」をクリックします。



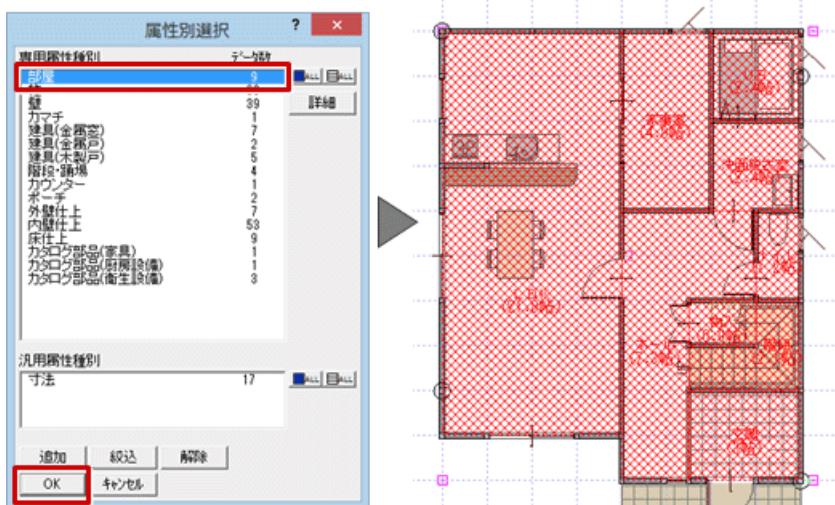
2

「属性別選択」をクリックします。



3

「属性別選択」ダイアログで「部屋」をONにし、「OK」をクリックします。



4

「編集」メニューから「図形復元」を選びます。



・部屋の帖数は、「専用初期設定：部屋」の「部屋面積の帖数を坪の半分で換算」と次の設定から連動します。

「専用初期設定：部屋」の「部屋面積の帖数を坪の半分で換算」をON	「物件初期設定：CAD 関連－単位」の【換算率】の「坪」の値から連動	
「専用初期設定：部屋」の「部屋面積の帖数を坪の半分で換算」をOFF	モジュール寸法 ON モジュール寸法 OFF	「物件初期設定：CAD 関連－初期グリッド・用紙」の【グリッド設定】の「間隔 X」の値が連動 「専用初期設定：部屋」の「半帖の大きさ」が連動

平面図



柱のサイズの初期値を変更する方法を教えてください。

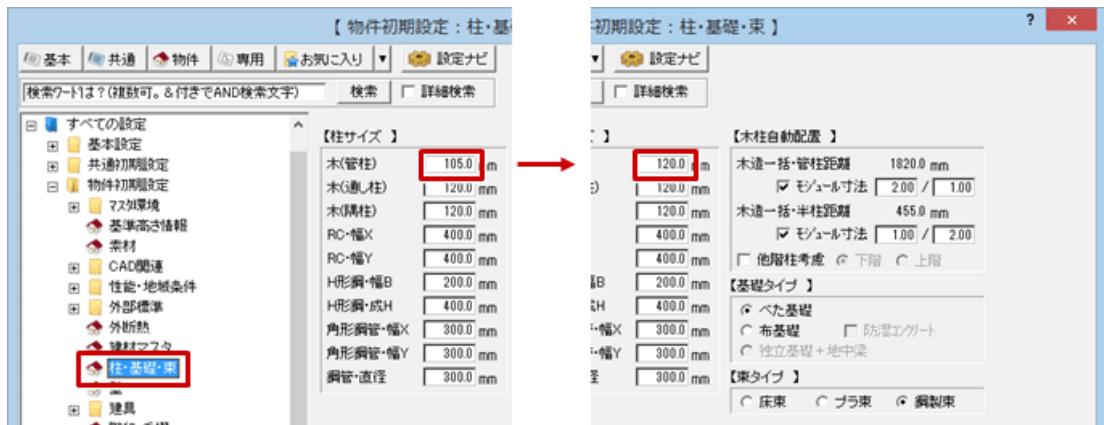


「物件初期設定：柱・基礎・束」の「木（管柱）」の値を変更します。

すでに入力済みの柱は、「属性変更」で変更します。

柱のサイズの初期値を変更する方法

「物件初期設定：柱・基礎・束」の「木（管柱）」の値を変更します。



入力済みの柱を変更する方法

「物件初期設定：柱・基礎・束」の「木（管柱）」の値を変更しても、入力済みの柱のサイズは自動的に変更されません。「一括作成」で柱を再配置する必要がありますが、柱位置が変わることもあるため「属性変更」で柱のサイズを変更します。

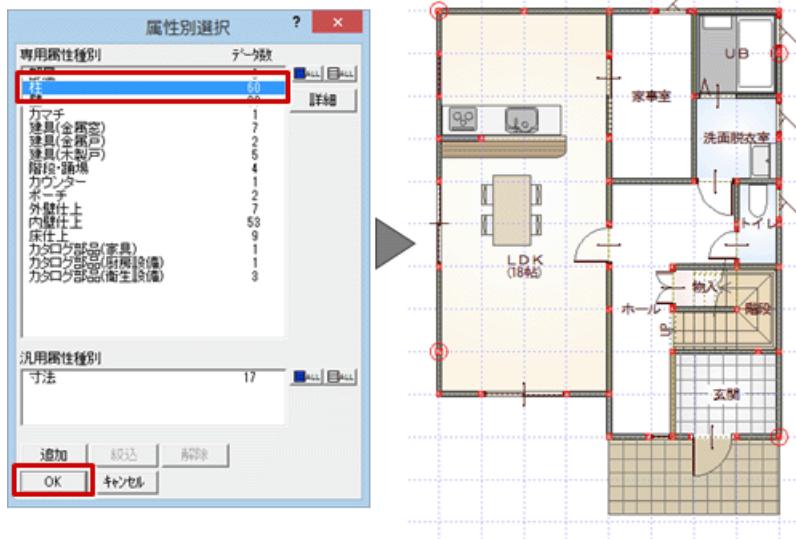
1

「属性別選択」をクリックします。



2

「属性別選択」ダイアログの「柱」を選び、「OK」をクリックします。



3

「属性変更」をクリックします。



4

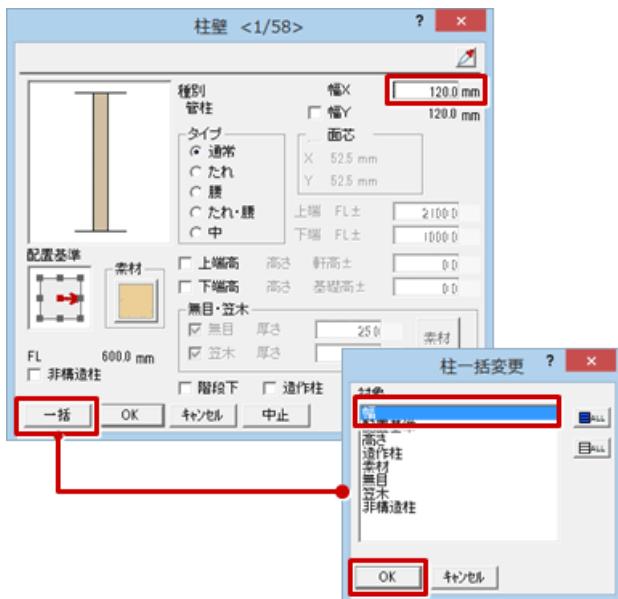
「柱壁」ダイアログの「幅 X」を「120」に変更して、「一括」をクリックします。

※ ここでは「105」から「120」に変更します。

5

「柱一括変更」ダイアログで「幅」を選び、「OK」をクリックします。

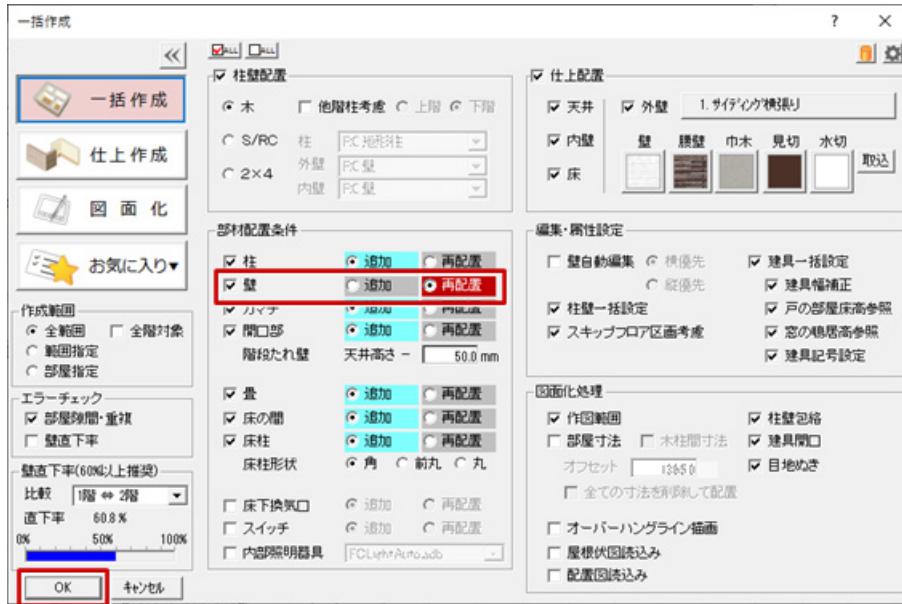
※ 一括変更ダイアログでは、変更があった設定のみ選択された状態になります。



6 「一括作成」をクリックします。



7 「一括作成」ダイアログの「壁」の「再配置」をONにして、「OK」をクリックします。 ※ 柱を個別に配置・削除・移動など変更している場合は、意図せぬ位置に柱が追加される場合があるので、「柱」のチェックをOFFにします。



平面図

Q

外部に柱を入力する方法を教えてください。

A

「外部」メニューの「ポーチ」の「ポーチ柱」を使用して、外部に柱を入力します。

※ ポーチ柱を使用すると、「一括作成」で仕上を作成する必要がありません。

1 「外部」メニューから「ポーチ」の「ポーチ柱」を選択します。



2 「ポーチ柱」ダイアログの「詳細」をクリックします。

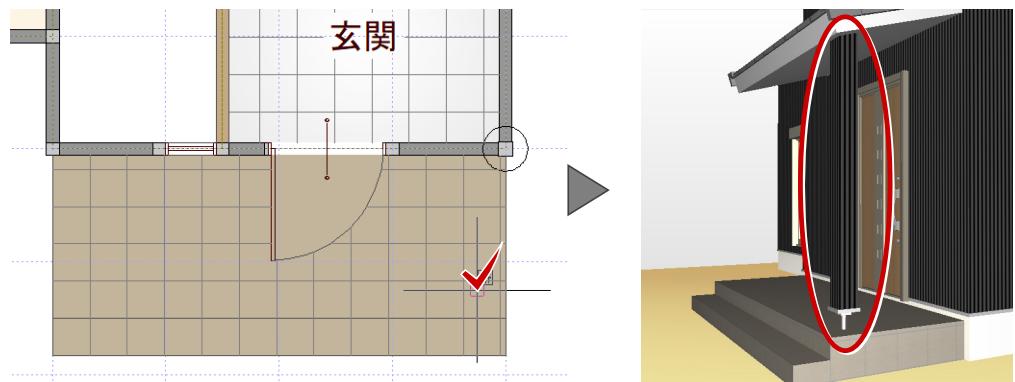


3 「ポーチ柱詳細設定」ダイアログでポーチ柱の属性を設定します。
ここでは、屋根下に入力するため、「屋根・庇参照」を ON にします。

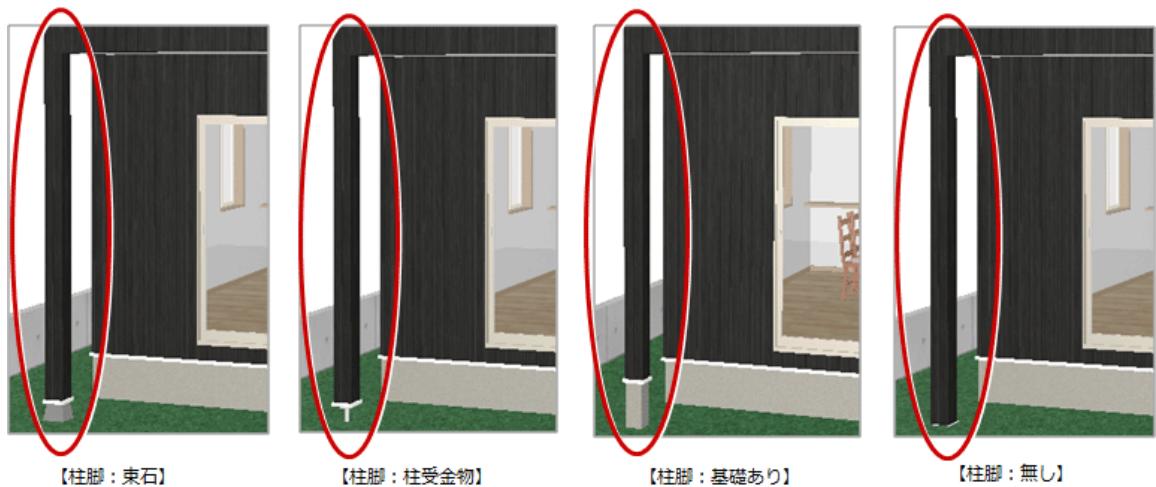
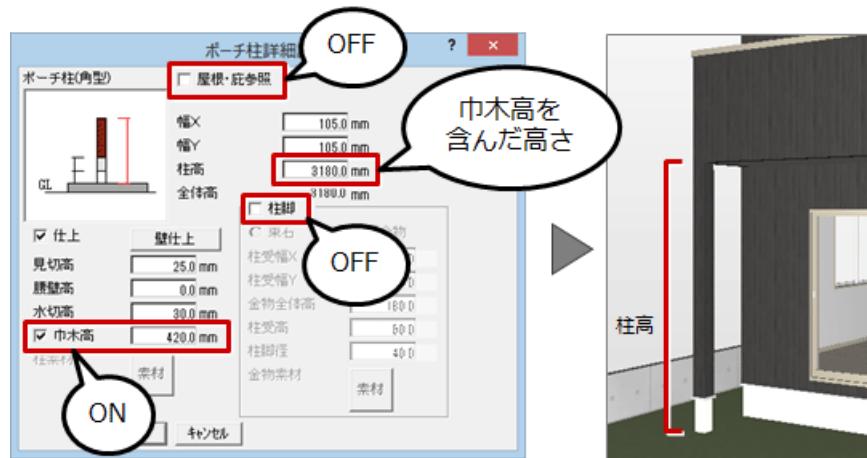
4 「仕上」が ON になっていることを確認して、「OK」をクリックします。



5 ポーチ柱の配置位置をクリックします。



・ポーチ柱に基礎高を表現したいときは、「柱脚」を OFF、「巾木高」を ON にします。



平面図

Q

柱と壁のサイズを 105 から 120 にまとめて変更する方法を教えてください。

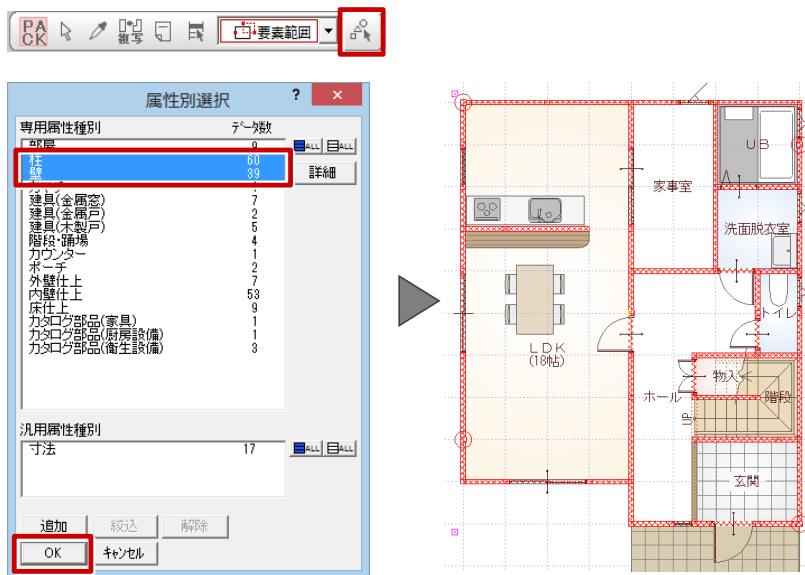
A

「属性別選択」を使って柱の幅や壁厚を一括変更し、仕上を再作成します。

1

「属性別選択」をクリックします。

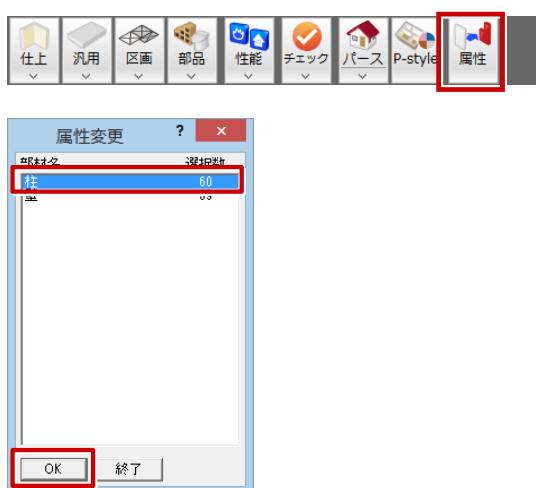
「属性別選択」ダイアログで「柱」と「壁」を選択して、「OK」をクリックします。



2

「属性変更」をクリックします。

「属性変更」ダイアログで「柱」を選択して、「OK」をクリックします。



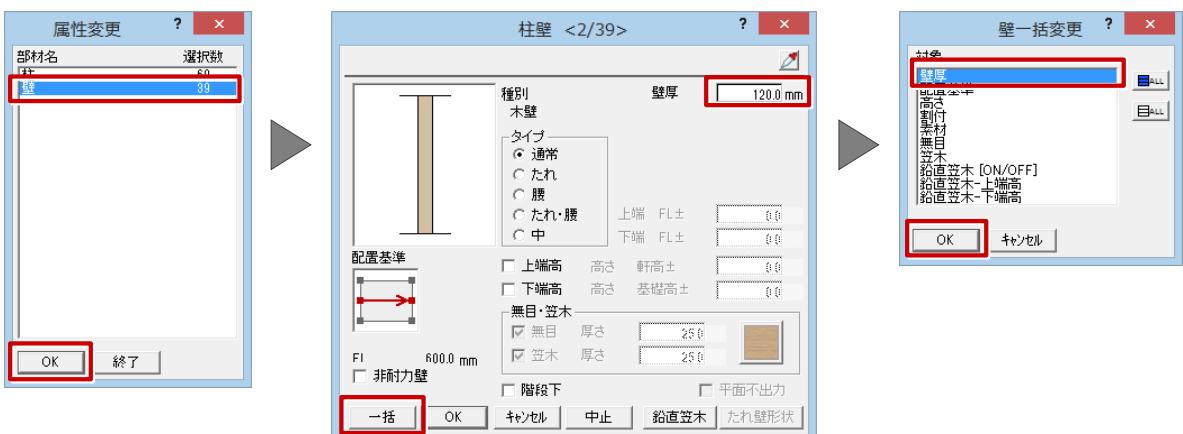
3

柱の属性ダイアログで「幅 X」を「120」に変更して、「一括」をクリックします。
「柱一括変更」ダイアログで「幅」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。



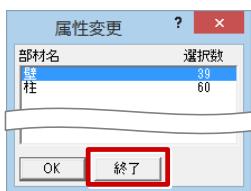
4

「属性変更」ダイアログで「壁」を選択して、「OK」をクリックします。
壁の属性ダイアログで「壁厚」を「120」に変更して、「一括」をクリックします。
「壁一括変更」ダイアログで「壁厚」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。



5

「属性変更」ダイアログで「終了」をクリックします。



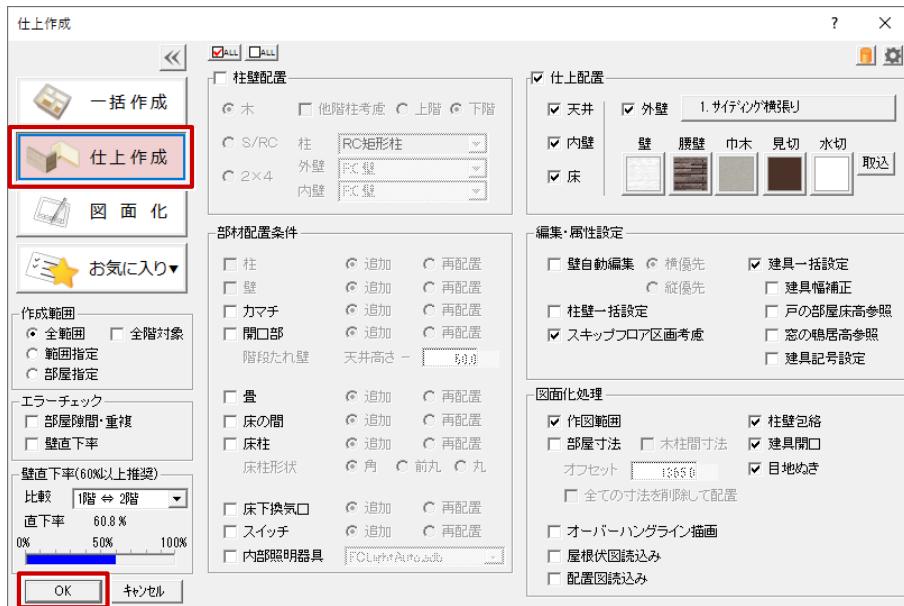
6

「一括作成」をクリックします。



7

「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選んで、仕上を再配置します。



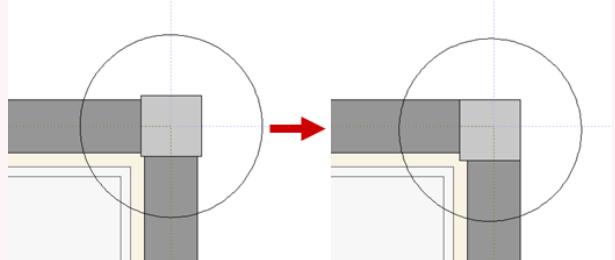
平面図

Q

通し柱の位置を壁面に合うように移動する方法を教えてください。

A

「柱種別変更」コマンドを使用して柱の位置をずらします。



1 「対象データ選択」をクリックします。

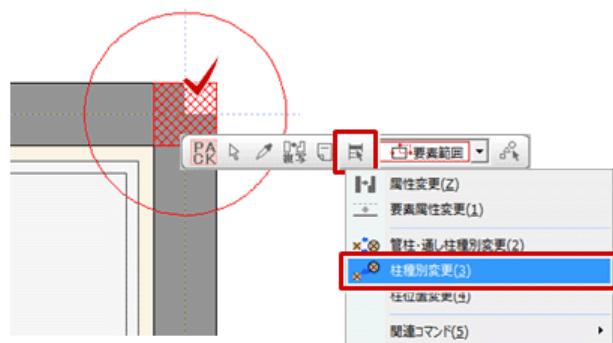


2 通し柱をダブルクリックして表示されるコマンドコレクションから「柱種別変更」を選びます。

※ コマンドコレクションが表示されない場合は、通し柱を選択後、ツールバーの「コマンドコレクション」をクリックします。



【ダブルクリックで実行する場合】

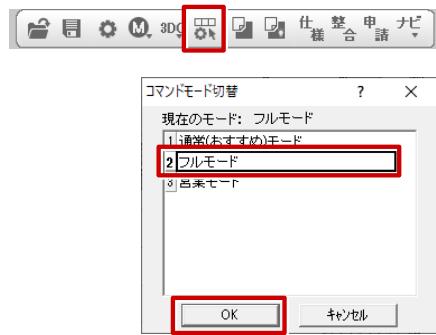


【ツールバーから実行する場合】



・コマンドモードの「フルモード」を使用している場合は、「柱壁」メニューに「柱種別変更」が表示されますので、こちらからも実行できます。

コマンドモードを変更する場合は、「コマンドモード切替」をクリックして「2：フルモード」を選びます。

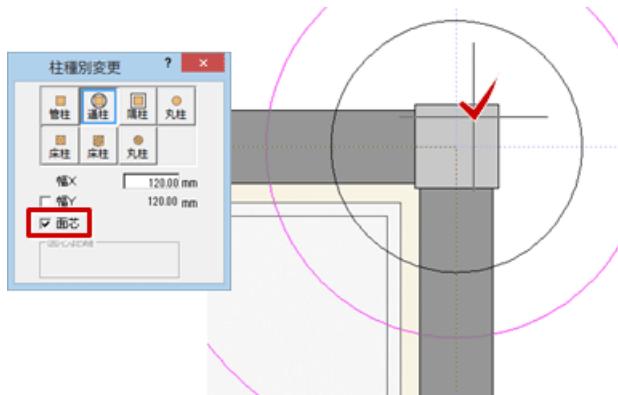


※ 初期状態のコマンドモードに戻す場合は、「1: 通常（おすすめ）モード」を選びます。

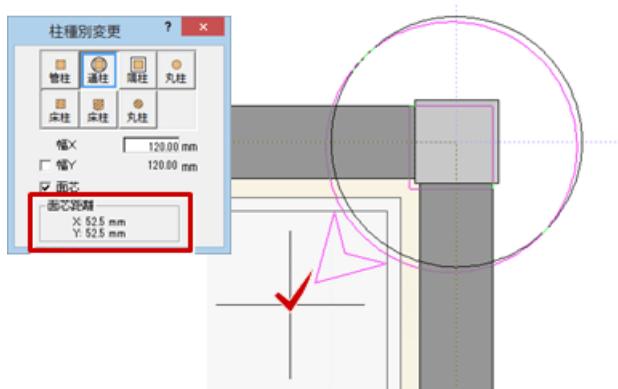
3 「柱種別変更」ダイアログで、「通柱」をONにし、「幅X」で通し柱のサイズを確認します。



4 「面芯」がONになっていることを確認して、移動する通し柱をクリックします。



5 柱を偏芯させる方向にマウスを移動し、「面芯距離」を確認してクリックします。



平面図

Q

柱を表現しない方法を教えてください。

A

「専用初期設定：モード」の「木柱壁簡易表現」をONにして、「一括作成」の「図面化」を実行します。

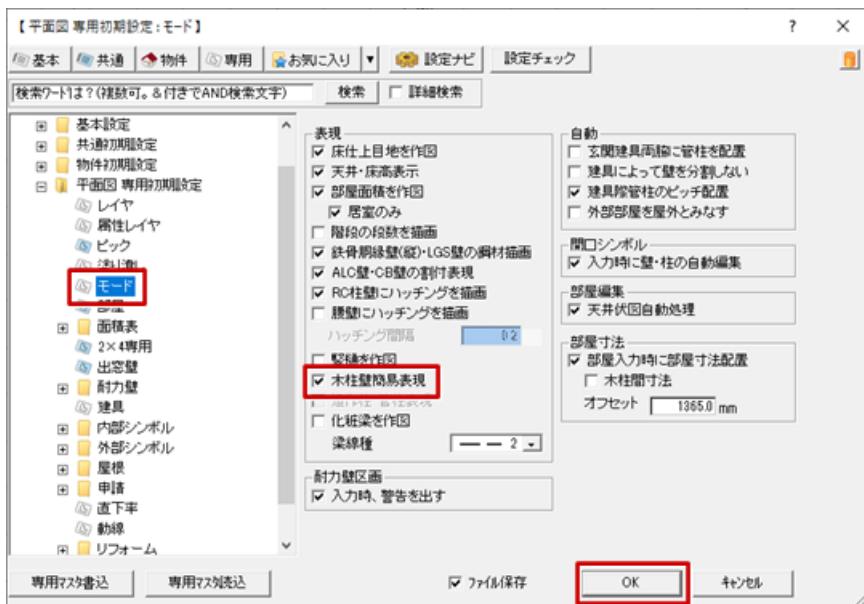
1

平面図を開いて、「設定」をクリックします。



2

「専用初期設定：モード」の「木柱壁簡易表現」をONにして、「OK」をクリックします。

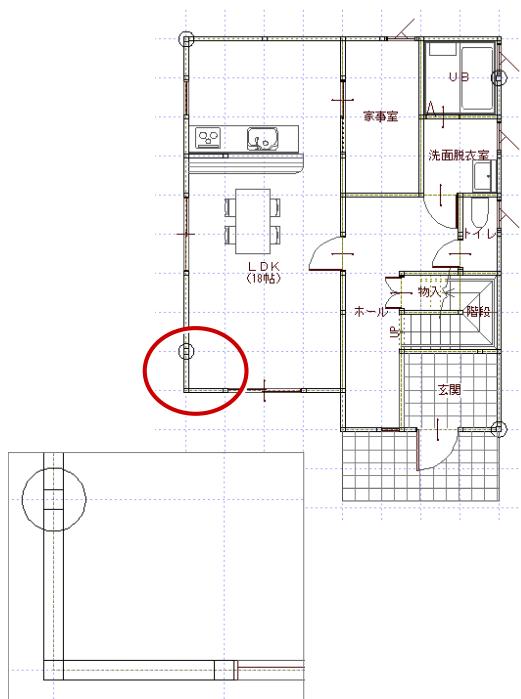
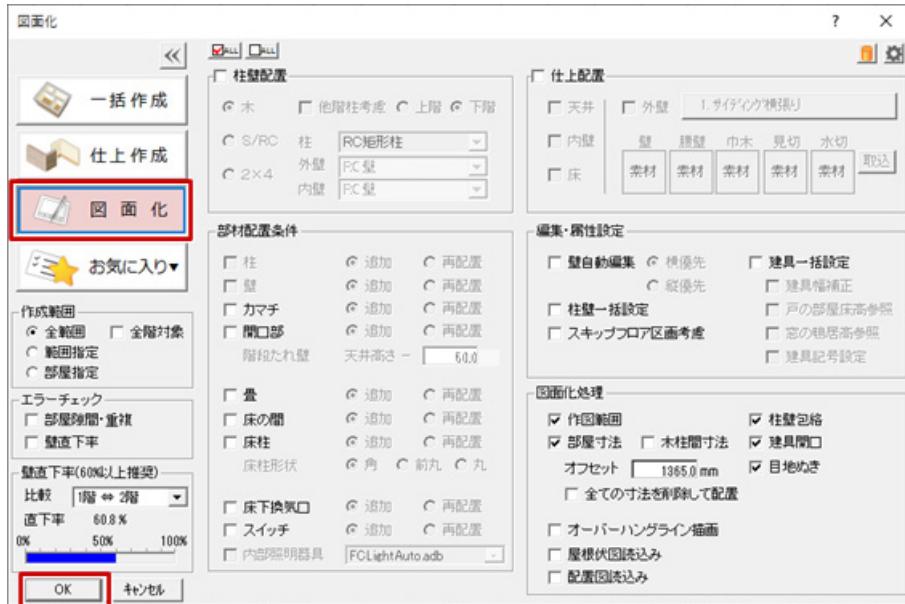


3

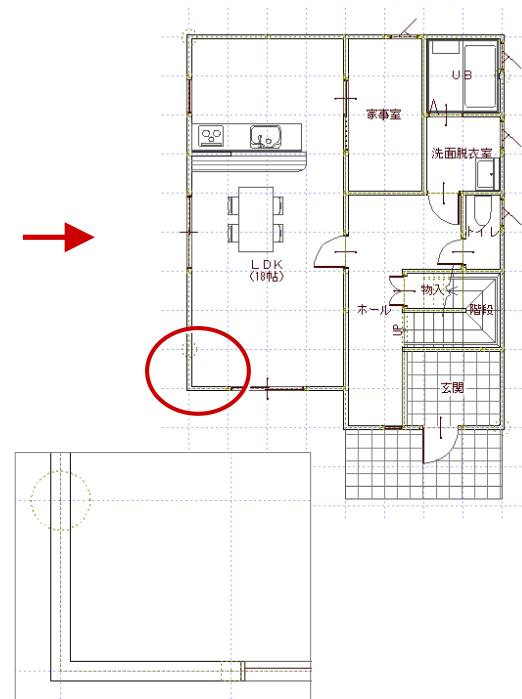
「一括作成」をクリックします。



4 「一括作成」ダイアログの「図面化」を選んで、「OK」をクリックします。



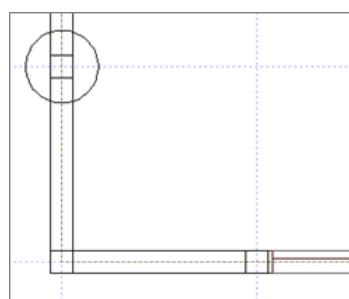
【拡大図：設定前】



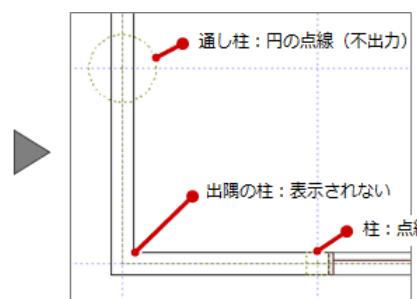
【拡大図：設定後】



- 簡易表現にすると、柱は点線（不出力ペン）、通し柱は円の点線（不出力ペン）で作図されます。ただし、建物の出隅・入隅のように柱が必ず入力されるような箇所については、点線（不出力ペン）も表示されません。



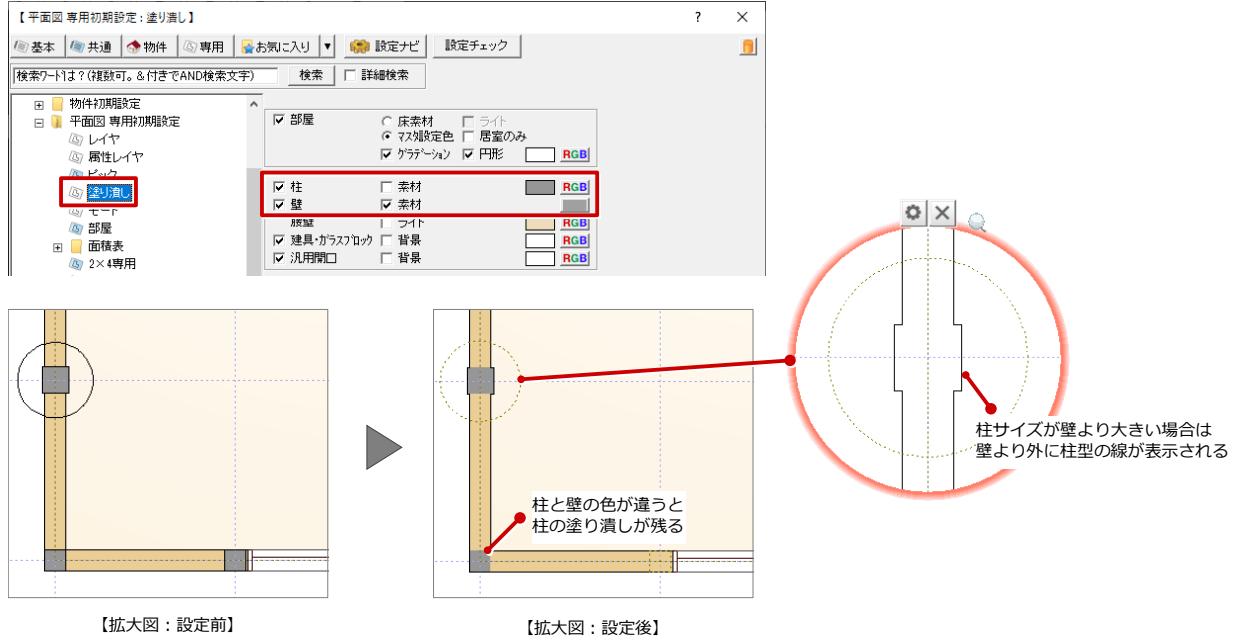
【拡大図：設定前】



【拡大図：設定後】



- ・塗り潰しを使用している場合、柱と壁の色が違うと、柱が残ったように表示されます。柱と壁の塗り潰しは同じ色を設定してください。
- ・柱サイズが壁厚より大きく、壁からはみ出す場合は、壁より外に柱型の線が作図されます。



平面図

Q

仕上のない、現しの柱を作成する方法を教えてください。

A

柱の属性ダイアログで「造作柱」をONにして、仕上を再作成します。

1 「属性変更」をクリックします。



2 柱を選び、「柱壁」ダイアログの「造作柱」をONにして、「OK」をクリックします。

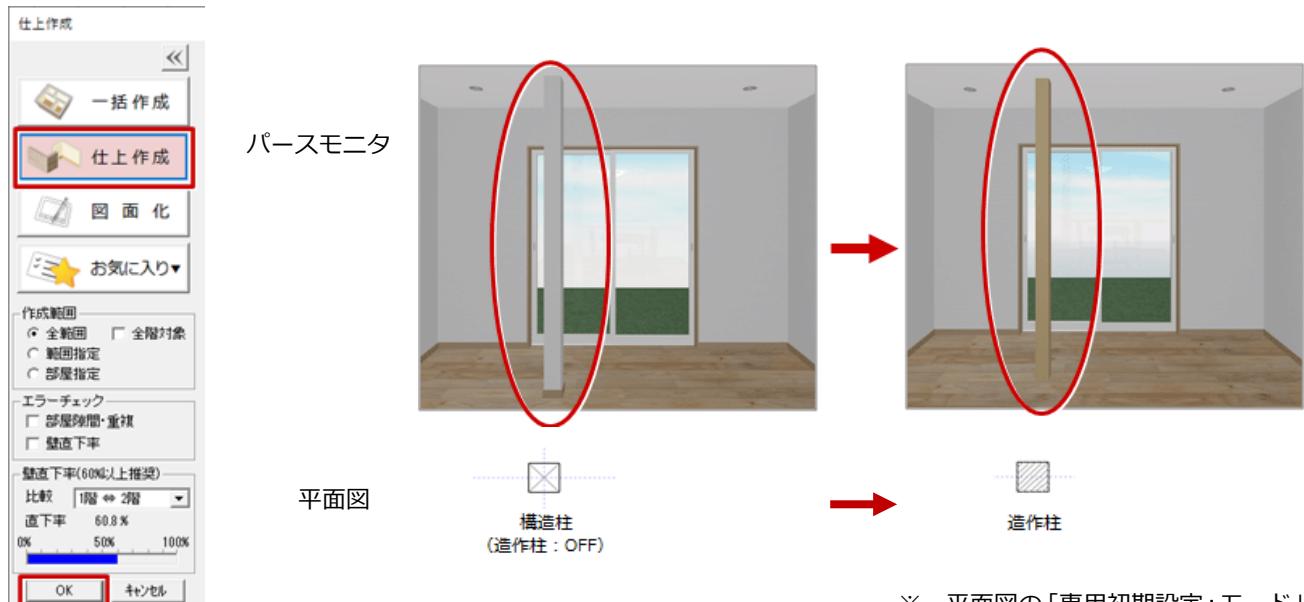


3 「一括作成」を選びます。



4

「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選んで、「OK」をクリックします。
仕上を再作成しても、造作柱に仕上は作成されません。



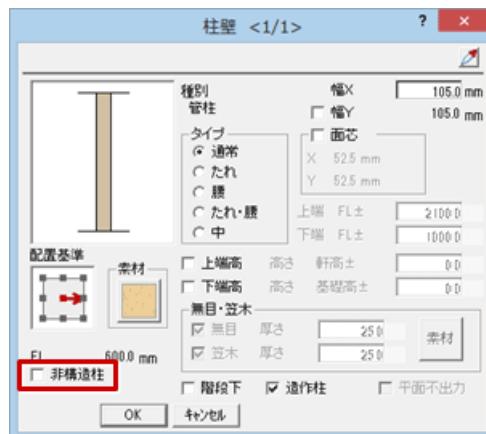
※ 平面図の「専用初期設定: モード」で「造作柱・管柱表現」を ON にしていると、造作柱にハッチングが描画されます。



・床柱の場合は造作柱にあたるため、柱壁ダイアログに「造作材」の項目は表示されません。



・造作柱であっても構造柱として扱うときは「非構造柱」を OFF にします。
非構造柱とは軸力伝達を期待しない柱です。



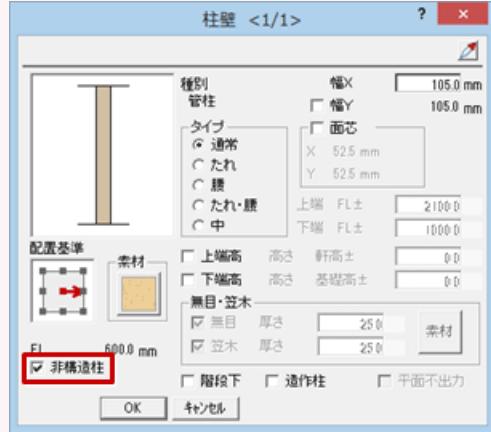
平面図

Q

「柱壁」ダイアログの「非構造柱」はどのような場合に使うか教えてください。

A

壁量計算や構造計算時に、構造柱として認識させたくない場合はONにします。



- 次の柱は、「非構造柱」の設定を変更できません。

構造柱 固定	通し柱、H形鋼、鋼管、RC柱、RC丸柱、RC異形柱、S柱
非構造柱 固定	半柱、1/4柱、間柱、付柱

- 「非構造柱」をONにしたとき、各図面で次のように影響します。

平面図	柱直下率の対象外になります。
床小屋伏図 木造構造計算	床小屋伏図に読み込んだとき、属性の「非構造柱」がONになります。「非構造柱」がONの柱は構造計算に運動しません。
木造壁量計算	木造壁量計算で「自動立上」を実行したとき、柱は配置されますが、その位置に耐力壁は配置されません。また、伏図モードでは非表示になります。

平面図

Q

外部に袖壁を追加する方法を教えてください。

A

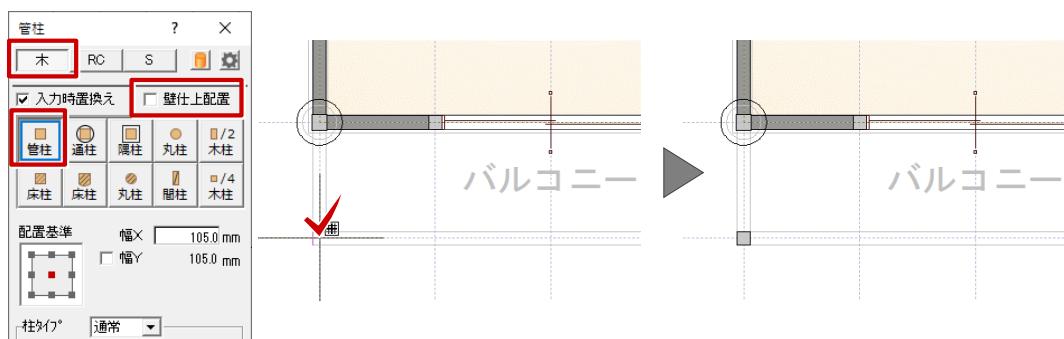
「柱壁」メニューの「柱」「壁」を使って柱・壁を追加して、壁仕上を再作成します。

1 「柱壁」メニューから「柱」を選びます。



2 木柱を入力するときは、「管柱」ダイアログの「木」をONにして、「管柱」をクリックします。
ここでは「壁仕上配置」をOFFにします。

3 追加する柱の配置位置をクリックします。

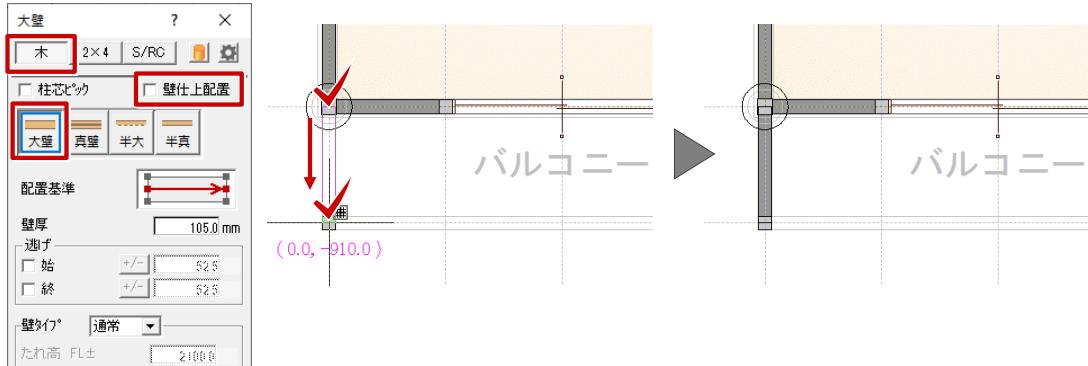


4 「柱壁」メニューから「壁」を選びます。



5 木壁を入力するときは、「大壁」ダイアログの「木」をONにして、「大壁」をクリックします。
ここでは「壁仕上配置」をOFFにします。

6 追加する袖壁の始点と終点をクリックします。



7 「一括作成」をクリックします。



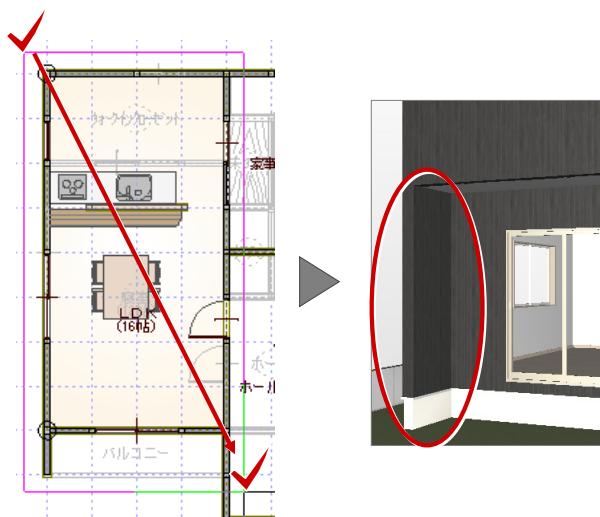
8 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選び、「作成範囲」の「範囲指定」をON、「仕上配置」の「外壁」のみをONにして、「OK」をクリックします。



9

追加した外部の柱・壁と、部屋領域を含めて範囲を指定します。

※ 部屋領域を含めないと内外の判定がされない為、袖壁部分に外壁仕上が配置されません。



平面図

Q

外部に斜めの袖壁を入力する方法を教えてください。

A

「外部」メニューの「外部意匠」の「袖壁」を使用して、斜めの袖壁を作成します。



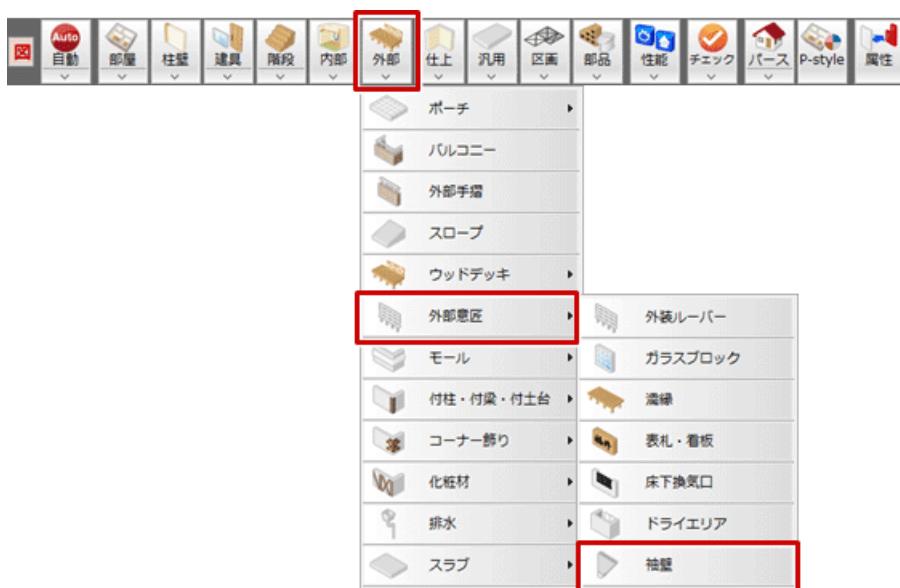
【袖壁なし】



【袖壁あり】

1

「外部」メニューから「外部意匠」の「袖壁」を選びます。



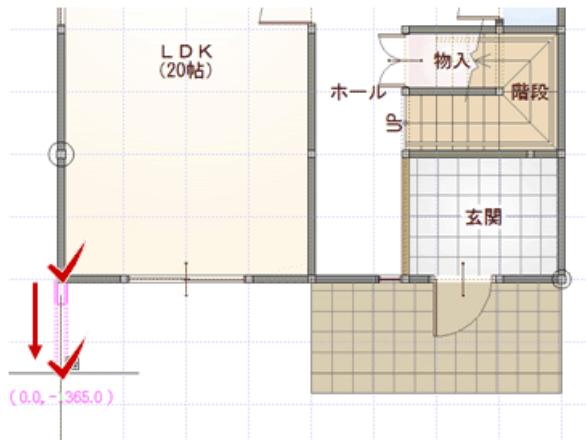
2

「袖壁」ダイアログで「下カット」の形状を選び、「基準高」「全体高」「カット幅」などを設定します。
※ ここでは「全体高」を「6600」、「カット幅」を「1000」にします。



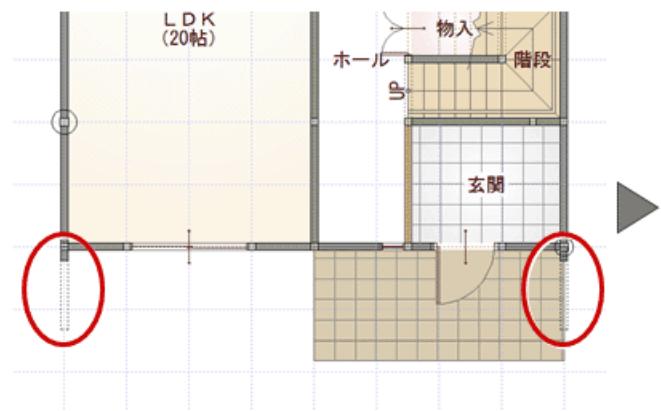
3

袖壁の始点、終点をクリックします。



4

同様に、玄関側の袖壁も入力します。





- ・「下カット」におけるカット部分は、点線で描画されます。
- ・袖壁の上部に屋根があると、袖壁の上端は屋根勾配（垂木の下端）に合わせて止まります。



- ・「外部意匠」の中に「袖壁」コマンドがない場合は、「表示」メニューの「コマンドカスタマイズ」から、「袖壁」コマンドを追加します。



平面図

Q

たれ壁（下がり壁）を表現する方法を教えてください。

A

「柱壁」メニューの「たれ壁」でたれ壁、コーナー部分には「柱」でたれタイプの柱を入力して、外壁仕上を自動配置します。

たれ壁を入力する

1

「柱壁」メニューから「たれ壁」を選びます。



2

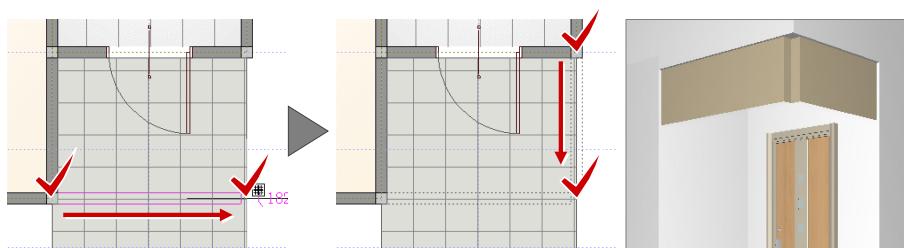
「たれ壁」ダイアログの「壁仕上配置」を OFF、「逃げ」にある「始」「終」を ONにして、「逃げ」を確認します。「たれ高」を設定します。



3

たれ壁の始点と終点をクリックします。

※ 解説図では2か所に入力しています。



たれタイプの柱を入力する

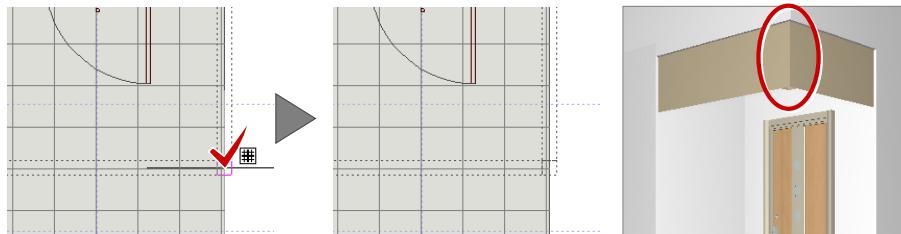
- 1 「柱壁」メニューから「柱」を選びます。



- 2 「柱」ダイアログの「壁仕上配置」を OFF、「柱タイプ」を「たれ」に変更して、「たれ高」を設定します。



- 3 柱の配置位置をクリックします。

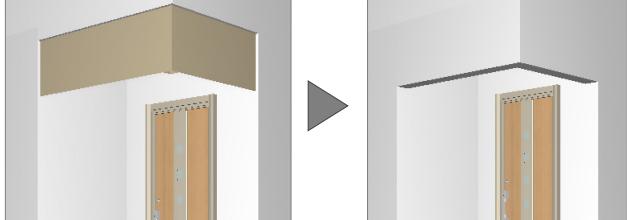


外壁仕上を自動配置する

1 「一括作成」をクリックします。



2 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」をONにします。
外壁仕上だけを再作成したいときは、「仕上配置」の「外壁」のみをONにして、
「OK」をクリックします。



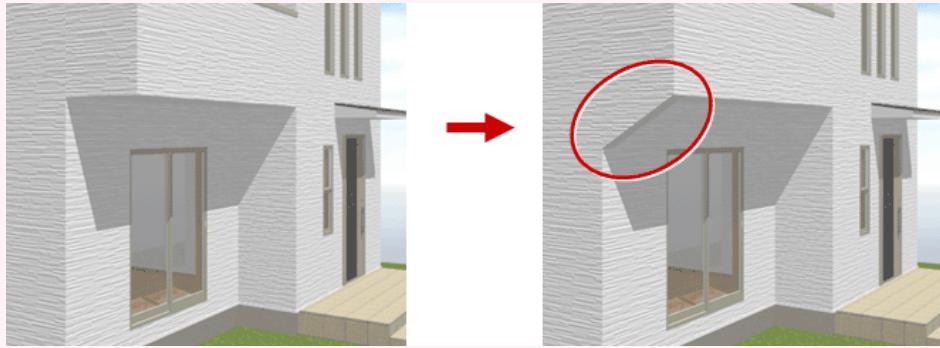
平面図

Q

下端が斜めのたれ壁を入力する方法を教えてください。

A

「柱壁」メニューの「たれ壁」の「たれ壁形状」を設定して、下端が斜めになったたれ壁を入力します。



1 「柱壁」メニューから「たれ壁」を選びます。

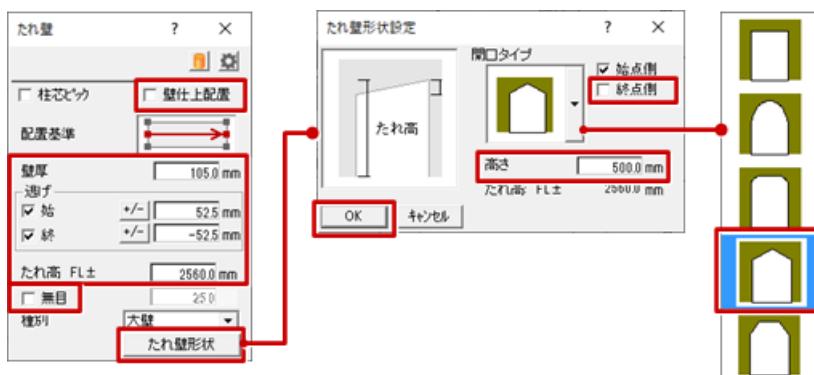


2 「たれ壁」ダイアログで「逃げ」や「たれ高」などを設定します。

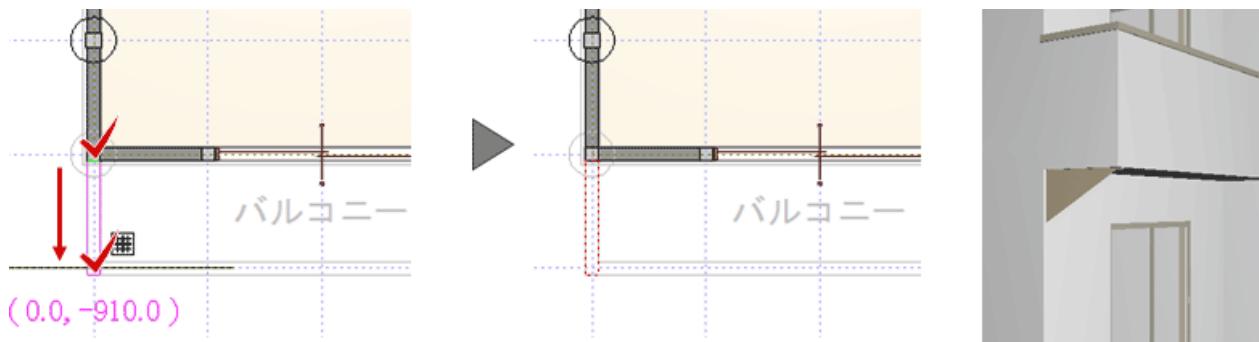
ここでは、「逃げ」の「始」「終」をONにして、始点側は柱があるため「52.5」、終点側は柱がないため「+/-」をクリックして「-52.5」としています。また、「壁仕上配置」「無目」はOFFにしています。

3 たれ壁形状をクリックします。

「たれ壁形状設定」ダイアログの「開口タイプ」で「山型」を選び、「終点側」をOFFにして、斜めになる部分の高さを設定します。



4 たれ壁の始点、終点をクリックします。



5 「一括作成」をクリックします。



6 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選びます。 ここでは外部のため、「仕上配置」の「外壁」のみを ON にして、「OK」をクリックします。



平面図

Q

外壁を真壁で表現する方法を教えてください。

A

「外部」メニューの「付柱」を使用して表現する方法と、「属性」メニューの「壁種別変更」で外部を真壁に変更して表現する方法があります。

【付柱を入力して表現する方法】

1 「外部」メニューから「付柱・付梁・付土台」の「付柱」を選びます。



2 「付柱」ダイアログで入力箇所に合わせてタイプを選び、配置位置でクリックします。
※ 1階平面図のすべての柱を入力します。



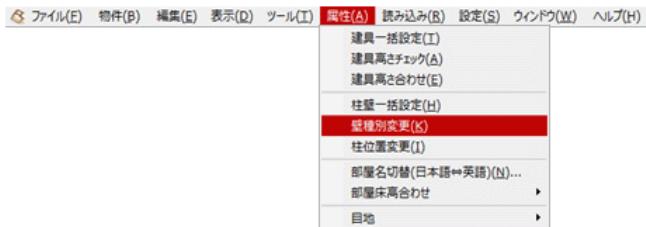
3 同様に、2階平面図も入力します。
※ ここでは、1階平面図で「付土台」「付梁」も入力しています。



【真壁に変更して表現する方法】

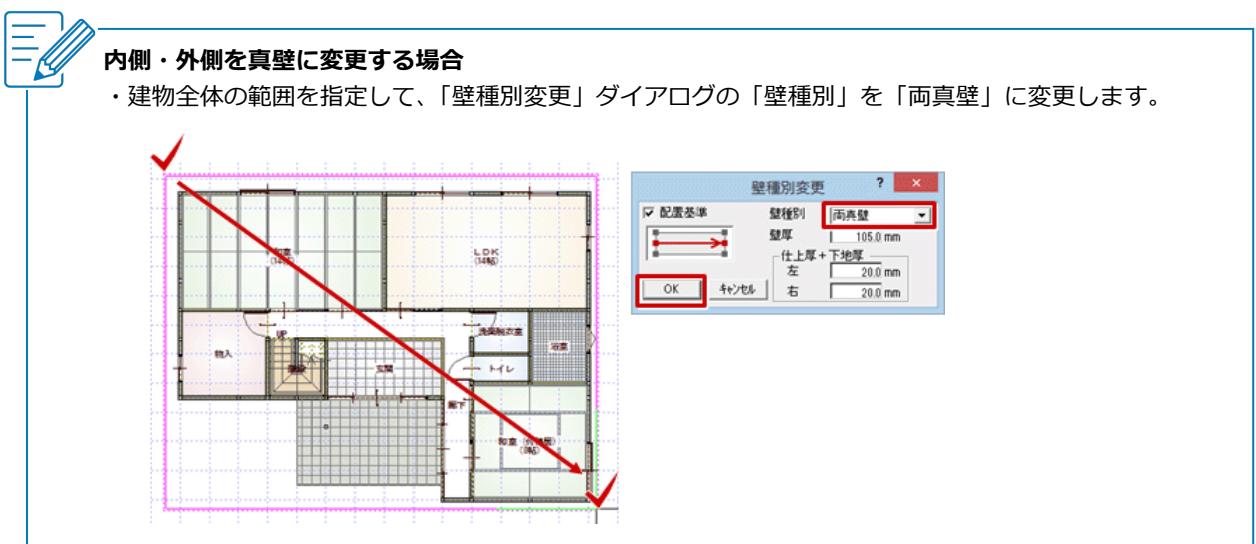
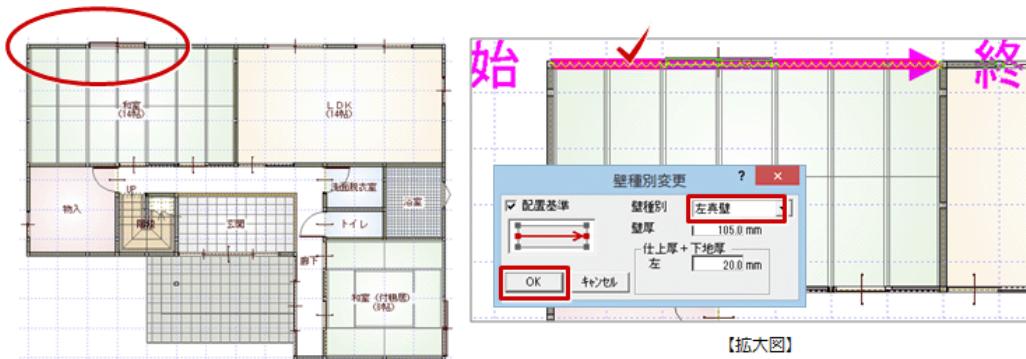
壁の種別を変更する

1 「属性」メニューから「壁種別変更」を選びます。



2 壁をクリックします。

3 「壁種別変更」ダイアログの「壁種別」を変更して、「OK」をクリックします。
「壁種別」は CAD 画面の「始」「終」を確認し、「終」に向かって左右どちらが真壁か設定します。
外部の壁についてすべて設定します。



4 同様に、2階平面図も行います。

仕上の再作成をする

壁の種別を変更したので、仕上の再作成をする必要があります。

1 「一括作成」をクリックします。



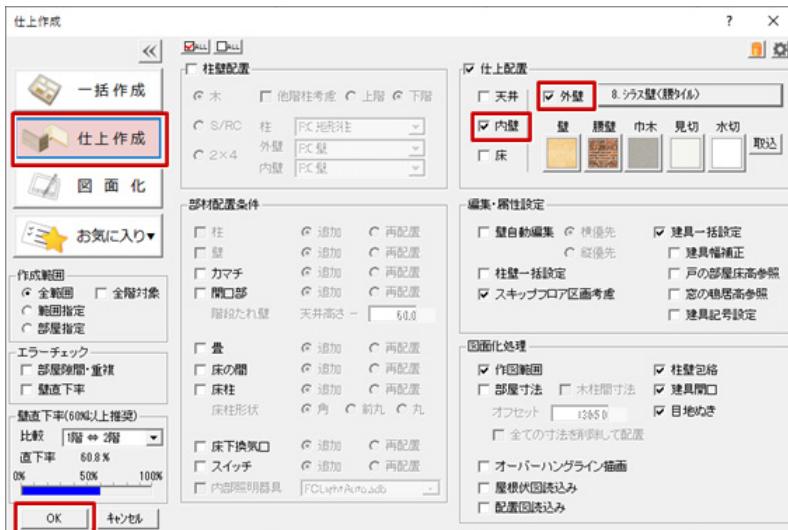
2 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選び、「仕上配置」の「外壁」がONになっていることを確認して、「OK」をクリックします。

3 同様に、2階平面図も仕上の再作成を行います。
※ ここまででの作業では、柱が表現されません。



内側・外側を真壁に変更する場合

・「一括作成」ダイアログで「仕上配置」の「外壁」「内壁」をONにします。



外壁仕上を編集する

内側・外側を真壁に変更（壁種別を「両真壁」に変更して仕上を再作成）した場合は、この操作は不要です。

1

「壁仕上入力モード」に切り替えて、外壁仕上が凸凹していることを確認します。



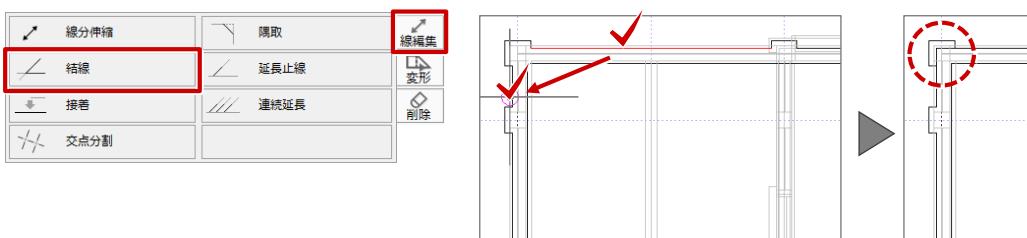
2

「線編集」メニューから「結線」を選びます。

3

仕上ラインと、仕上ラインをクリックして、コーナーの外壁仕上をつなげます。

※ 同様の作業で建物の外周すべてをつなげます。



【拡大図】

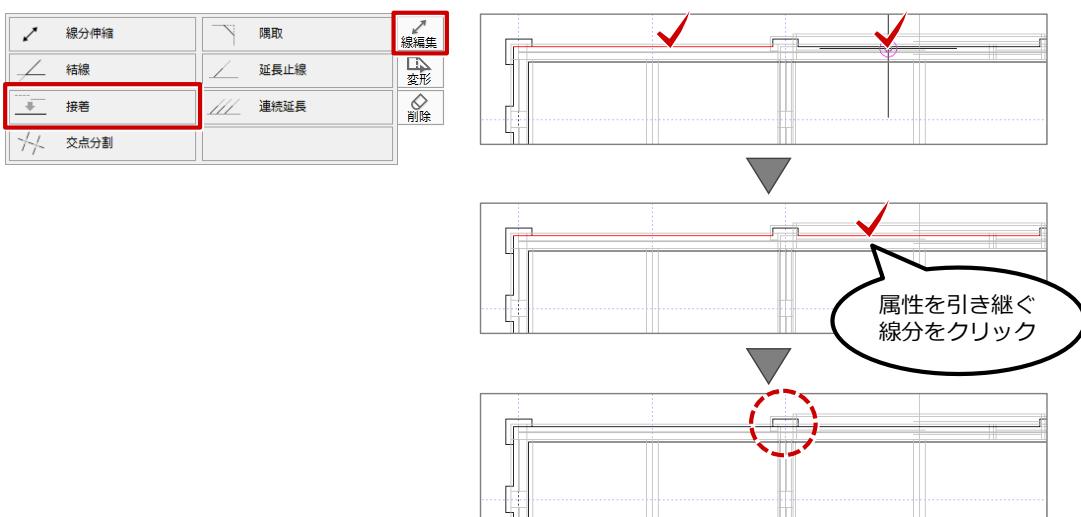
4

「線編集」メニューから「接着」を選びます。

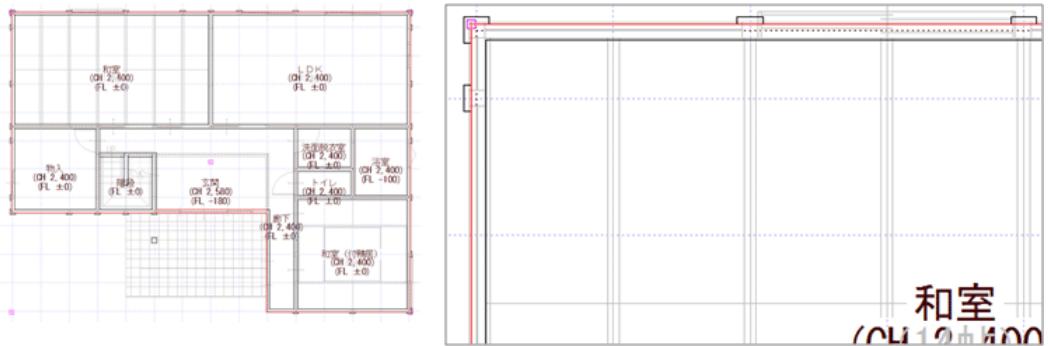
5

仕上ラインと、仕上ラインをクリックして、途切れた外壁仕上をつなげます。

※ 同様の作業で建物の外周すべてをつなげます。



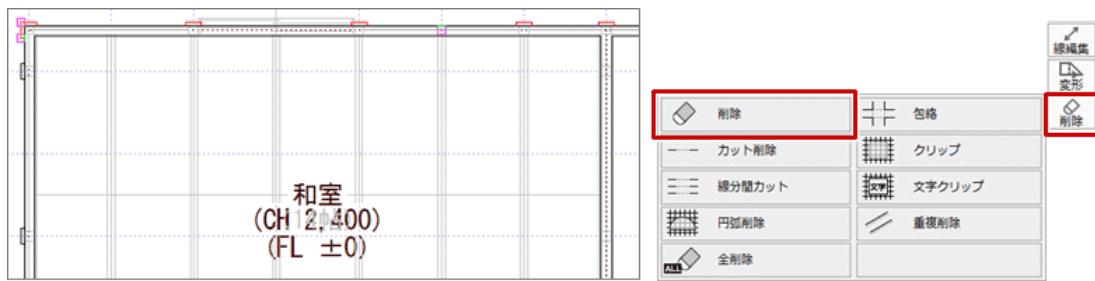
6 外壁仕上が建物の外周すべてつながったことを確認します。



【拡大図】

7 「削除」メニューから「削除」を選びます。

8 柱型に飛び出している外壁仕上をすべて削除します。



【拡大図】



9 同様に、2階平面図も外壁仕上を編集します。

柱を造作柱にする

- 1 「平面図入力モード」に切り替えます。



- 2 「属性変更」を選んで、外周の柱をクリックします。

- 3 「柱壁」ダイアログの「造作柱」をONにして、「OK」をクリックします。
※ 外部の柱について、すべて「造作柱」に変更します。



- 4 同様に、2階平面図の外周の柱も「造作柱」に変更します。

- 5 パースモニタで確認します。
※ ここでは、1階平面図で「付土台」「付梁」も入力しています。



平面図



造作出窓の作成方法を教えてください。

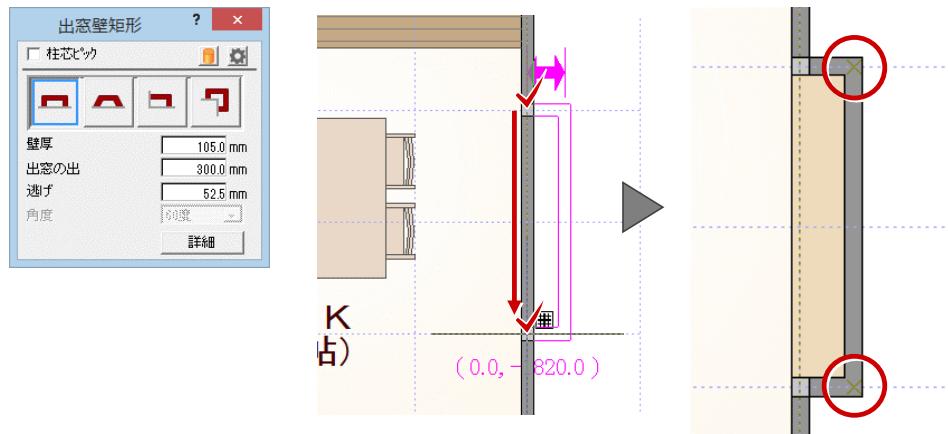


「柱壁」メニューの「出窓壁」で出窓壁を入力してから建具を入力します。

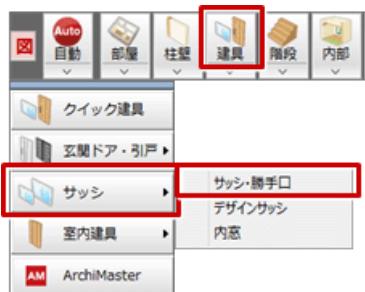
1 「柱壁」メニューから「出窓壁」を選びます。



2 「出窓壁」ダイアログで「壁厚」「出窓の出」などを確認して、出窓壁の幅を指定します。
出窓壁を入力すると、補助点（×印）が追加されます。



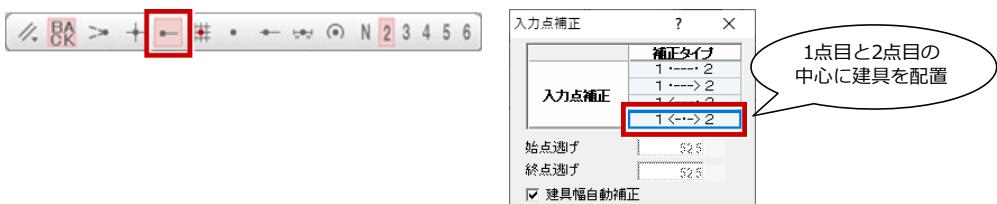
3 「建具」メニューから「サッシ」の「サッシ・勝手口」を選びます。



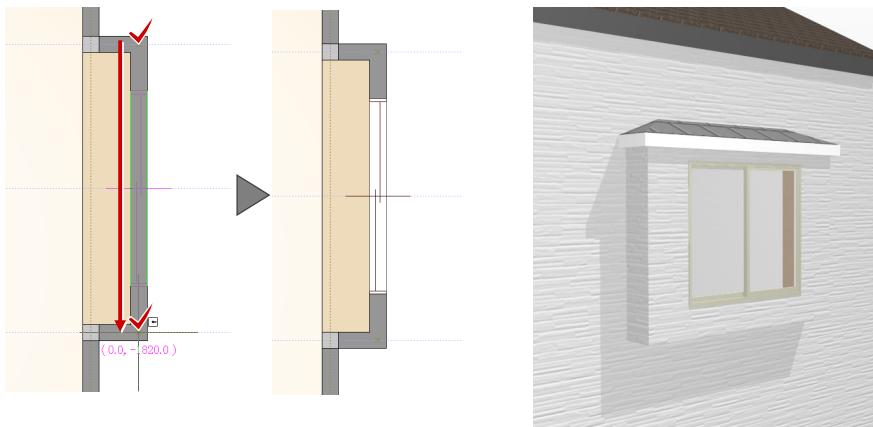
4 建具を選び、サイズを確認してダブルクリックします。



5 「ピック（端点）」をON、「入力点補正」ダイアログの入力点補正タイプを「1<-->2」に変更します。



6 建具を出窓壁に入力します。



平面図

Q

妻壁に、屋根勾配に沿った台形建具を入力する方法を教えてください。

A

AM 建具の「洋窓」の「台形（異形）」にある建具を入力します。



1 「建具」メニューから「Archi Master」を選びます。



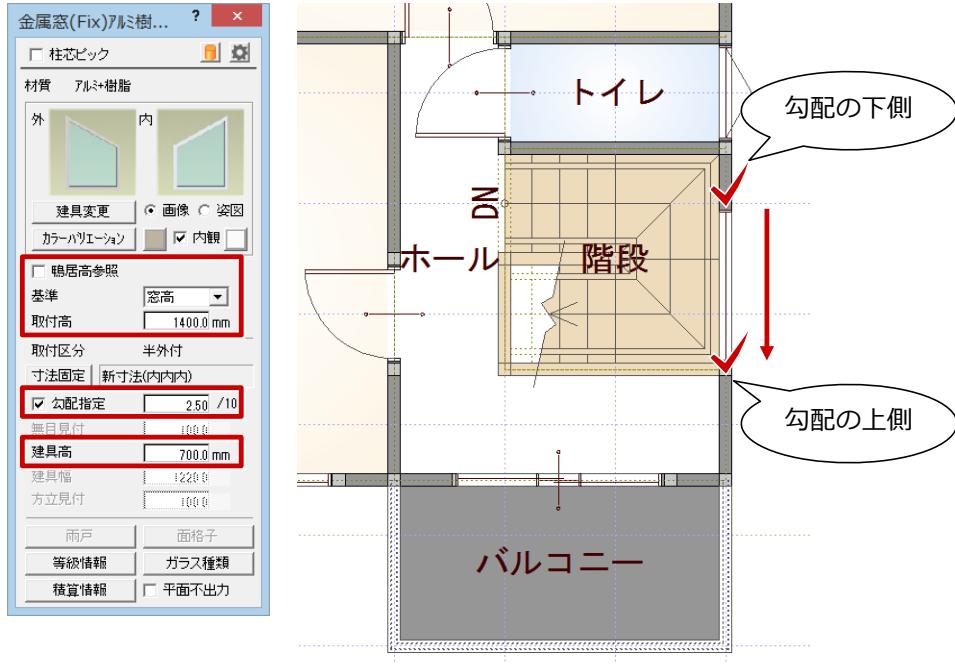
2 「建具選択」ダイアログのツリーから「洋窓」の「台形（異形）」を選んで、入力する建具をダブルクリックで選択します。

※勾配の方向は建具入力時の入力順で変更することができます。



3 建具の入力ダイアログの「勾配指定」をONにして、屋根勾配と同じ値を設定します。
また、建具高や取付高を設定します。

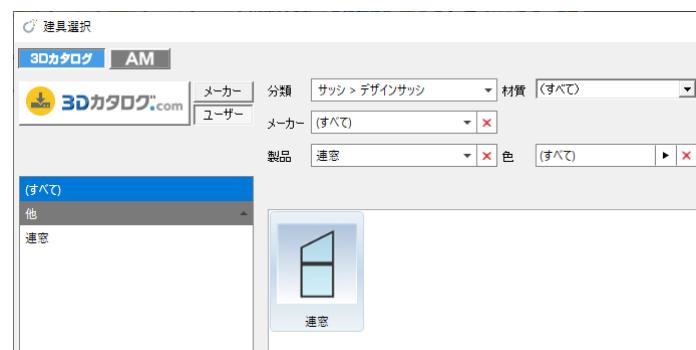
4 勾配の下側、勾配の上側の順にクリックして建具を入力します。



5 パースモニタを確認して、高さなどを調整します。



• 単独の台形建具以外にも、連窓タイプの台形建具を作成して使用することもできます。



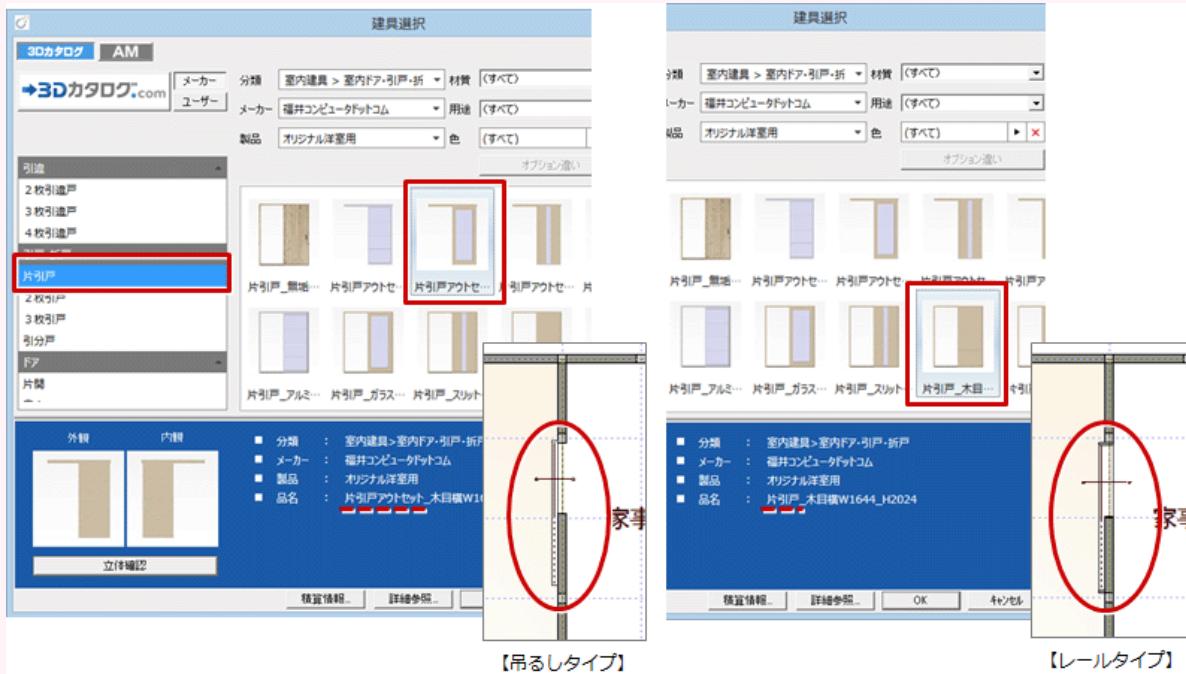
平面図

Q

片引き戸のアウトセット建具を入力する方法を教えてください。

A

吊るしタイプを入力するときは、建具選択ダイアログの建具の品名に「片引戸アウトセット」と表示のあるものを選びます。
レールタイプを入力するときは、品名に「片引戸」と表示のあるものを選び、「引戸タイプ」を「外付」にして入力します。



吊るしタイプの入力方法

1

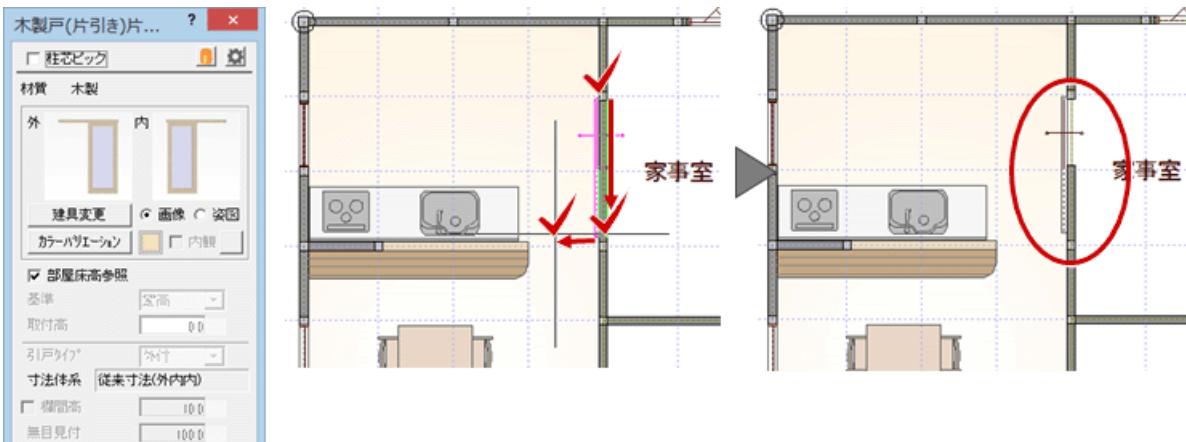
「建具」メニューから「室内建具」の「ドア・引戸・折戸」を選びます。



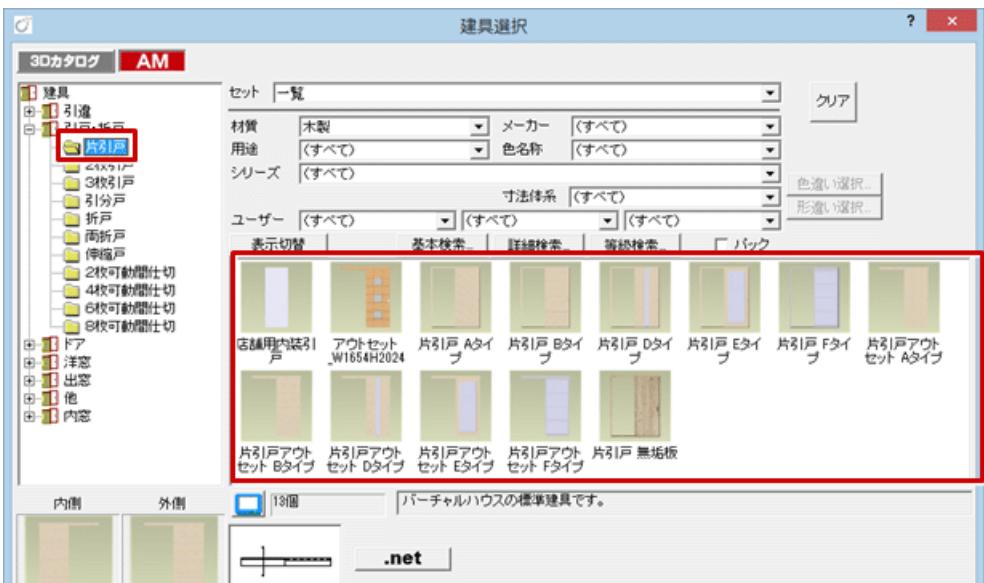
2 「建具選択」ダイアログの品名に「片引戸アウトセット」と表示される建具を選択します。



3 始点、終点と戸のつく方向をクリックします。



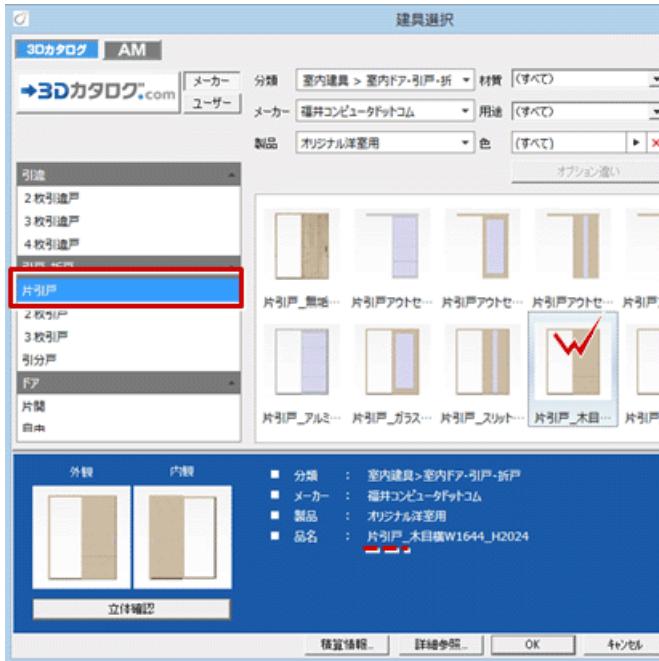
- AM 建具でアウトセット建具を入力する場合は、「建具選択」ダイアログのツリーから「片引戸」をクリックして、建具を選びます。



レールタイプの入力方法

1

「建具選択」ダイアログの品名に「片引戸」と表示される建具を選択します。

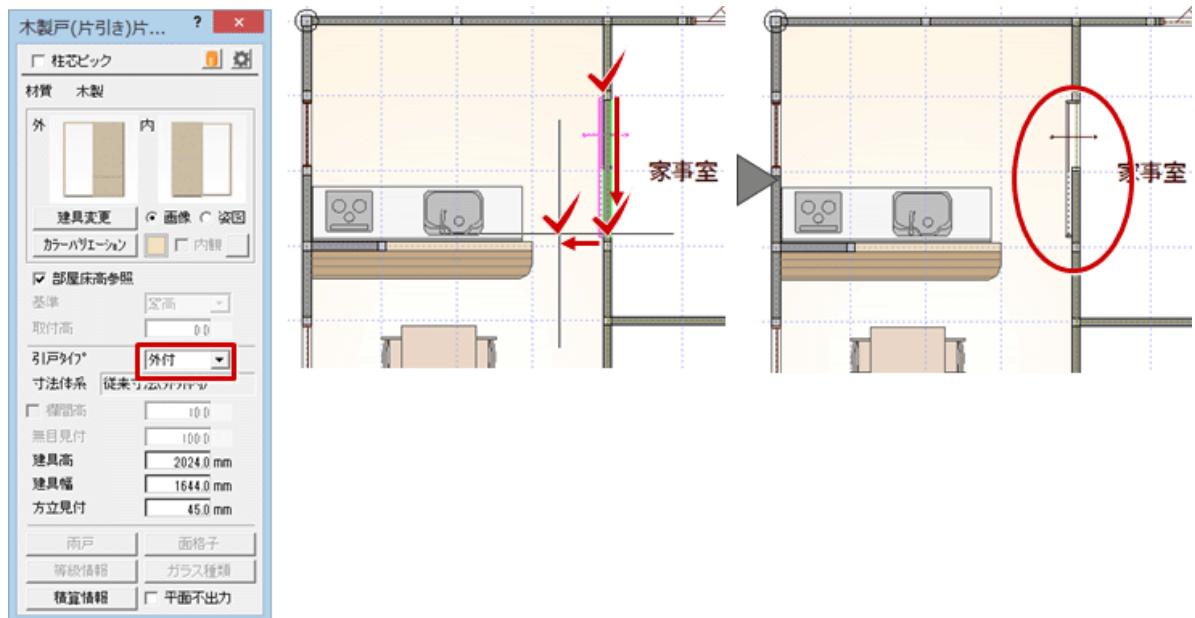


2

建具の入力ダイアログの「引戸タイプ」を「外付」に設定します。

3

始点、終点と戸のつく方向をクリックします。



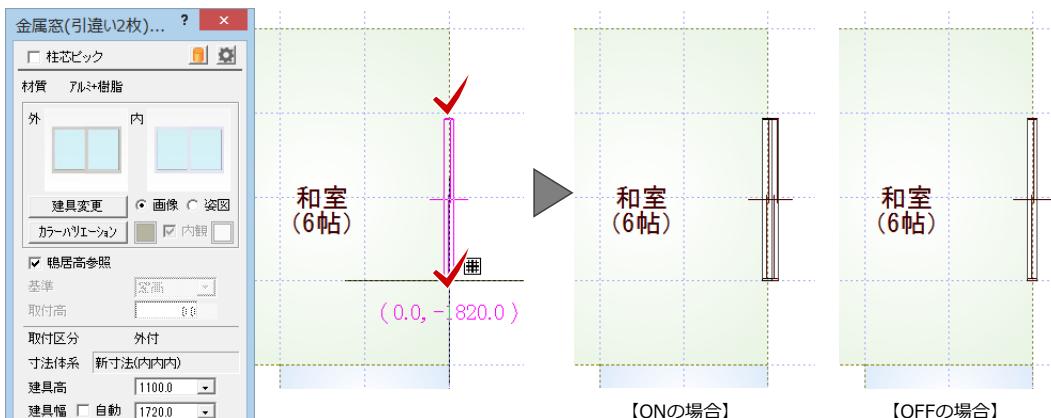
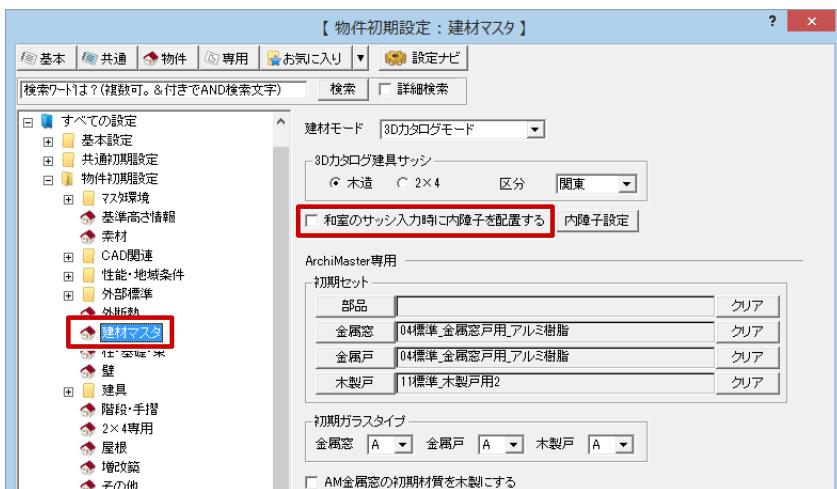
平面図

Q

和室にサッシを入力したとき、内障子が付かないようにする方法を教えてください。

A

「物件初期設定：建材マスター」の「和室のサッシ入力時に内障子を配置する」を OFF にすると、内障子が自動配置されなくなります。



- ・入力済みの建具は、建具の属性変更ダイアログの「内障子」を OFF にします。



- ・他の物件でも同様の設定にしたい場合は、「物件初期設定：建材マスター」の「和室のサッシ入力時に内障子を配置する」を OFF にして「物件マスター書き込み」を行います。

平面図

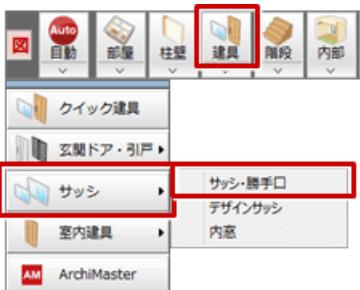
Q

シャッター付きの建具を入力する方法を教えてください。

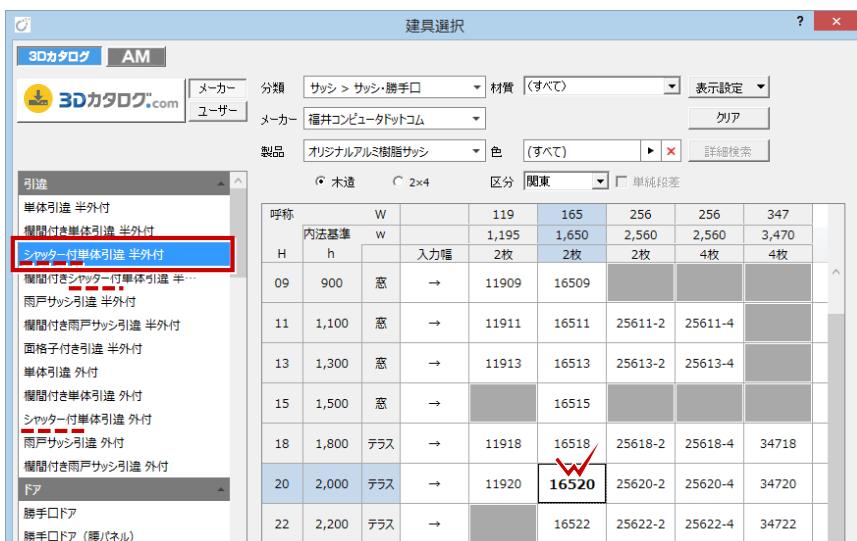
A

「建具選択」ダイアログで「シャッター付」と表示されているサッシを選んで入力します。

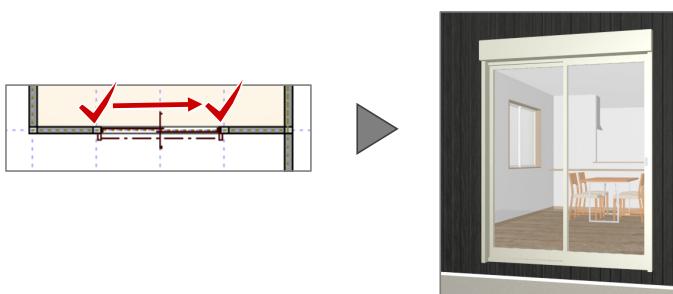
- 1 「建具」メニューから「サッシ」の「サッシ・勝手口」を選びます。



- 2 「建具選択」ダイアログから「シャッター付」と表示されている形状を選びます。
ここでは「シャッター付単体引違 半外付」を選び、サイズを確認してダブルクリックします。

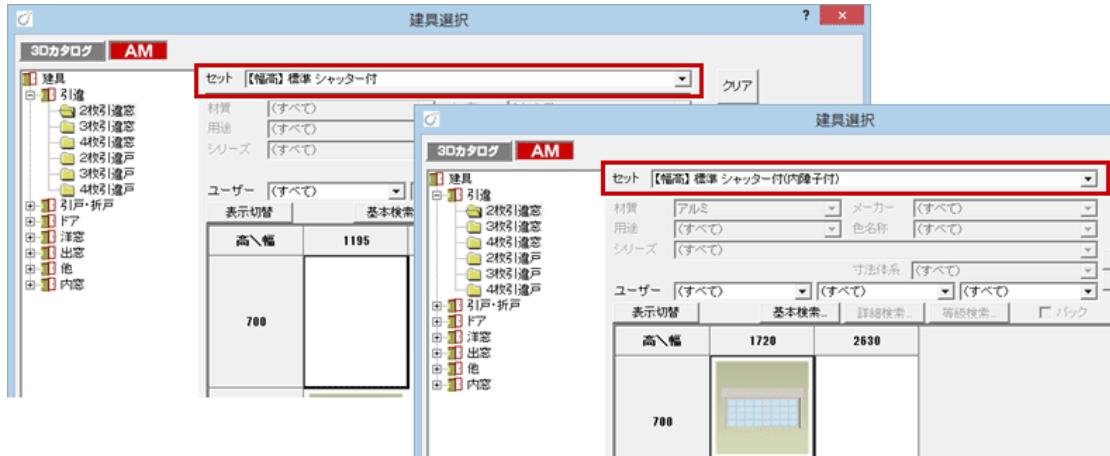


- 3 建具の始点、終点をクリックします。

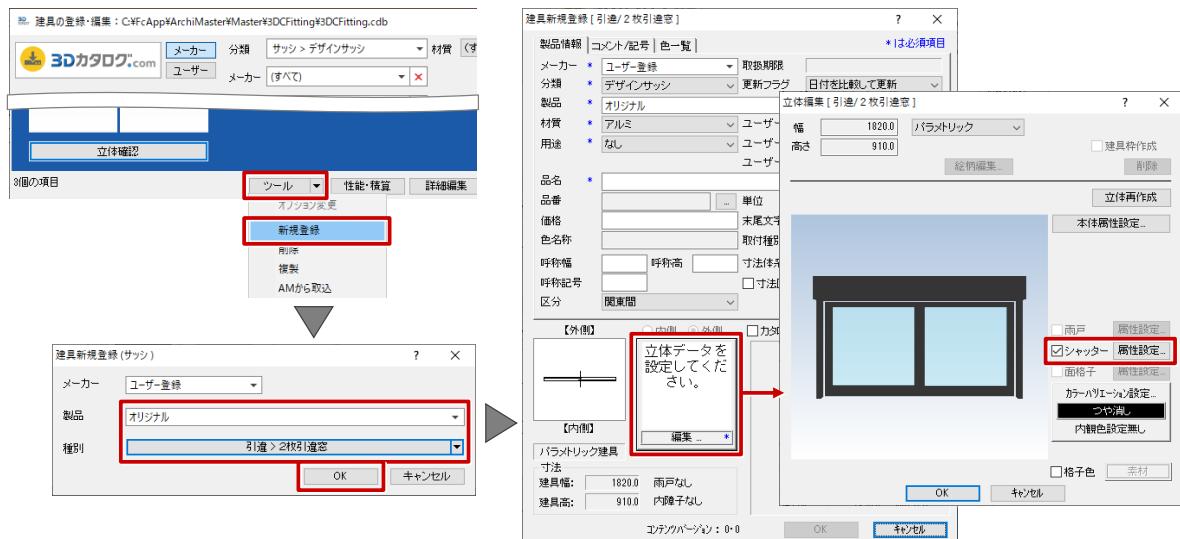




- AM 建具でシャッター付き建具を入力する場合は、「セット」から選択できます。
「セット」を「【幅高】標準 シャッター付」「【幅高】標準 シャッター付 (内障子付)」などに変更します。



- 希望の形状のシャッター付き建具がない場合は、3D カタログマスターから「ツール」メニューの「新規作成」を選んで、シャッター付きの建具を作成することができます。Archi Master も同様です。



- シャッターのみ別に入力する場合は、3D カタログ建具は「サッシ」の「デザインサッシ」、AM 建具は「他」の「シャッター」から選びます。



平面図

Q

建具の幅を指定して入力する方法を教えてください。

A

建具を入力する際に表示される「入力点補正」ダイアログで、「1・---・2」以外の補正タイプを選びます。

1 ·---· 2	「建具幅」を設定せず、マウスで指定した 2 点間を建具幅とする場合に使用します。
1 ·---> 2	「建具幅」と「始点逃げ」を設定して入力する場合に使用します。
1 <---· 2	「建具幅」と「終点逃げ」を設定して入力する場合に使用します。
1 <-·-> 2	「建具幅」を設定して、2 点間の中央に入力する場合に使用します。



平面図

Q

同じ位置に取付高が異なる建具を重ねて入力する方法を教えてください。

A

入力済みの建具の上に重ねて入力し、重複の確認画面で「いいえ」をクリックして入力します。

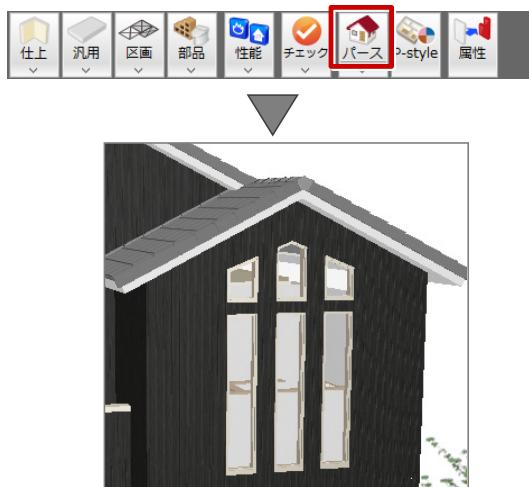
1

取付高や建具のサイズなど設定した後、入力済みの建具の上に重ねて 1 点目、2 点目をクリックします。



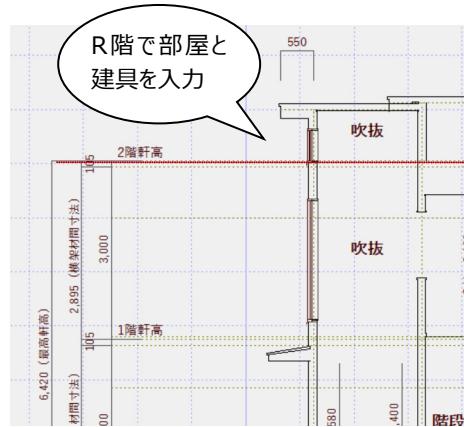
2

パースモニタを開いて、上下に建具が入力されていることを確認します。





- 重なって入力された建具の1つの平面表現を不出力にしたいときは、建具の属性変更ダイアログの「平面不出力」をONにします。
- 2階軒高よりも上部に建具を配置する場合は、R階平面図で吹抜部屋を作成し、建具を入力する方法もあります。



平面図

Q

建具の幅、入力位置を変更する方法を教えてください。

A

建具を選び、寸法エディットやトラッカーを使用して、幅と位置を変更できます。

※ 建具幅は、建具の属性変更ダイアログの「建具幅」でも変更できます。

【寸法エディットを使用する方法】

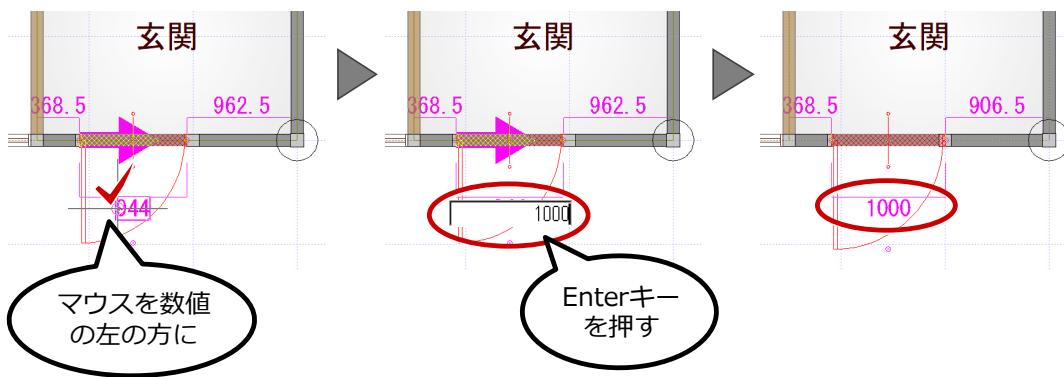
寸法エディットで建具幅を変更する

ここでは、建具の左側を基点にして建具幅を変更します。

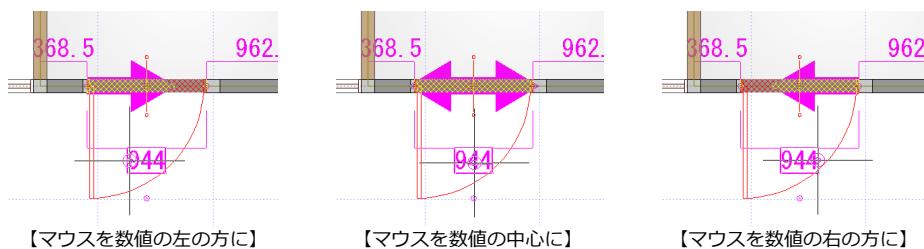
1 建具をクリックします。

2 建具幅の数値の左の方にマウスを動かすと右向きの矢印がでます。この状態で数値をクリックします。

3 ここでは、建具幅を「1000」と設定し、Enterキーを押します。



・建具幅の数値の右の方にマウスを動かすと右向きの矢印が表示され、建具幅の数値の中心にマウスを動かすと左右に矢印が表示されます。この矢印が建具幅の基準となります。



寸法エディットで建具の入力位置を変更する

1 建具をクリックします。建具幅と壁までの寸法が表示されます。

2 変更する寸法をクリックし、「910」と設定して Enter キーを押します。

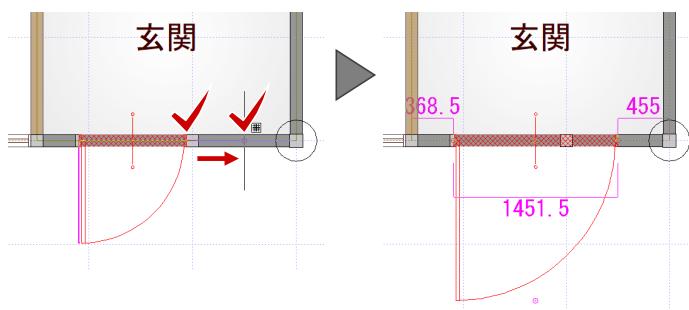


【トラッカーを使用する方法】

トラッカーで建具幅を変更する

1 建具をクリックします。

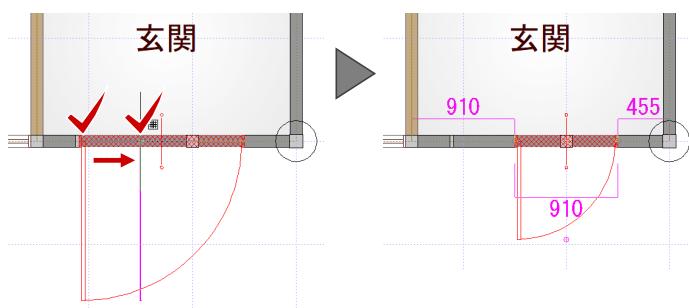
2 変更する方の建具の端点をクリックし、変更する位置でクリックします。



トラッカーで建具の入力位置を変更する

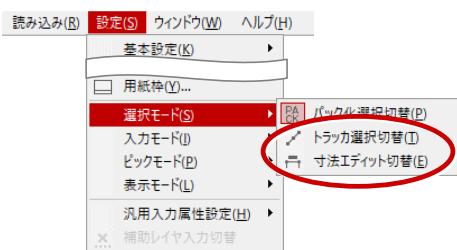
1 建具をクリックします。

2 変更する方の建具の端点をクリックし、変更する位置でクリックします。





- 建具を選択しても寸法エディットやトラッカーが表示されない場合は、「トラッカ選択切替」「寸法エディット切替」がONになっているか確認してください。



- 建具幅は、建具の属性変更ダイアログの「建具幅」でも変更できます。



平面図

Q

建具の開き方向を変更する方法を教えてください。

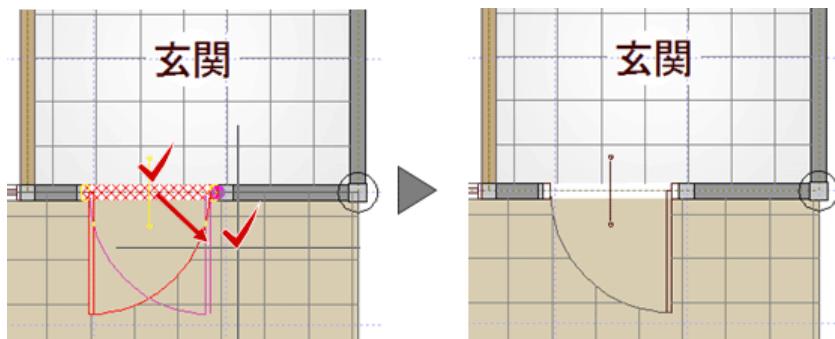
A

「建具」メニューの「建具開き勝手変更」を使用して、開き勝手を変更します。

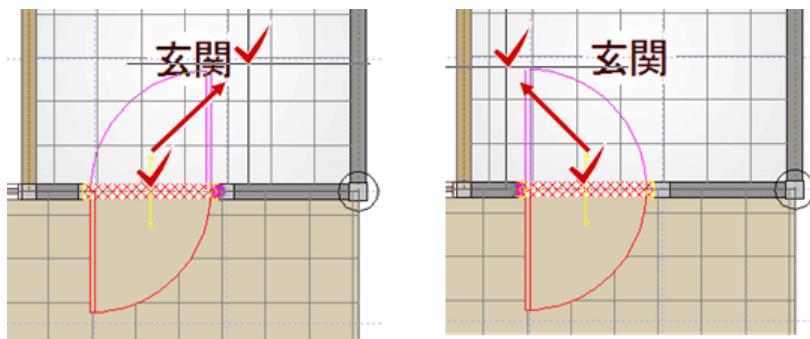
1 「建具」メニューから「建具開き勝手変更」を選択します。



2 建具をクリックして、ラバーバンドを確認しながら吊元の位置をクリックします。



・次のように、吊元・開く方向を変更することもできます。





・「トラッカ選択切替」がONの状態なら、建具を選択したときに表示される○形状のハンドルをクリックすることで、同様に開き勝手を変更できます。



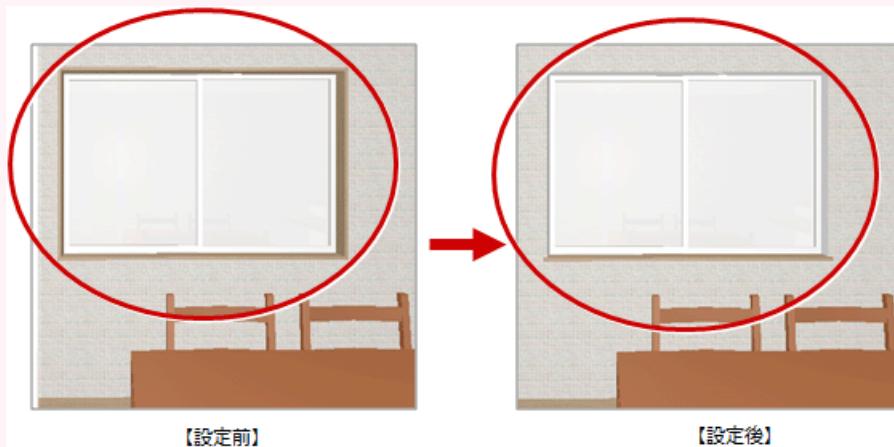
平面図

Q

建具の三方をクロスで巻き込むようにする方法を教えてください。

A

入力済みの建具を変更する場合は、建具の属性変更画面の「平面詳細・矩計設定」で変更します。
建具の初期値を変更する場合は「物件初期設定：建具－額縁等」の「下額縁のみ」を設定します。



入力済みの建具に反映させる方法

1

建具を選んで、「属性変更」をクリックします。



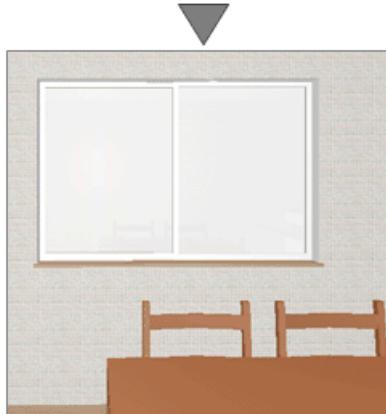
2

建具の属性変更ダイアログの「平面詳細・矩計設定」をクリックして、「下部のみ」をONにします。「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。



3

パースモニタを開いて、三方がクロスで巻き込まれていることを確認します。



建具入力時の初期値を変更する方法

1 「設定」をクリックします。

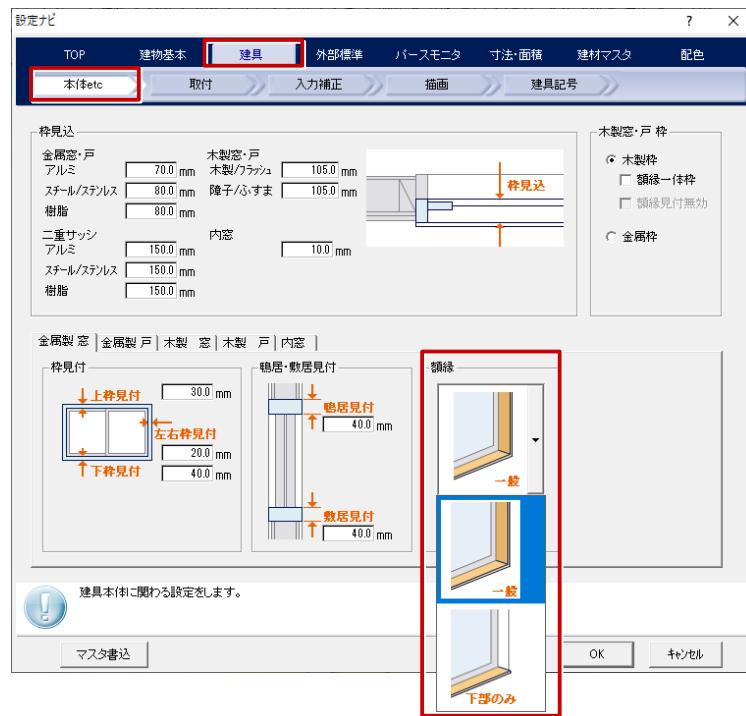


2 「物件初期設定：建具－額縁等」で【金属窓・戸】の「下額縁のみ」の「窓」をONにして、「OK」をクリックします。

※ 戸も同様の表現にするときは「戸」をONにします。



・設定ナビの「建具－本体 etc」からも初期値を変更することができます。



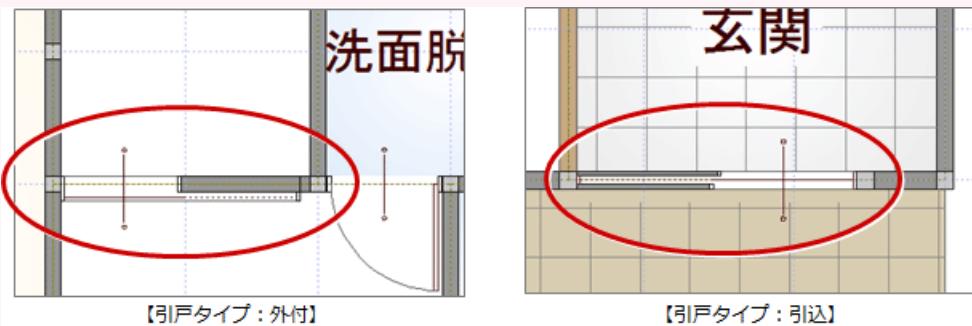
平面図

Q

片引き戸を外付け・引き込みで表現する方法を教えてください。

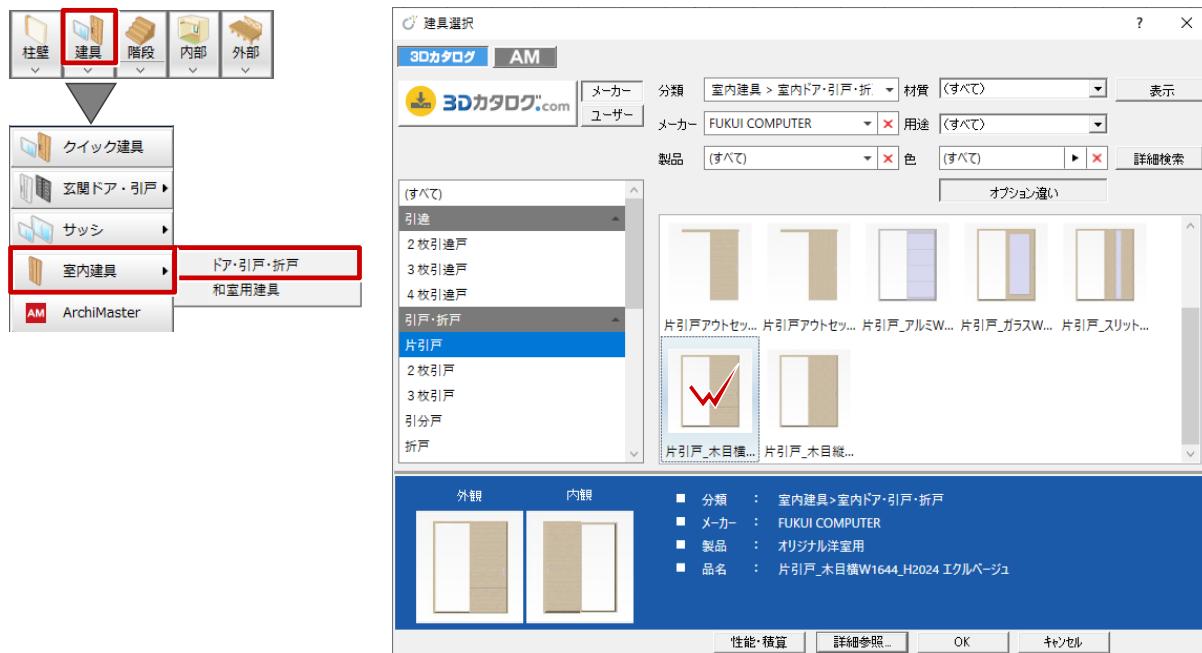
A

建具の入力時に「引戸タイプ」を「外付」「引込」に変更します。
入力済みの建具は、属性変更ダイアログで「引戸タイプ」を変更します。



1

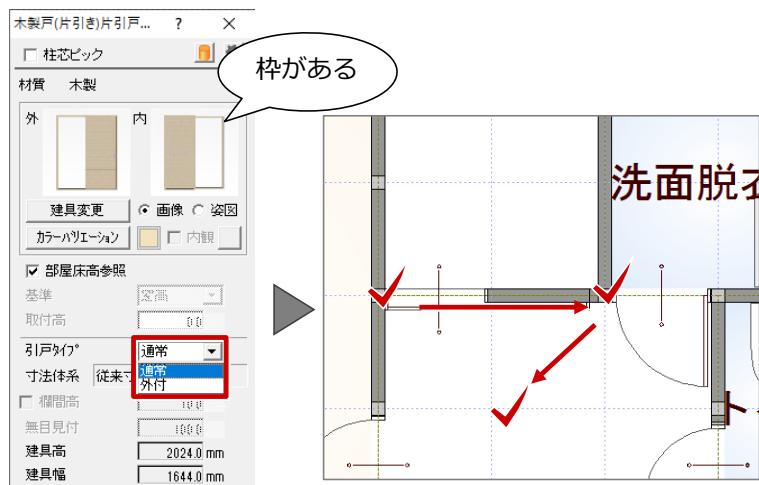
「建具」メニューから「室内建具」の「ドア・引戸・折戸」をクリックし、入力する片引き戸を選択します。



2

建具ダイアログで、入力タイプを変更し入力します。

※建具に枠があるものは「引込」は選択できません。



- ・入力済みの建具を変更する場合は、属性変更ダイアログで「引戸タイプ」を変更します。



- ・「引戸タイプ」の切り替えが可能なのは、3D カタログ建具、AM 建具、AT 建具（木製のみ）です。
- ・建具に枠がないものは、「引戸タイプ」の「引込」が選択できます。
- ・アウトセット建具、3D カタログ.com からダウンロードした引き込み戸は、「引戸タイプ」の切り替えはできません。



平面図

Q

建具記号の基準増減の数値と、建具属性の取付高が合わないときの対処方法を教えてください。

A

【ZERO Ver.5 以前の場合】

基準増減の基準を確認し、「物件初期設定：建具－枠見付」の「寸法区分」を入力済みの建具の「寸法区分」と合わせます。その後、建具の属性変更ダイアログの「初期値取込」を実行します。

【ZERO Ver.6 の場合】

「物件初期設定：建具－記号寸法」の「基準増減を取付高で表記」を ON にします。

【ZERO Ver.5 以前の場合】

1

「設定」をクリックします。

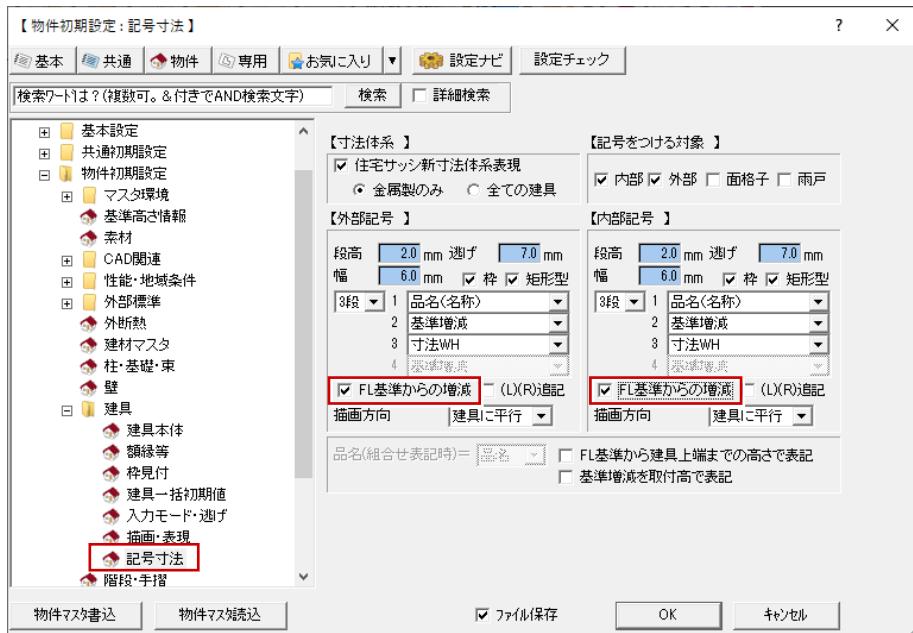


2

「物件初期設定：建具－記号寸法」の「FL 基準からの増減」の設定を確認します。

※ 基準には、FL 基準からの増減表示と窓高基準からの増減表示があり、

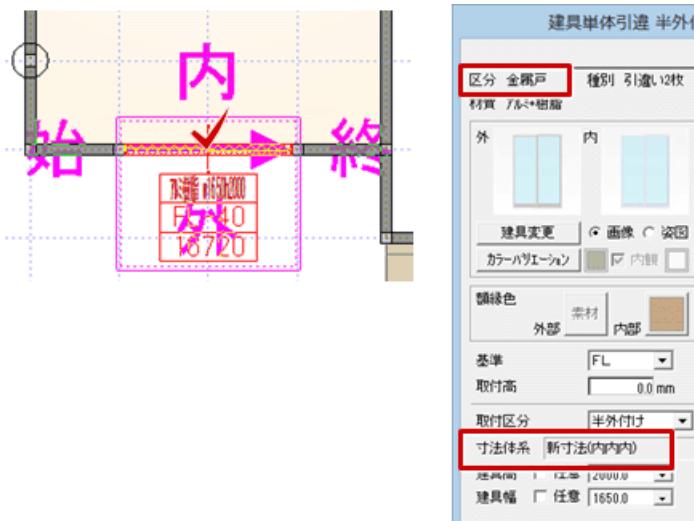
「FL 基準からの増減」が ON の場合は FL 基準、OFF の場合は窓高基準で増減を表示します。



3 「属性変更」を選びます。



4 建具をクリックして、建具の属性変更ダイアログの「区分」と「寸法体系」を確認します。 ここでは、「区分」は「金属戸」、「寸法体系」は「新寸法（内内内）」の建具を入力しています。



5 「設定」をクリックします。



6 「物件初期設定：建具－枠見付」の「金属製 戸」の「寸法区分」を「内」「内」「内」に変更して、 「OK」をクリックします。 ※ 建具の属性変更ダイアログで確認した寸法体系に合わせます。



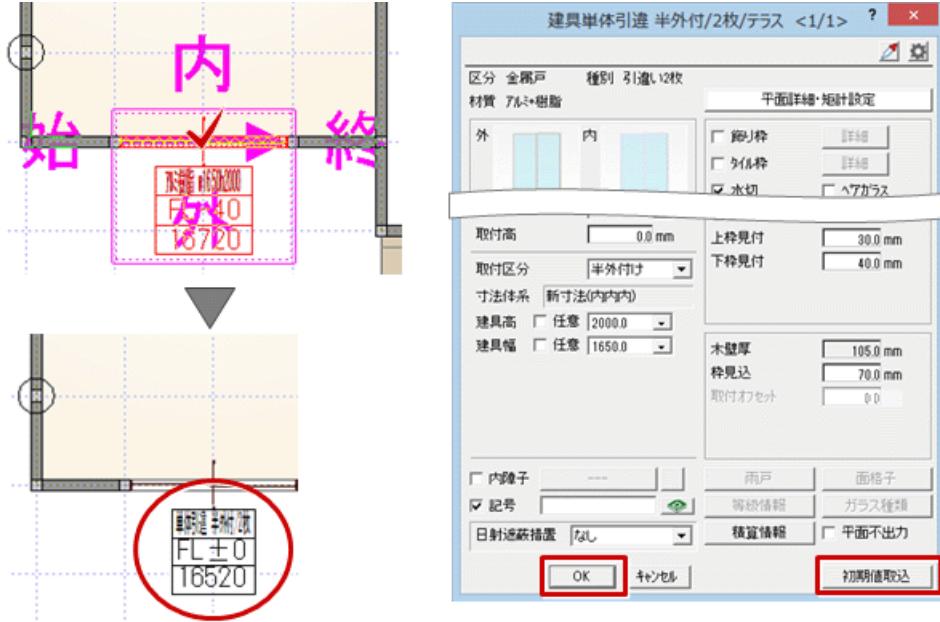
7

「属性変更」をクリックします。



8

建具を選び、建具の属性変更ダイアログの「初期値取込」をクリックして、「OK」をクリックします。
※「初期値取込」をクリックすると、「物件初期設定：建具－枠見付」の変更が反映されます。



【ZERO Ver.6 の場合】

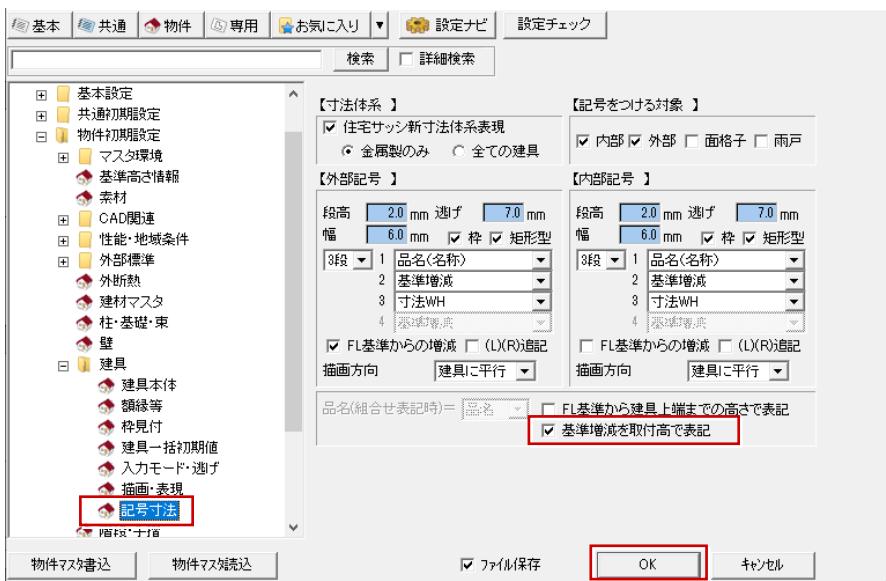
1

「設定」をクリックします。



2

「物件初期設定：建具－記号寸法」の「基準増減を取付高で表記」を ON にして、「OK」をクリックします。



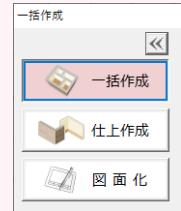
平面図



「一括作成」の機能について教えてください。



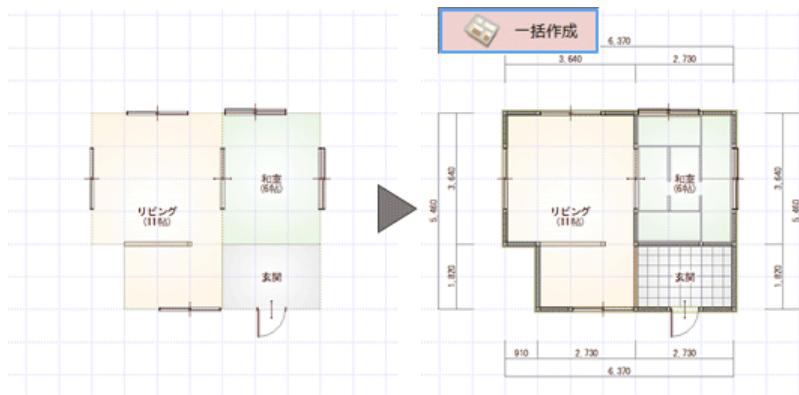
「一括処理」「仕上作成」「図面化」の3つの処理モードがあり、図面の作成段階・状況に応じて使い分けます。



【一括作成】

部屋より柱、壁、仕上、部屋寸法などを自動配置し、図面を仕上げます。

部屋、建具、一括作成では配置されない通し柱、たれ壁、腰壁を入力した後に「一括作成」を行います。

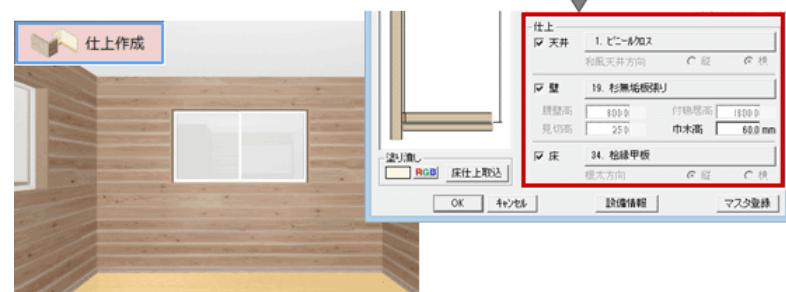


【仕上作成】

部屋属性の仕上情報を参照して、柱壁がある位置に壁・床仕上を自動作成します。

また、次のような仕上の再作成が必要なときにも使用します。

- ・部屋属性で仕上情報を変更した場合
- ・柱壁・たれ壁などを追加した場合
- ・外壁仕上マスターを変更したい場合



【図面化】

柱壁の包絡、開口、目地ぬき処理、部屋寸法の作成を行い、図面を仕上げます。

図面を仕上げる場合や、部品の削除や移動、ポーチなど目地があるデータの属性変更で目地が復元された場合などに行います。



平面図



手動で入力した柱はそのままで、一括作成する方法を教えてください。

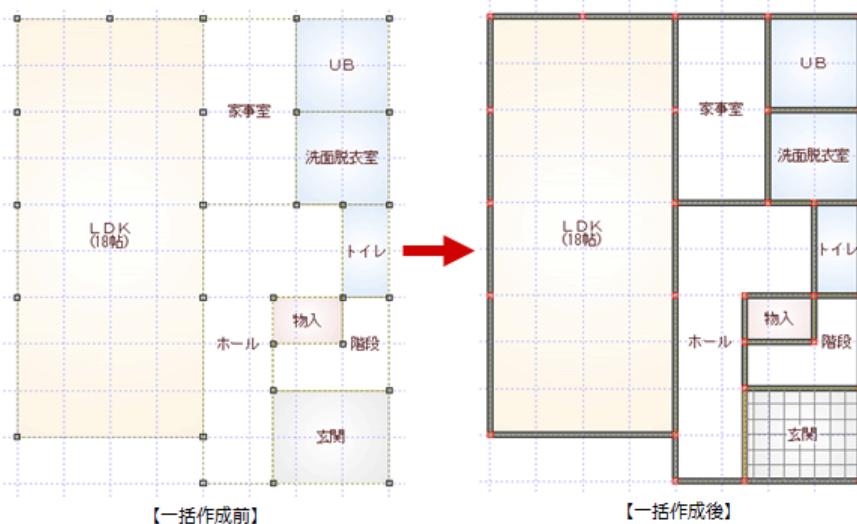
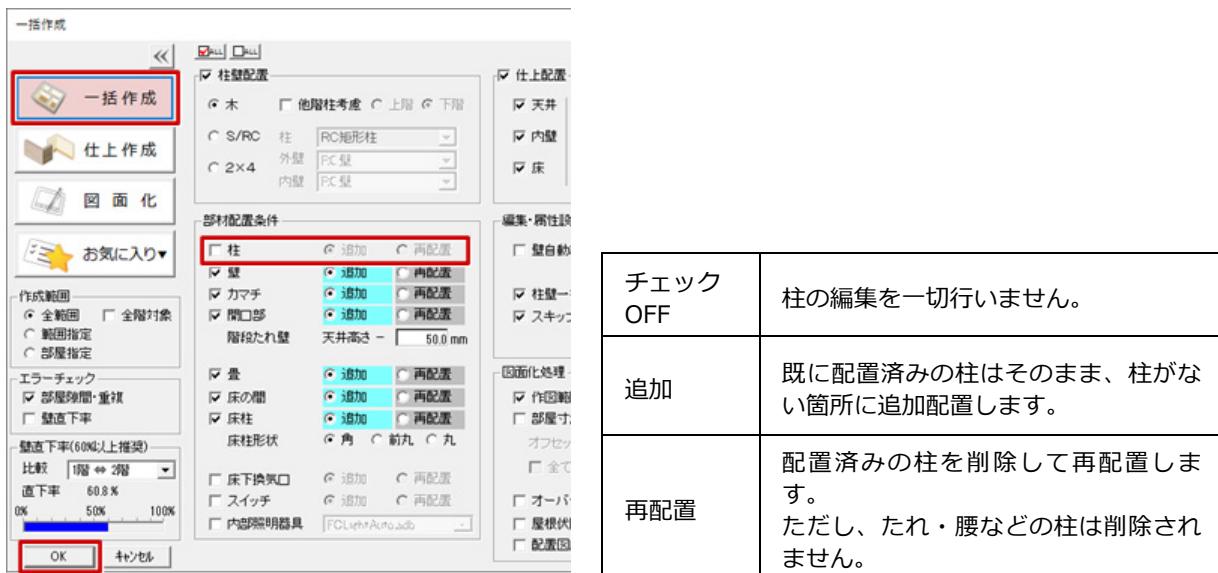


「一括作成」ダイアログで「柱」を OFF にして、一括作成を行います。

1 「一括作成」をクリックします。



2 「一括作成」ダイアログで「柱」を OFF にして、「OK」をクリックします。



平面図

Q

追加した柱・壁に壁仕上がりがでません。壁仕上をまわす方法を教えてください。

A

柱・壁を「壁仕上配置」OFFで追加した場合、自動的に壁仕上は作成されません。「一括作成」ダイアログで「仕上作成」をONにし、躯体をもとに壁仕上を再作成します。

1 「一括作成」をクリックします。

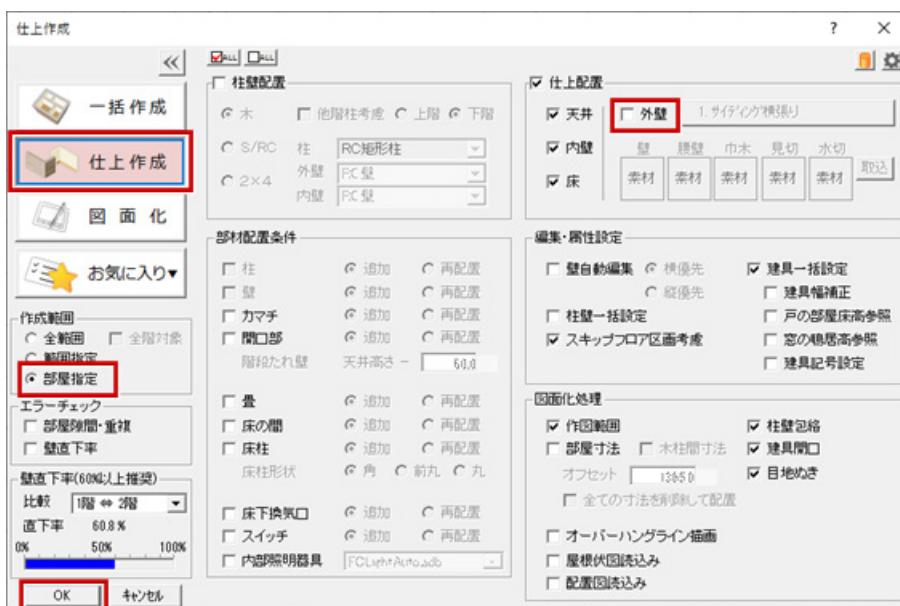


2 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選びます。

3 内壁仕上を作成するときは、「外壁」をOFFにします。

※ 外壁仕上を作成するときは、「外壁」のみをONにします。

4 ここでは、指定した部屋のみ仕上を再作成するため、「部屋指定」をONにして、「OK」をクリックします。



5 仕上を再作成する部屋をクリックします。



平面図

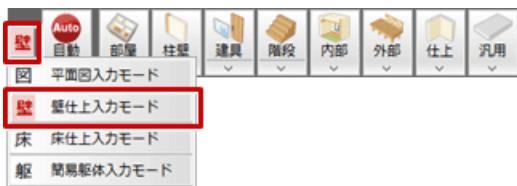
Q

仕上作成を行っても仕上が入れ替わらないようにする方法を教えてください。

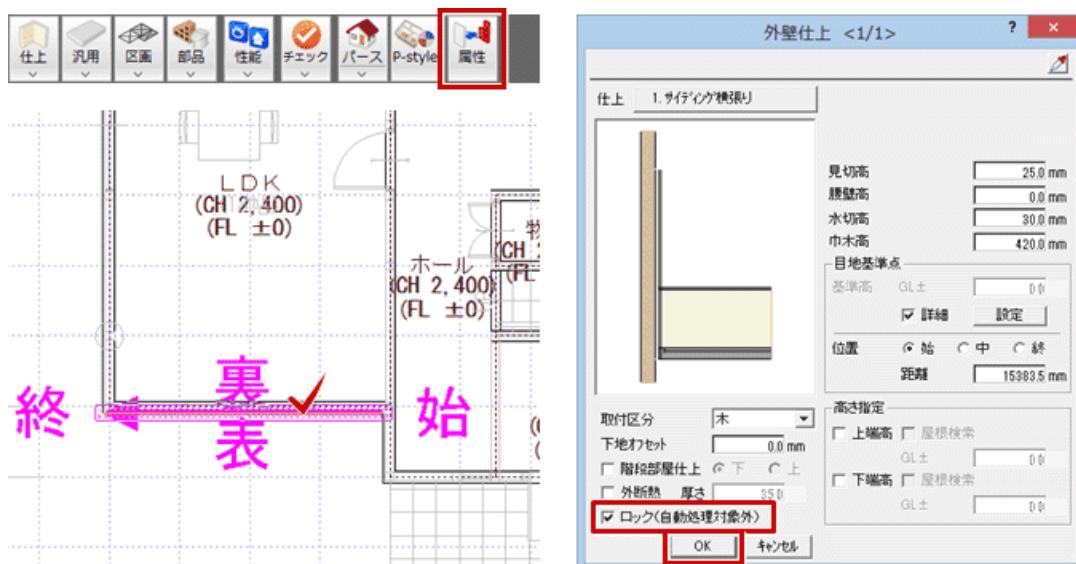
A

仕上の属性ダイアログにある「ロック(自動処理対象外)」をONにすると、一括作成や仕上自動配置を行っても仕上がり入れ替わらないようになります。

1 「壁仕上入力モード」に切り替えます。



2 「属性変更」をクリックして、変更したくない仕上を選びます。
「ロック(自動処理対象外)」をONにして、「OK」をクリックします。



3 今後、一括作成や仕上自動配置を行っても、ロックした仕上は変更されずに保持されます。



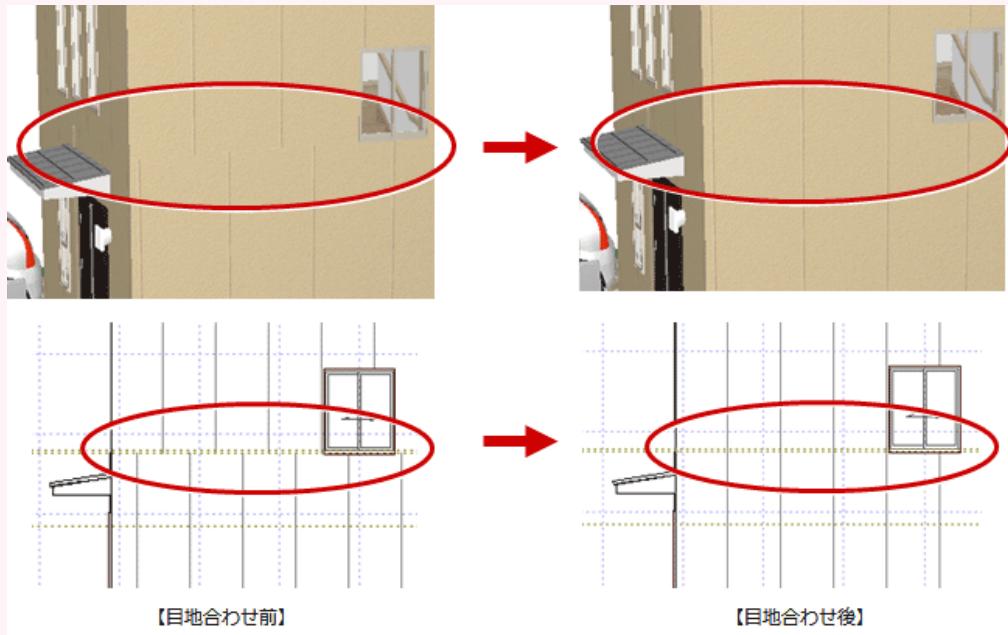
平面図

Q

1階と2階の外壁仕上の目地を合わせる方法を教えてください。

A

「属性」メニューの「目地」の「目地基準再設定」を使用して、1階と2階の目地を合わせます。



1

1階平面図を開いて、「属性」メニューから「目地」の「目地基準再設定」を選びます。



2

範囲を指定します。



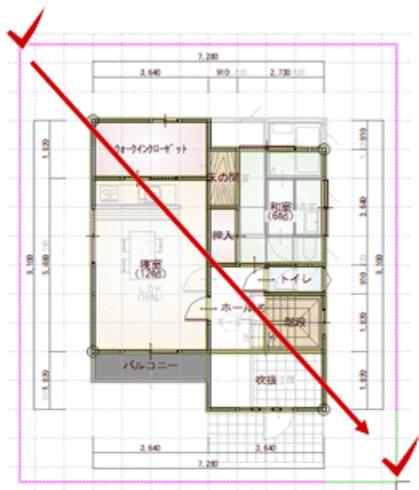
3

2階平面図を開いて、「属性」メニューから「目地」の「目地基準再設定」を選びます。



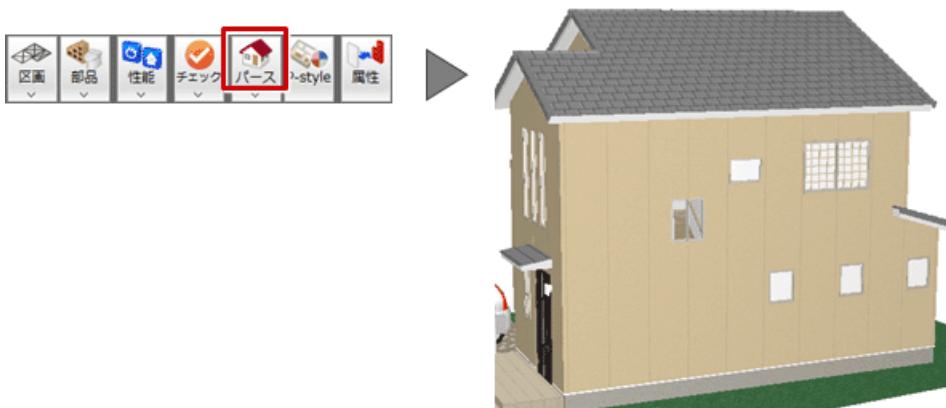
4

範囲を指定します。



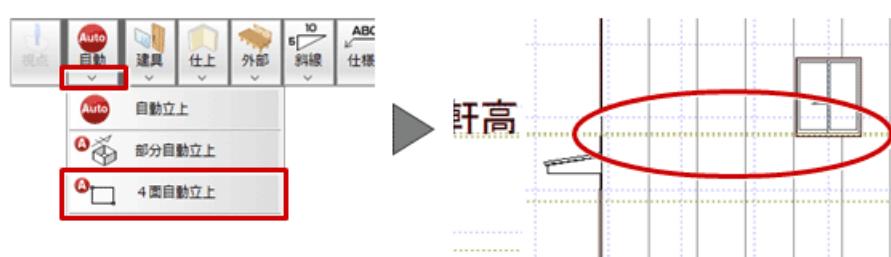
5

「パースモニタ」をクリックして、パースを作成します。



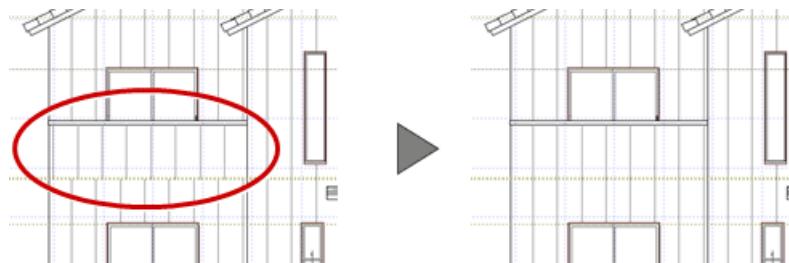
6

立面図を開いて、「自動」メニューから「4面自動立上」を選び、立面図4面を再作成します。





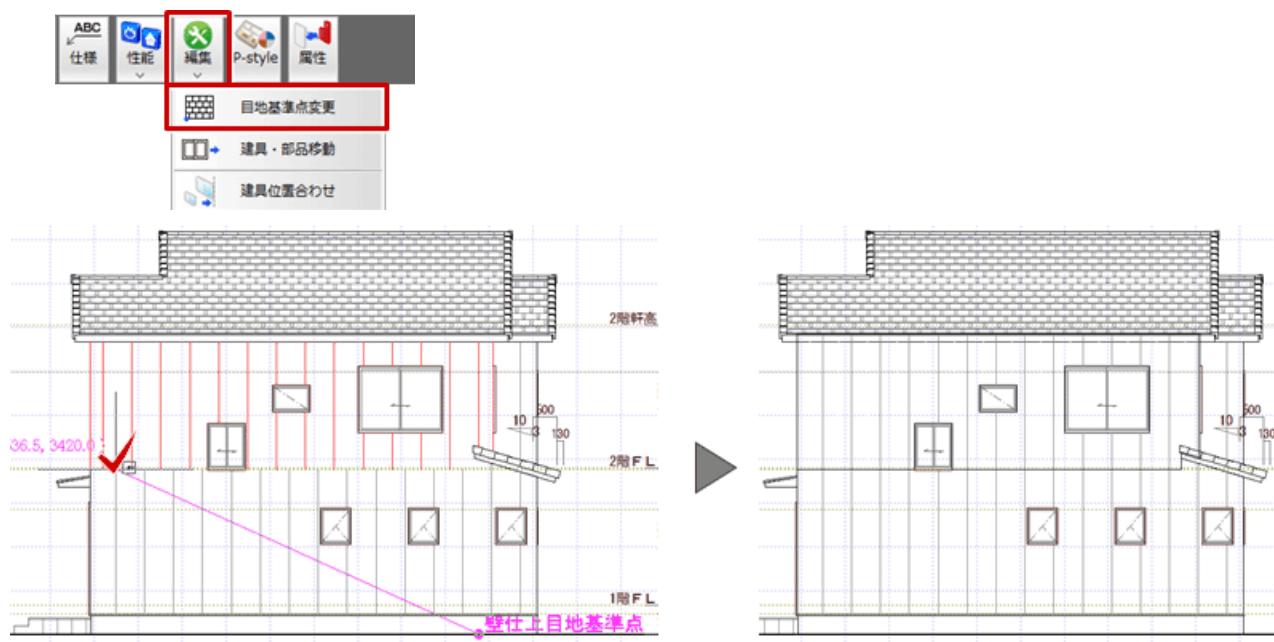
- 「目地基準再設定」の対象となるのは、外壁仕上、パレコニー手摺などの外部手摺、外壁の壁部分目地です。



- 「目地基準再設定」を実行しても目地が合わない場合は、目地原点が合っていないことが考えられます。このときは、「属性」メニューから「目地」の「目地原点」を選んで各階同じ位置に目地原点を入力し、「目地基準再設定」を実行します。
- 目地原点が入力されていない場合は、「目地基準再設定」を実行すると、絶対原点 (X=0, Y=0, Z=0) から各部材の目地が割り付けられます。
- 妻壁やパラペットの目地も合わせる場合は、屋根伏図の「ツール」メニューの「目地基準再設定」を選んで、目地を合わせる部材を選択します。



- 立面図の「編集」メニューの「目地基準点変更」でも、目地の位置を揃えることができます。



平面図

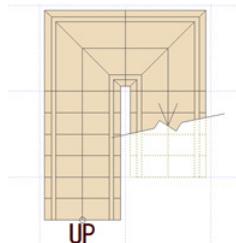
Q

階段の入力方法を教えてください。

A

複数の階段を組み合わせて入力する方法と、階段幅と導線を指定して入力する方法があります。

ここでは、右のような直行 6 段、廻り 2 段×2、直行 4 段の階段を入力します。

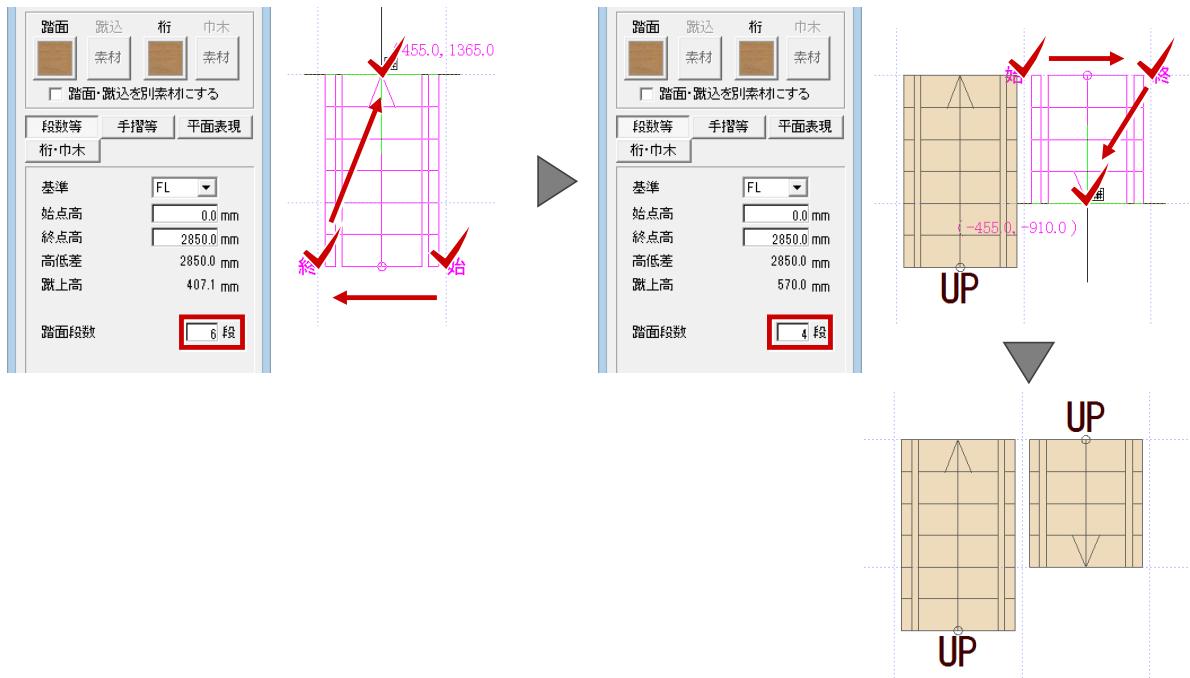


複数の階段を組み合わせる方法

1 「階段」メニューから「階段」の「直行」を選びます。



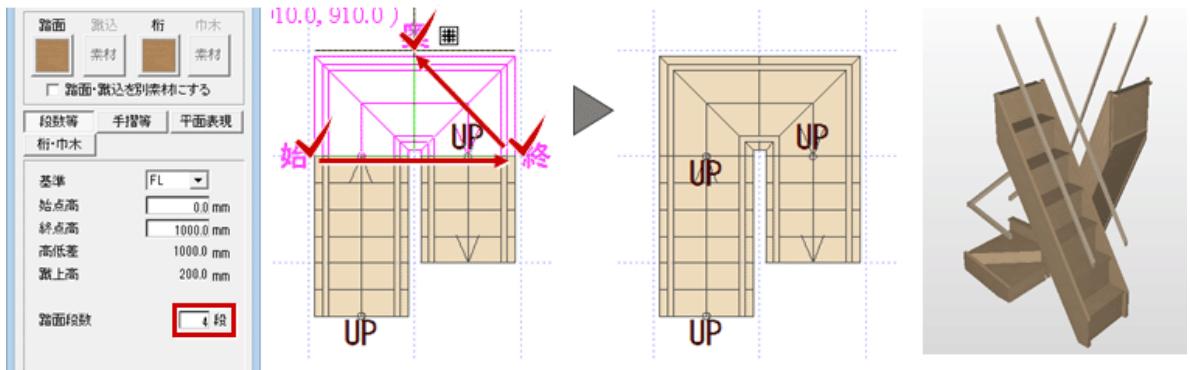
2 「直行」ダイアログで「踏面段数」を設定して、直行階段を入力します。



3 「階段」メニューから「階段」の「折り返し」を選びます。

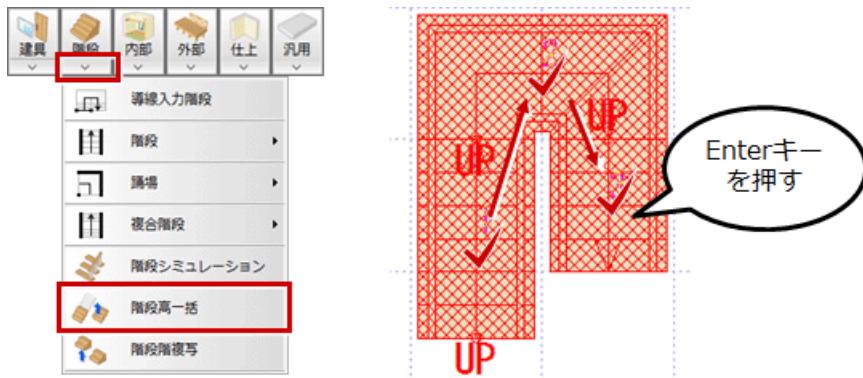


4 「折り返し」ダイアログで「踏面段数」を設定して、折り返し階段を入力します。



5 「階段」メニューから「階段高一括」を選びます。

6 高さを合わせる階段、踊場を低い順に指定します（20 個まで）。 すべての階段を選択したら、Enter キーを押す、またはポップアップメニューの「OK」をクリックします。



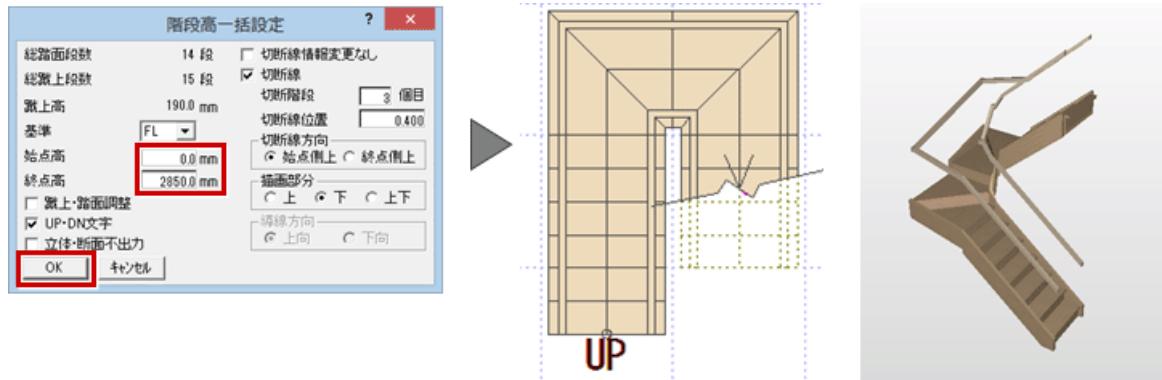
7

「階段高一括設定」ダイアログの「始点高」「終点高」に階段全体の始点位置の高さと終点位置の高さを入力します。

※「終点高」の初期値には、階高がセットされます。

8

「OK」をクリックします。



階段の導線を指定して入力する方法

1

「階段」をクリックします。

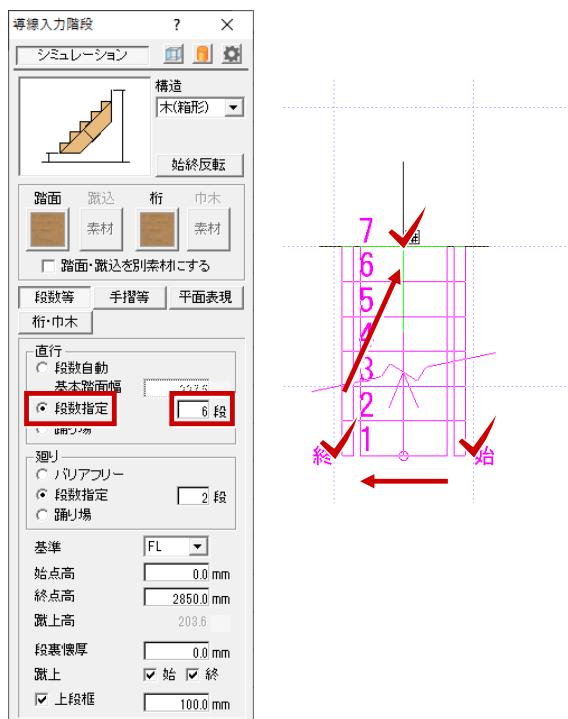


2

「導線入力階段」ダイアログの「直行」で「段数指定」を選び、段数を設定します。

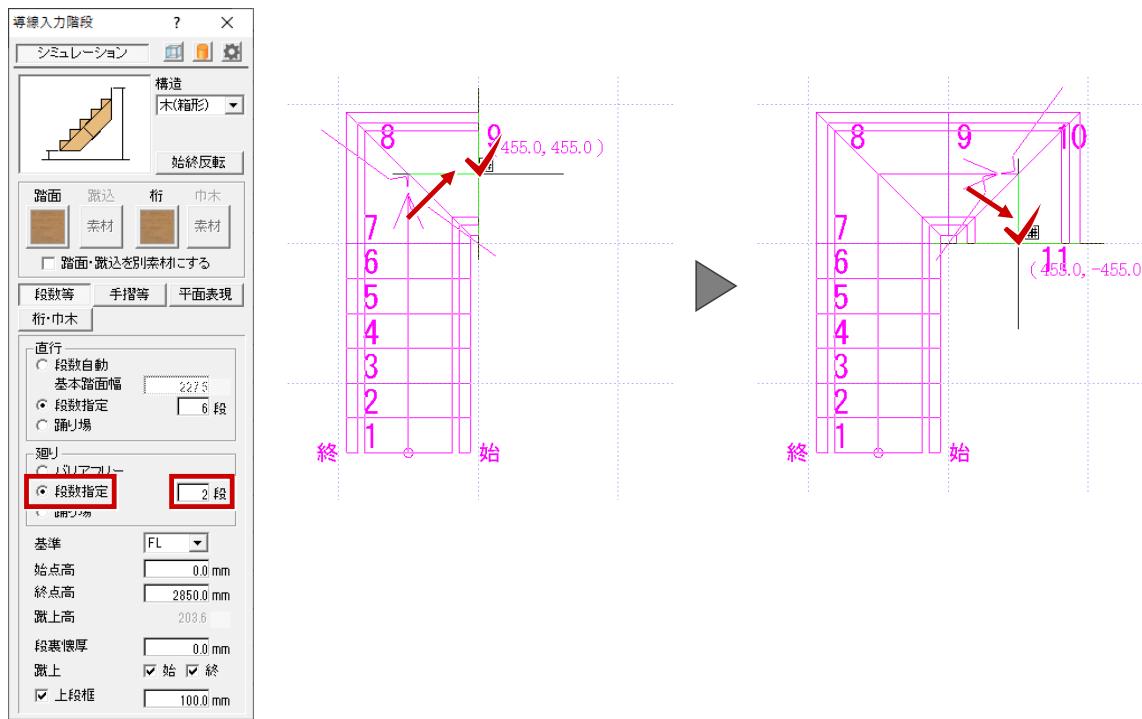
3

階段幅の始点と終点をクリックし、直行階段の終了位置をクリックします。



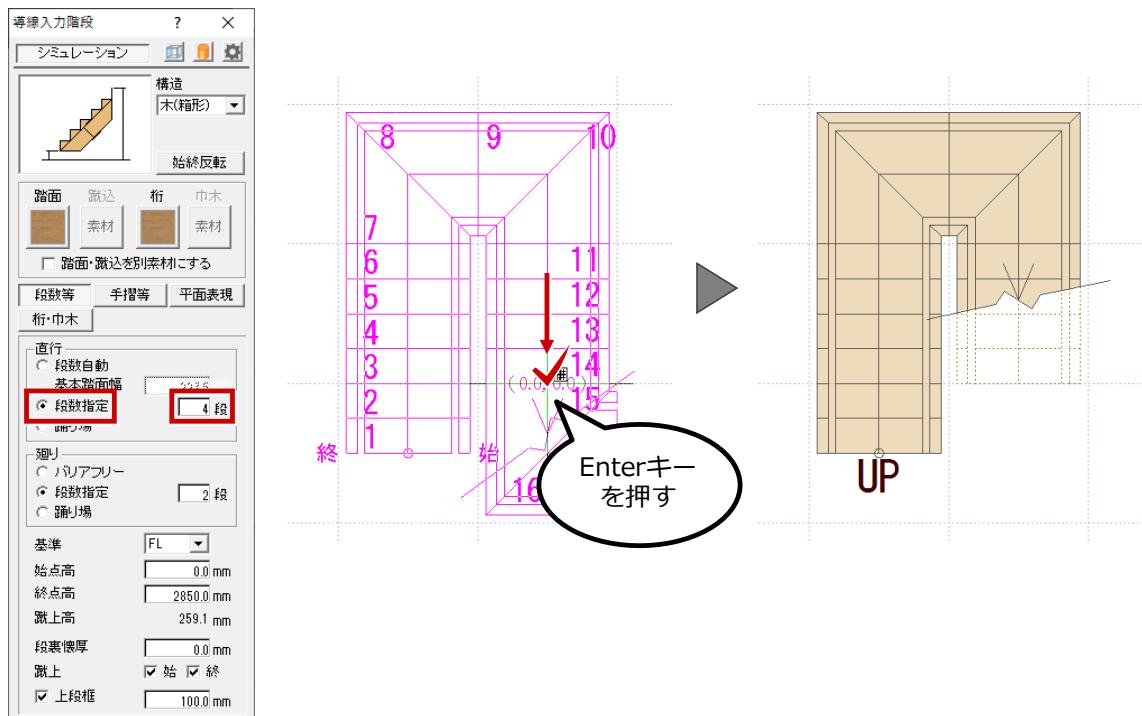
4 ダイアログの「廻り」で「段数指定」を選び、廻り階段の段数を設定します。

5 廻り階段の終了点を順にクリックします。



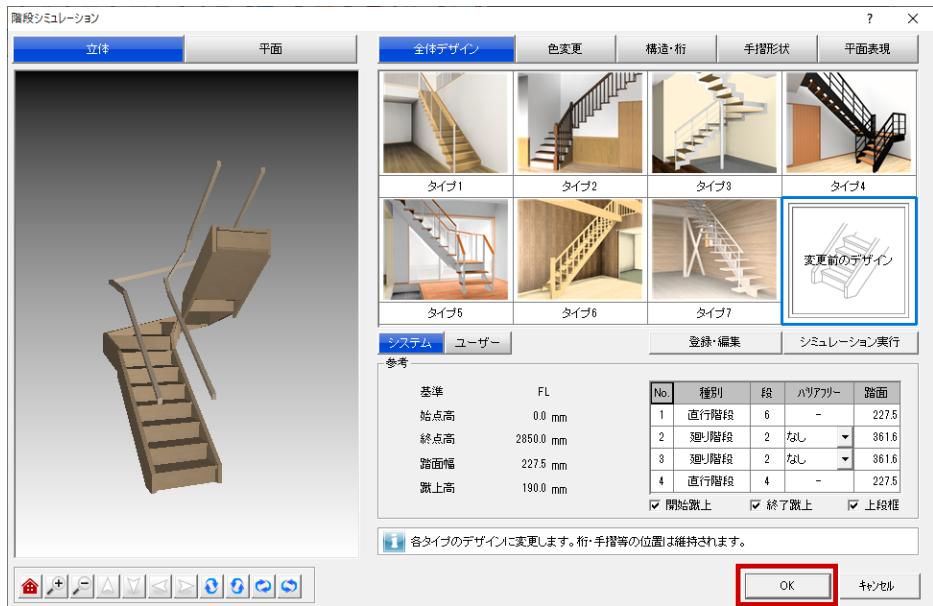
6 ダイアログの「直行」で段数を設定し、直行階段の終了位置をクリックします。

7 最後に Enter キーを押す、またはポップアップメニューの「OK」をクリックします。



8

「導線入力階段」ダイアログで「シミュレーション」がONになっていた場合は「階段シミュレーション」ダイアログが開くので、「OK」をクリックします。



- 「階段シミュレーション」ダイアログでは、さらに詳細にデザインしたり、よく使用するデザインパターンを割り当てることで、入力した階段のデザインを変更できます。
- 構造が木造の階段のみシミュレーションできます。



平面図

Q

外階段の入力方法を教えてください。

A

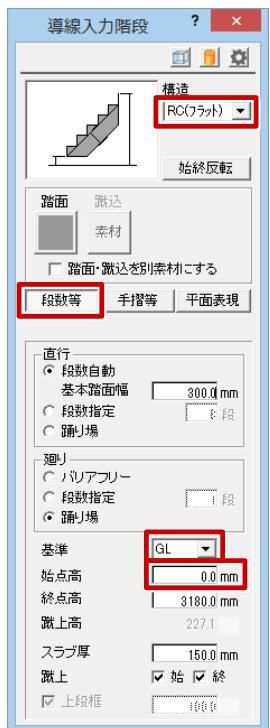
階段の入力ダイアログの「構造」を「S (ストリップ)」「S (箱型)」「RC (フラット)」に変更して、階段を入力します。



1 「階段」をクリックします。



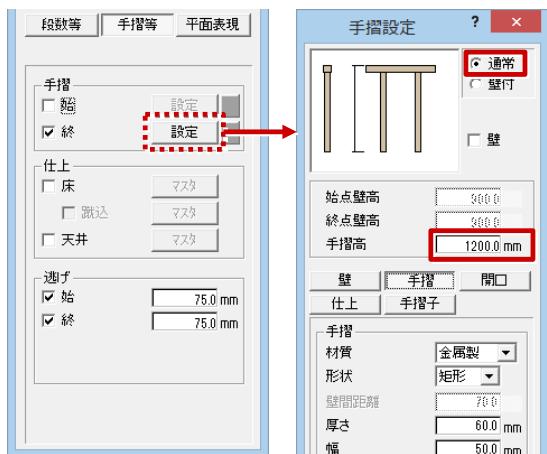
2 「導線入力階段」ダイアログで階段と手摺の詳細を設定します。
ここでは「構造」を「RC (フラット)」、「段数等」の「基準」を「GL」、「始点高」を「0」にします。



3 「手摺等」をクリックして、「手摺」の「始」をOFF、「終」の「設定」をクリックします。



4 「手摺設定」ダイアログの「通常」をON、手摺高を「1200」にします。



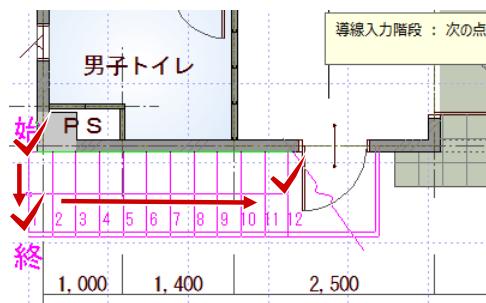
5 「手摺」の「材質」を「金属製」にして、「手摺・親柱」の素材を設定します。



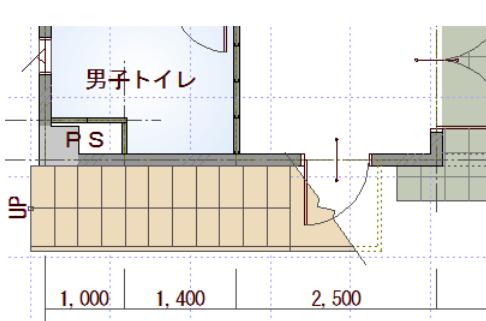
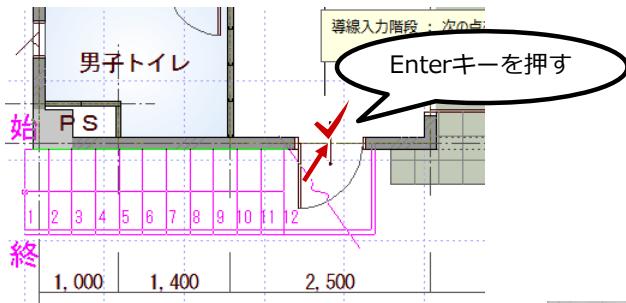
6 「手摺子」をクリックして、「手摺子」の素材を設定し、「OK」をクリックします。



7 階段幅の始点、終点をクリックして、直行階段の終点をクリックします。



8 マウスを動かしラバーバンドの向きを決め、廻り階段の終点をクリックして、Enterキーを押します。



平面図

Q

多角形の階段や踊り場を入力する方法を教えてください。

A

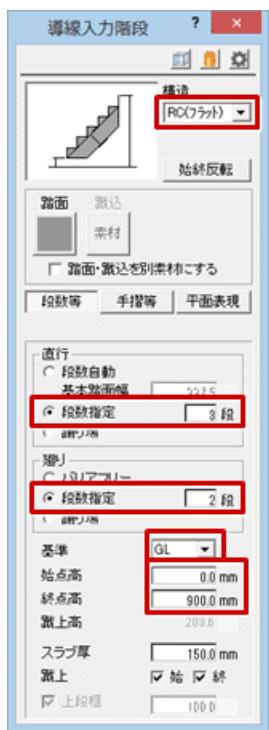
階段の形状は変更できません。
多角形になる部分は、水平面で代用してください。



1 「階段」をクリックします。

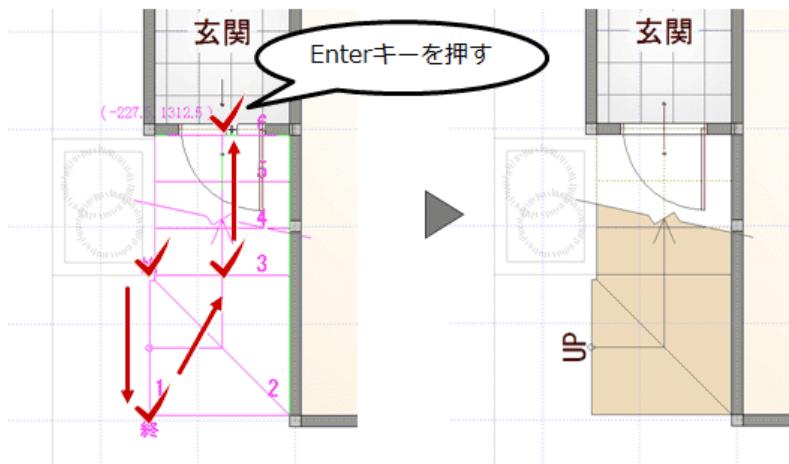


2 「導線入力階段」ダイアログで階段の高さや段数などを設定します。
ここでは「構造」を「RC (フラット)」、「直行」の段数を「3」、「廻り」の段数を「2」、「基準」を「GL」、「始点高」を「0」、「終点高」を「900」にします。



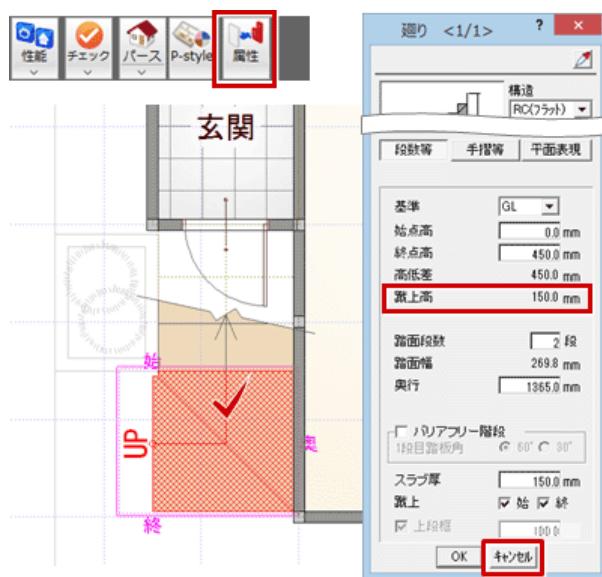
3

階段幅の始点、終点をクリックして、廻り階段の終点をクリックします。
続けて、直行階段の終点をクリックして、Enterキーを押します。



4

「属性変更」をクリックして、廻り階段の「蹴上高」を確認します。



5

ここでは廻り階段部分を多角形の水平面にするため、「削除」メニューから「削除」を選んで、廻り階段を削除します。



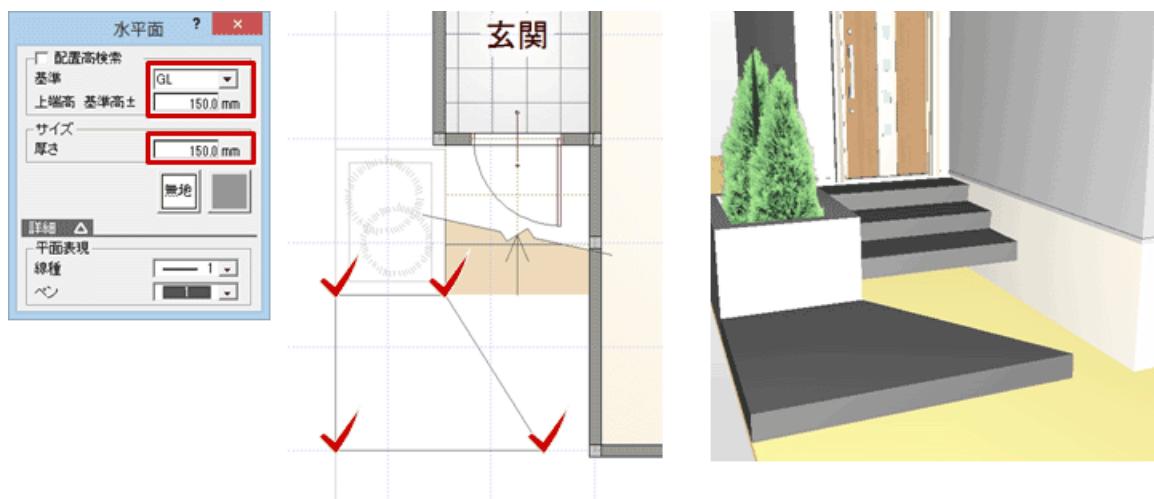
6 「汎用」メニューから「水平面」を選びます。



7

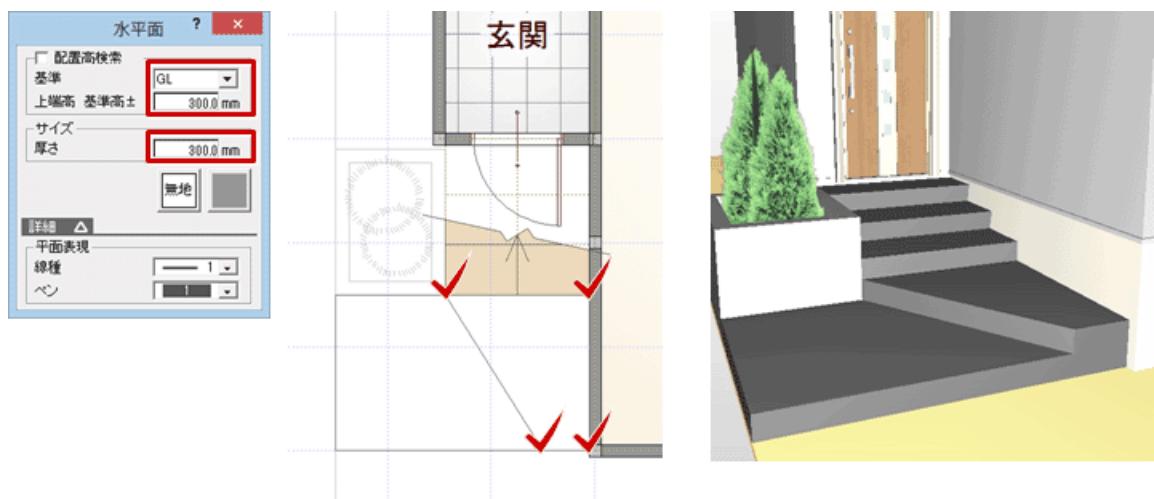
「水平面」ダイアログで配置高や段の厚さを設定します。

ここでは「厚さ」に廻り階段の蹴上高と同じ「150」、「基準」を「GL」、「上端高」を「150」にして、1段目の形状を入力します。



8

続けて、「厚さ」を「300」、「上端高」を「300」にして、2段目の形状を入力します。



平面図

Q

2階に階段を複写する方法を教えてください。

A

「階段」メニューの「階段階複写」で下階から階段を複写します。複数の階段があり、1か所だけ複写するときは、「ファイル」メニューの「階複写」を使用します。

階段が1つしかない、または1階のすべての階段を複写する場合

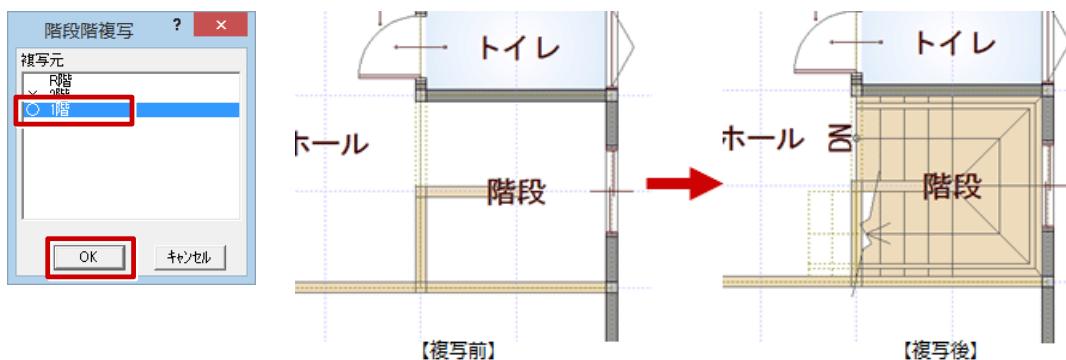
1

2階平面図を開き、「階段」メニューから「階段階複写」を選びます。



2

「階段階複写」ダイアログで、複写元となる「1階」を選択して「OK」をクリックします。下階の階段が複写され、導線の向き、切断線の位置が変更されたことを確認します。

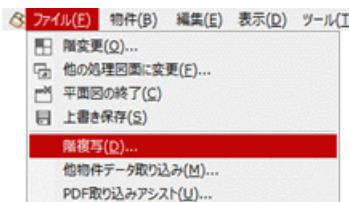


- 複写された階段属性は、自動的に立体・断面は不出力、導線は下向き、切断線は最下段での描画に変更されます。
- 初めて2階平面図を開いたときは、1階で入力している階段が自動的に複写されます。

1 階に複数の階段があり、1か所だけ複写する場合

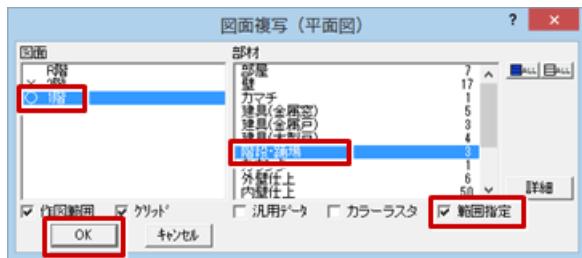
1

2階平面図を開き、「ファイル」メニューから「階複写」を選択します。



2

「面面複写 (平面図)」ダイアログで、複写元となる「1階」「階段・踊場」を選択し、「範囲指定」をONにして、「OK」をクリックします。

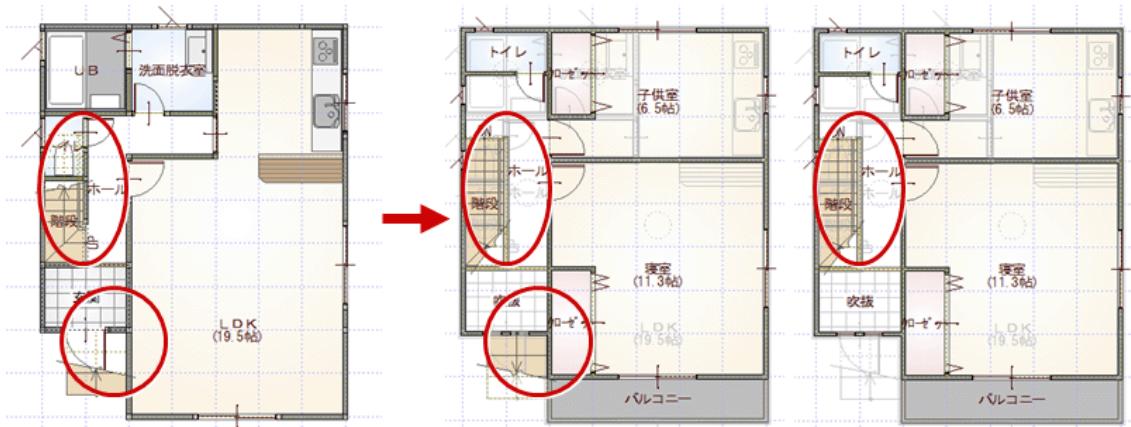


3

階段を複写する範囲を指定すると、下階の階段が複写されます。



・「階段」メニューの「階段階複写」は、指定した階のすべての階段が複写されるため、次のような結果になります。



【1階】

【2階：「階段階複写」を使用した場合】

【2階：「階複写」を使用した場合】

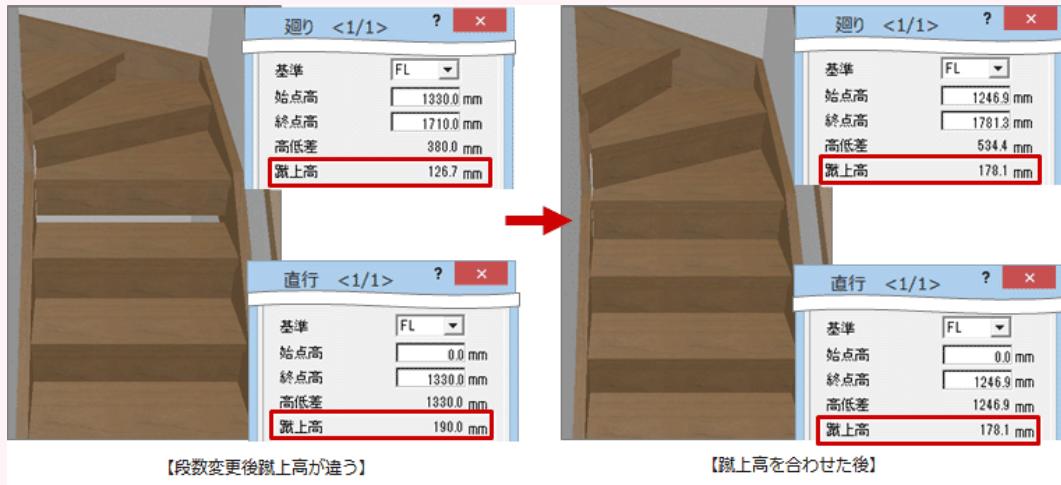
平面図

Q

階段の段数を変更したときに、蹴上高を合わせる方法を教えてください。

A

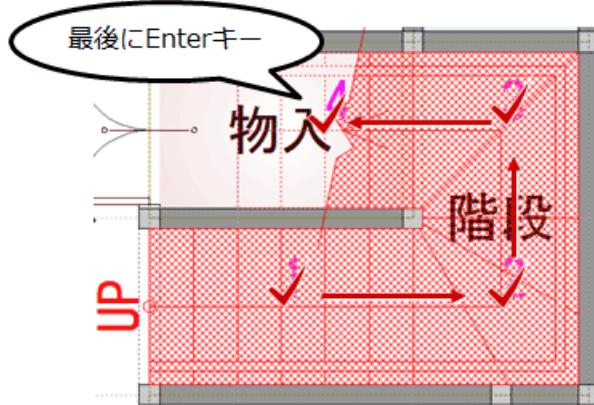
「階段」メニューの「階段高一括」を使用して、階段の高さを合わせます。



1 「階段」メニューから「階段高一括」を選びます。

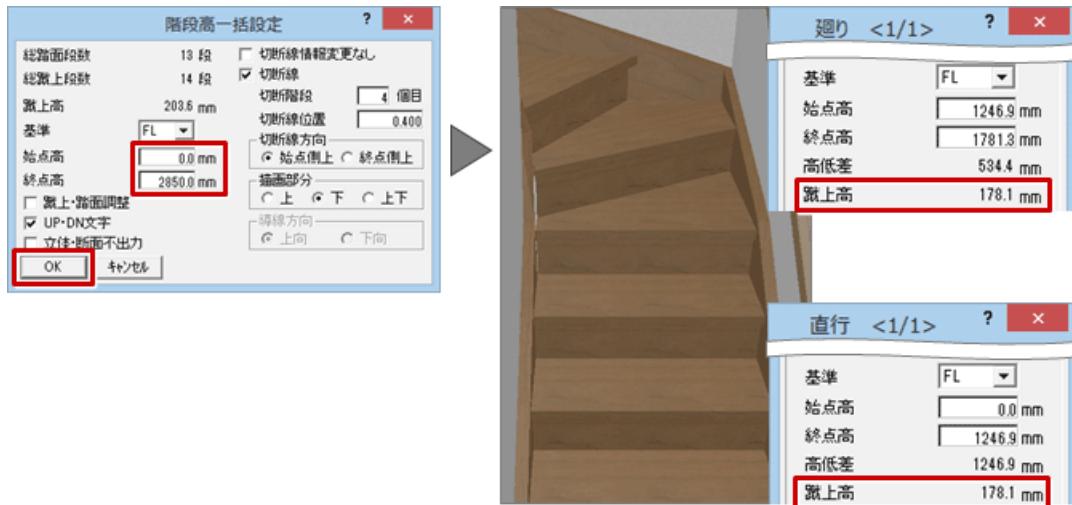


2 高さを合わせる階段を低い順にクリックして、Enterキーを押します。



3

「階段高一括設定」ダイアログで、階段全体の始点高、終点高の設定などを確認して、「OK」をクリックします。



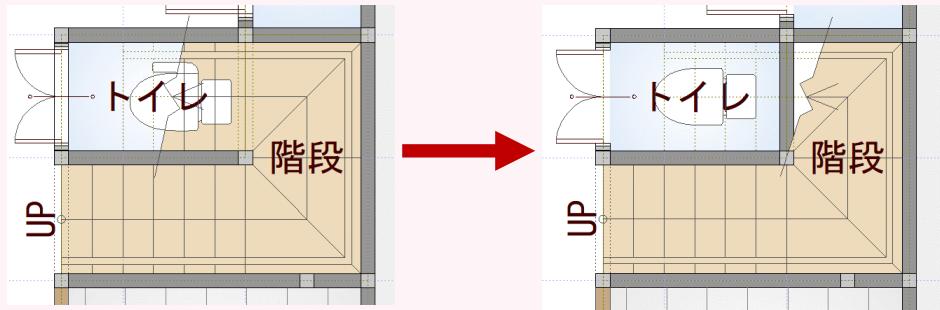
平面図

Q

階段の切断線を変更する方法を教えてください。

A

階段属性ダイアログの「平面表現」にある「平面不出力」と「切断線」で変更します。

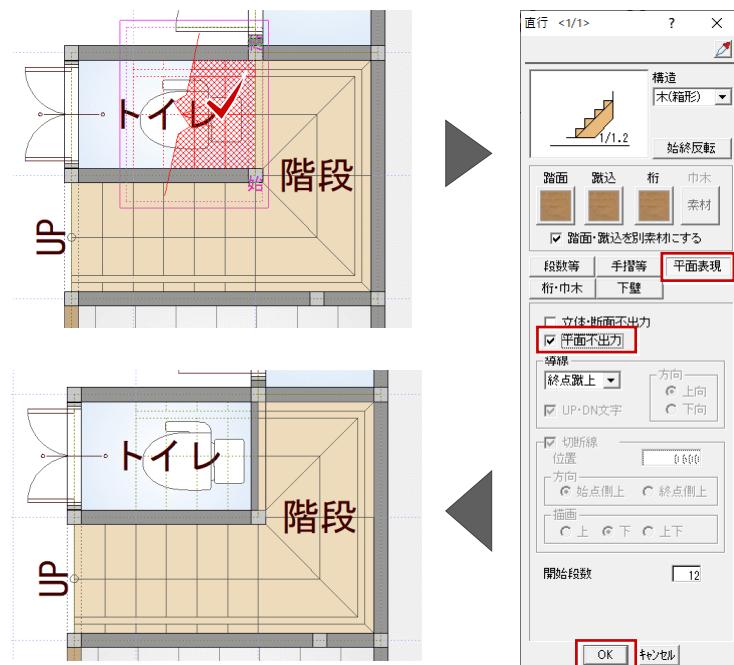


1 「属性変更」をクリックします。



2 切断線を変更する階段をクリックします。

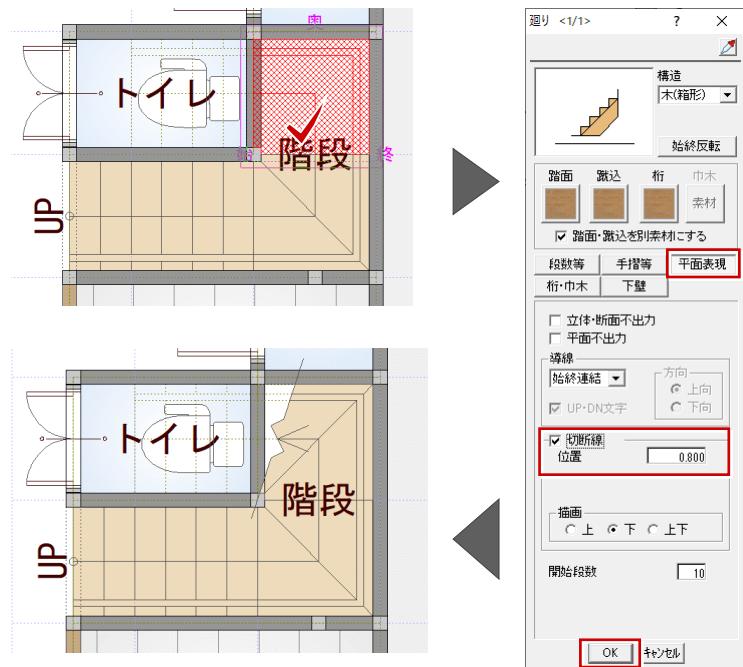
「直行」ダイアログで「平面表現」の「平面不出力」を ON にして、「OK」をクリックします。



3

切断線を変更する階段をクリックします。

「廻り」ダイアログで「平面表現」の「切斷線」をONにし「位置」を設定して、「OK」をクリックします。



・「階段」メニューの「階段高一括」コマンドでは、階段をまとめて選択し、切断位置を調整することができます。



平面図

Q

2階から上に上がる階段の立体を消す方法を教えてください。

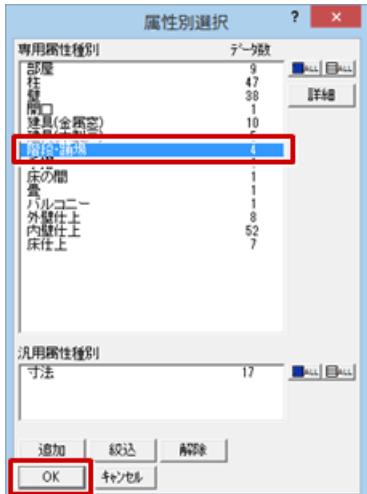
A

階段の属性変更ダイアログの「平面表現」にある「立体・断面不出力」をONにして、2階から上に上がる階段の表示を消します。

- 1 「属性別選択」をクリックします。



- 2 「属性別選択」ダイアログの「階段・踊場」を選び、「OK」をクリックします。



- 3 「属性変更」をクリックします。

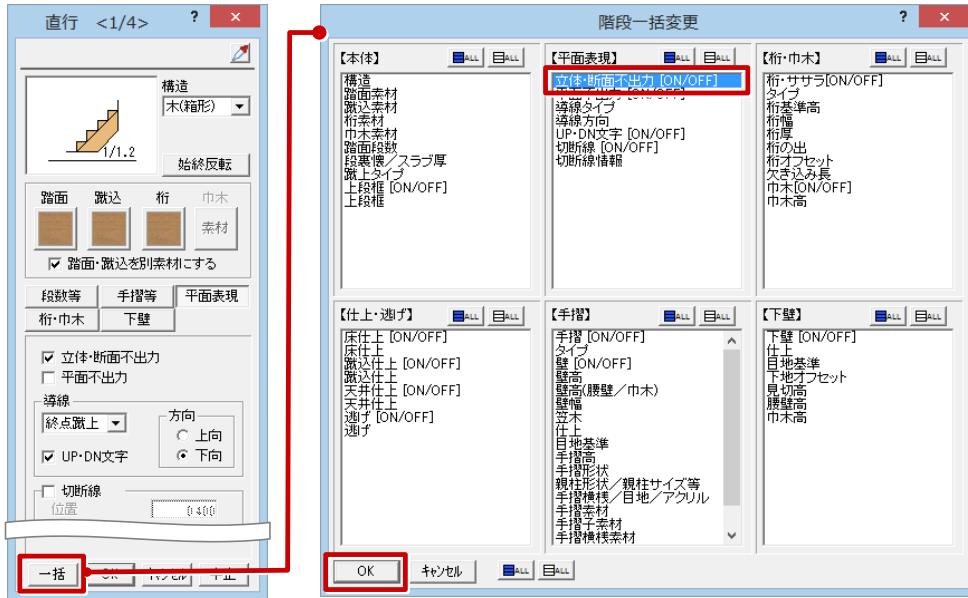


- 4 階段の属性変更ダイアログの「平面表現」をクリックして、「立体・断面不出力」をONにします。

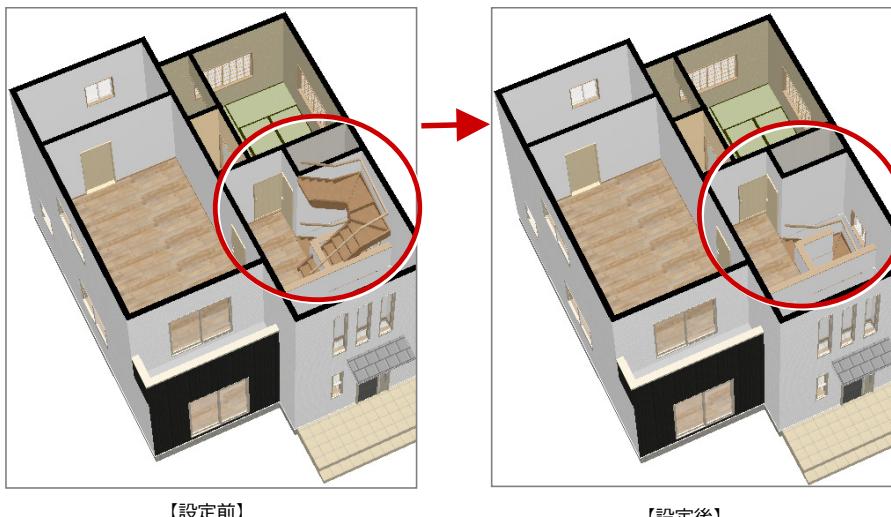


5 「一括」をクリックして、「階段一括変更」ダイアログの「立体・断面不出力 [ON/OFF]」を ON にし、「OK」をクリックします。

※ 一括変更ダイアログでは、変更があった設定のみ選択された状態になります。



6 パースモニタを開いて、2階から上の階段が表示されないことを確認します。



平面図

Q

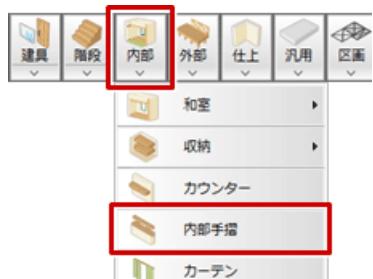
上端が斜めの手摺壁を入力する方法を教えてください。

A

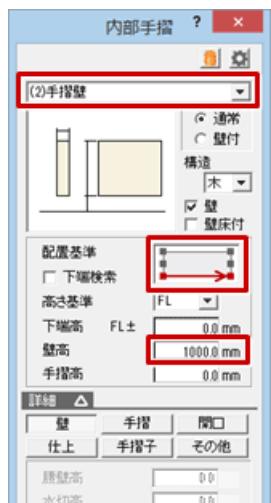
階段脇の手摺壁のように上端が斜めの壁は、「内部」メニューの「内部手摺」で作成することができます。



1 「内部」メニューから「内部手摺」を選びます。



2 「内部手摺」ダイアログで手摺の形状を設定します。
ここでは、手摺のタイプを「(2) 手摺壁」、「配置基準」を一番下、「壁高」を「1000」にします。

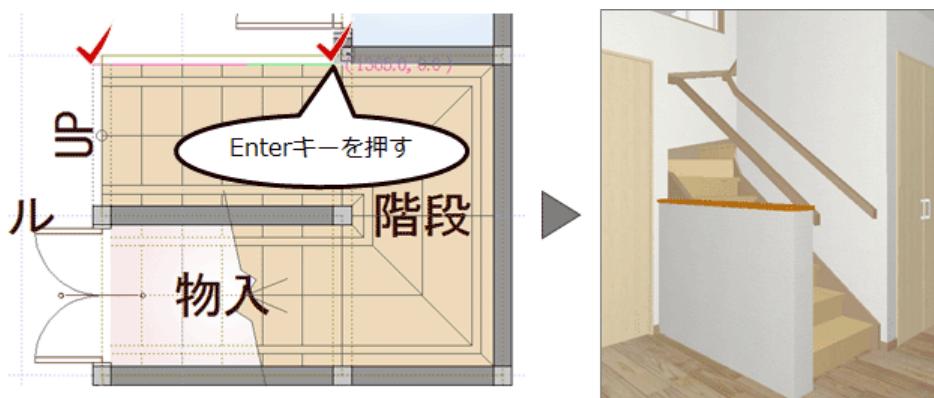


3 共通ツールバーの「ピック (端点)」を ON にします。



4

手摺の始点、終点をクリックして、Enterキーを押します。
ここでは、始点として階段昇り口のたれ壁端部、終点として柱端部をクリックします。



5

手摺の上端を斜めにするために、「属性変更」をクリックして手摺をクリックします。



6

「手摺」ダイアログの「個別」をONにして、「変更」をクリックします。

7

「高さ設定」ダイアログの「壁高」の「1」を「1000」、「2」を「2200」に設定します。
このときの「1」「2」の位置は、CAD画面で確認できます。



平面図

Q

パースに外部の梁を表現する方法を教えてください。

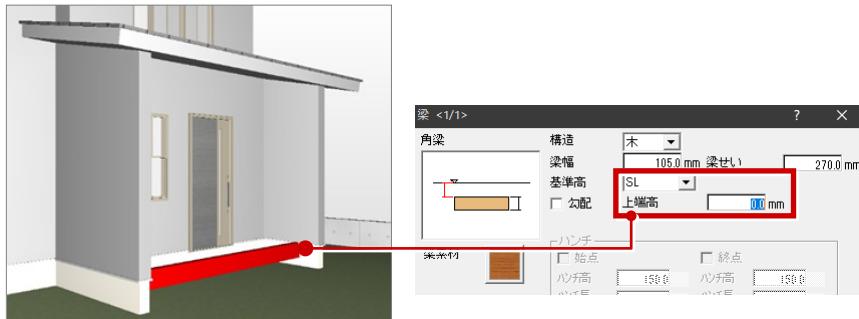
A

「内部」メニューの「化粧梁」で入力します。
 「内部」メニューの「化粧梁」コマンドは、内部・外部問わず、意匠パースで表現できます。

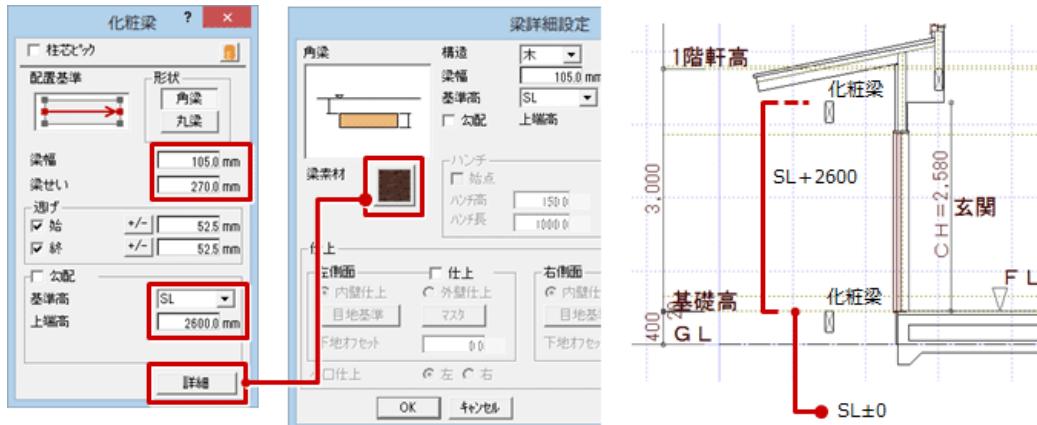
- 1 「内部」メニューから「化粧梁」を選びます。
 自動的に「簡易軀体入力モード」に切り替わります。



- 2 「化粧梁」ダイアログで梁の幅、逃げ、上端高などを設定します。
 初期設定のまま SL+0 で入力すると地中に配置されますので、配置する高さを設定します。



- 3 素材は、「詳細」をクリックして「梁詳細設定」ダイアログで設定します。

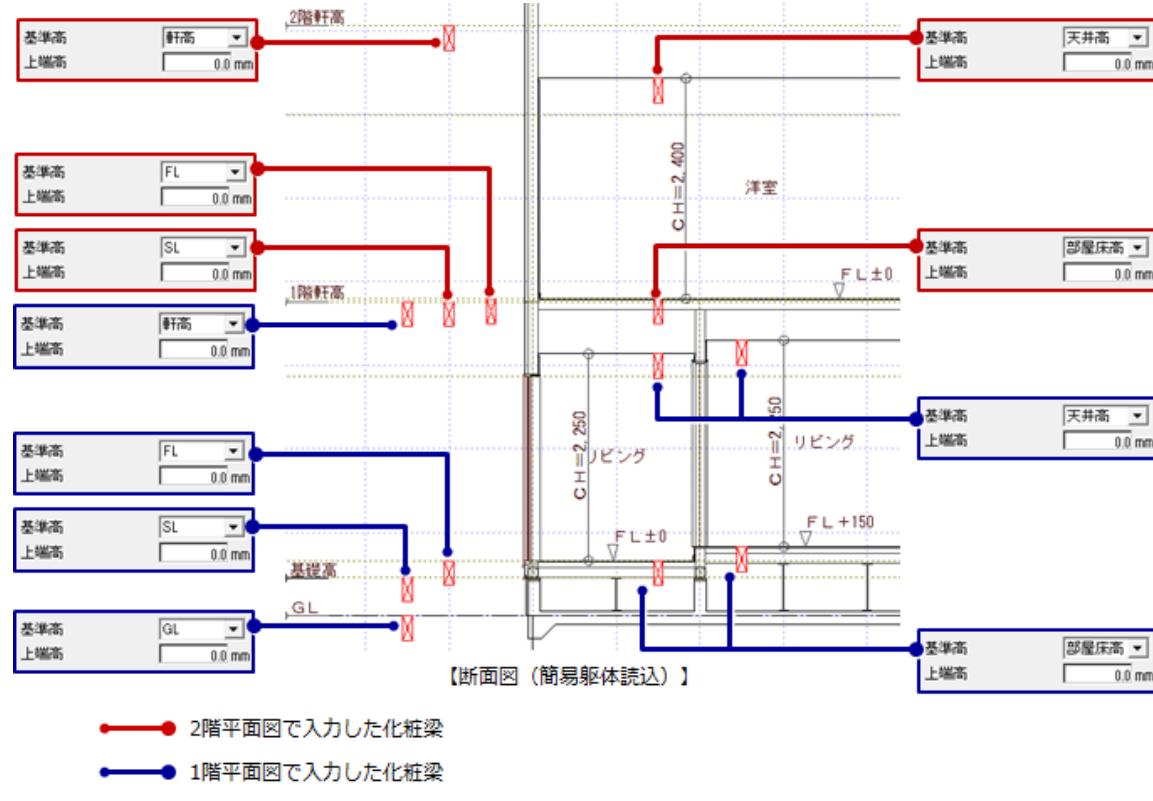


4

梁の始点と終点をクリックします。



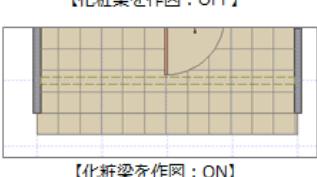
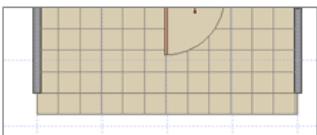
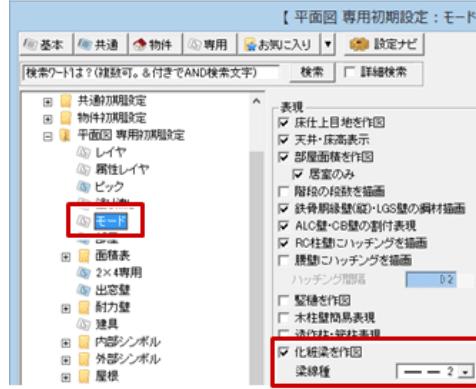
化粧梁の基準高について



SL・FL・軒高	「物件初期設定：基準高さ情報」で設定されている各階の高さが基準となります。例えば、1階の基礎天端の位置に入力したいときは、1階で「SL」基準で入力します。1階軒高の位置に入力したいときは、1階で「軒高」基準で入力するか、2階で「SL」基準で入力するかになりますが、化粧梁の平面表現を2階で作図したいときは、2階で入力します。
部屋床高・天井高	化粧梁を入力する部屋属性の「床高増減」「天井高」を参照するため、入力する部屋によって配置される高さが異なります。



- 化粧梁は「平面図入力モード」では表示されません。化粧梁を「平面図入力モード」で作図したいときは、「専用初期設定：モード」の「化粧梁を作図」をONにします。



平面図

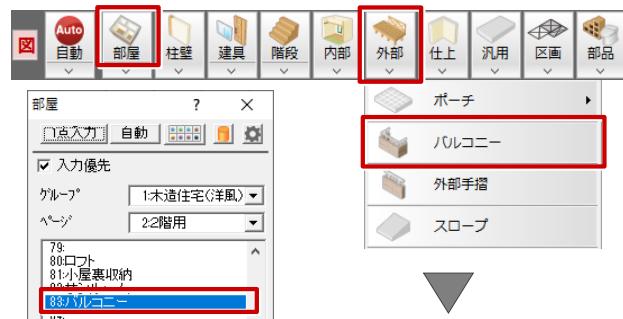
Q

バルコニーの入力方法を教えてください。

A

「外部」メニューの「バルコニー」または「部屋」を使って、バルコニーを入力します。

- 天井がなく外側に出ているバルコニーは「外部」メニューの「バルコニー」、インナーバルコニーや下階に部屋がある場合は「部屋」コマンドのバルコニーをお使いいただくと便利です。
- バルコニー領域を部屋面積として積算や壁量計算の荷重面積に加える場合は、「部屋」コマンドで入力します。



【部屋での入力】



【シンボルでの入力】

バルコニーをシンボルで入力する方法

1

2階平面図を開き、「外部」メニューから「バルコニー」を選びます。

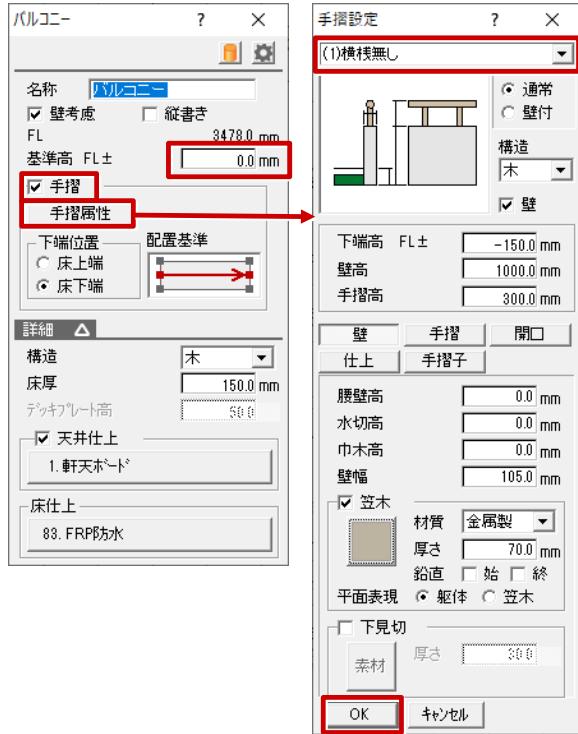


2

「バルコニー」ダイアログの「手摺」がONになっていることを確認します。
必要に応じて「基準高」を調整します。

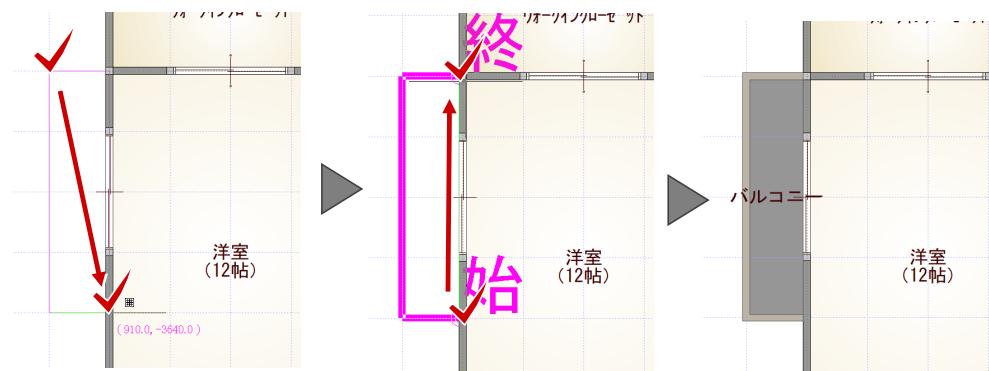
3

「手摺属性」をクリックし、手摺のタイプを選んで「OK」をクリックします。



4

バルコニーの範囲を指定し、手摺の開始位置と終了位置をクリックします。



外部部屋でインナーバルコニーを入力する方法

1

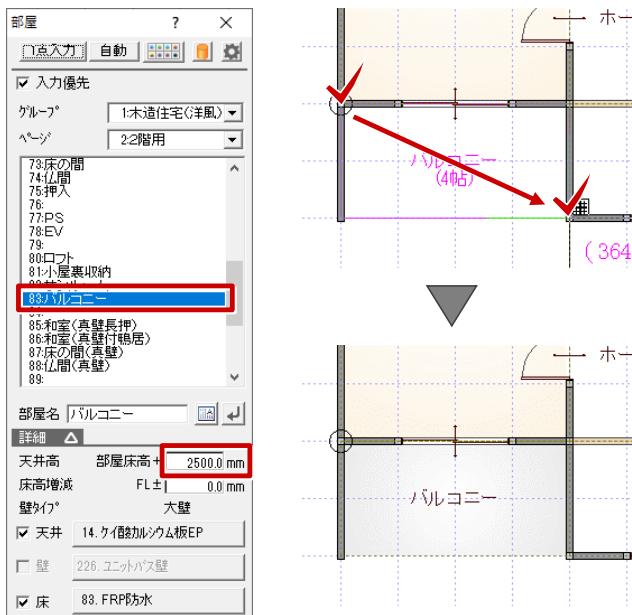
2階平面図を開き、「部屋」をクリックします。



2

「バルコニー」を選び、部屋領域を指定します。

必要に応じて「天井高」を調整します。



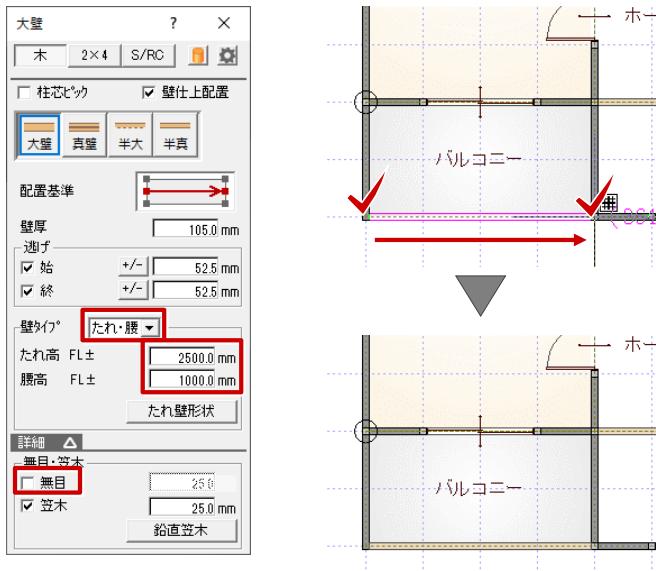
3

「柱壁」メニューから「壁」を選びます。



4 「大壁」ダイアログの「壁タイプ」を「たれ・腰」に変更します。
必要に応じて「たれ高」、「腰高」を調整し、「無目」を OFF にします。

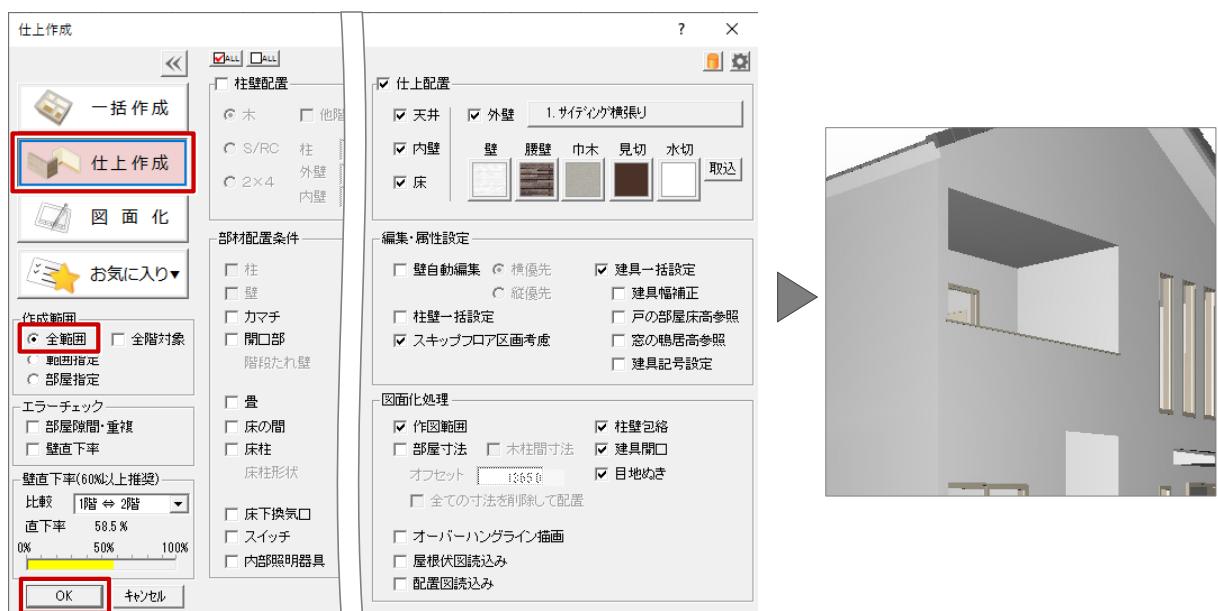
5 木壁の始点と終点をクリックします。



6 「一括作成」をクリックします。

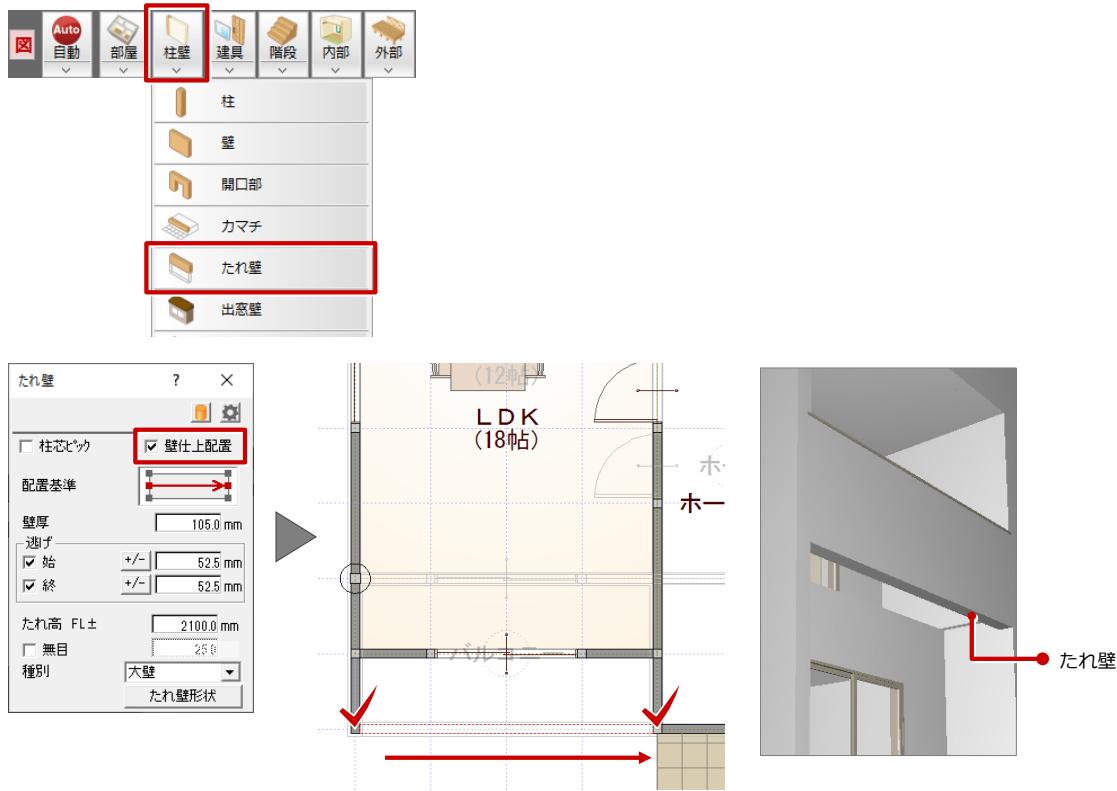


7 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選び、「作成範囲」の「全範囲」を ON にして「OK」をクリックします。



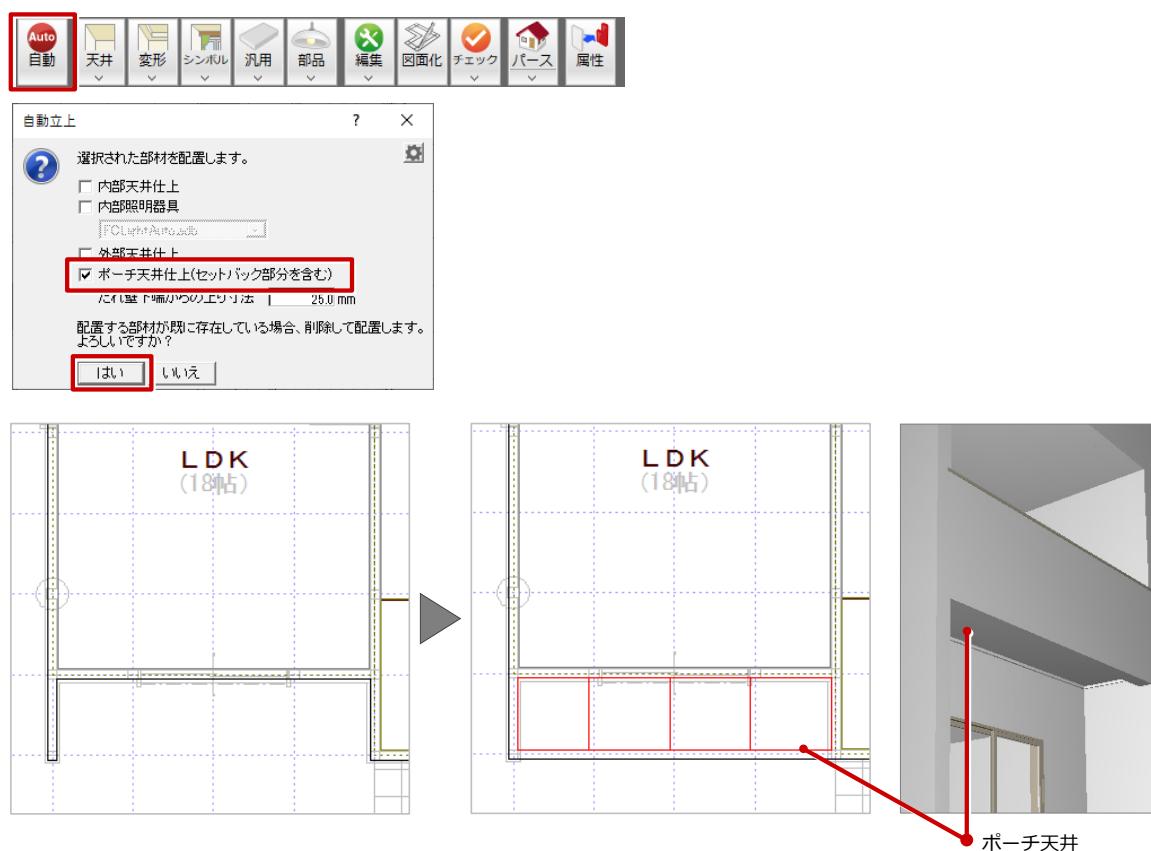
8

1階平面図を開き、「柱壁」メニューの「たれ壁」で「壁仕上配置」をONにしてバルコニー手摺下にたれ壁を入力します。



9

1階天井伏図を開き、「自動立上」をクリックします。
「自動立上」ダイアログで、「ポーチ天井仕上」のみONにして「はい」をクリックします。



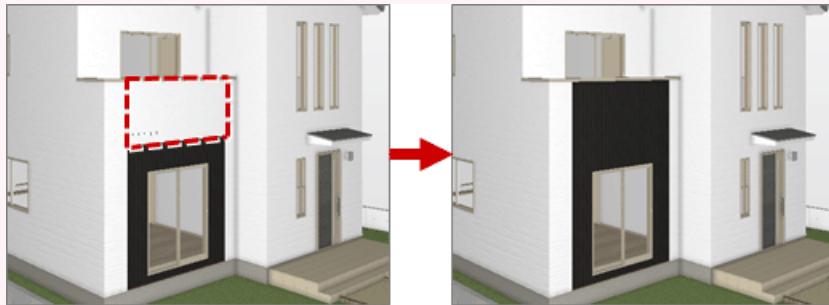
平面図

Q

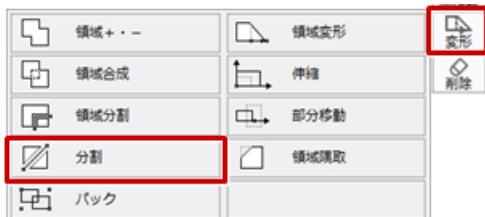
バルコニーの手摺壁の仕上を張り分ける方法を教えてください。

A

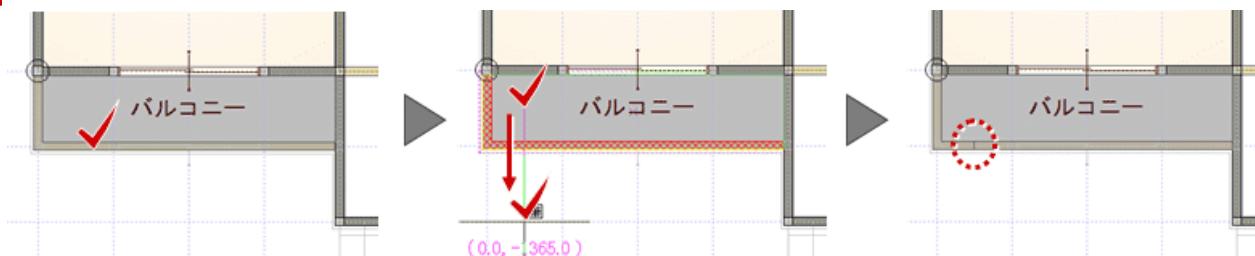
「変形」メニューの「分割」を使用して手摺を分割し、手摺の属性変更で仕上を張り分けます。



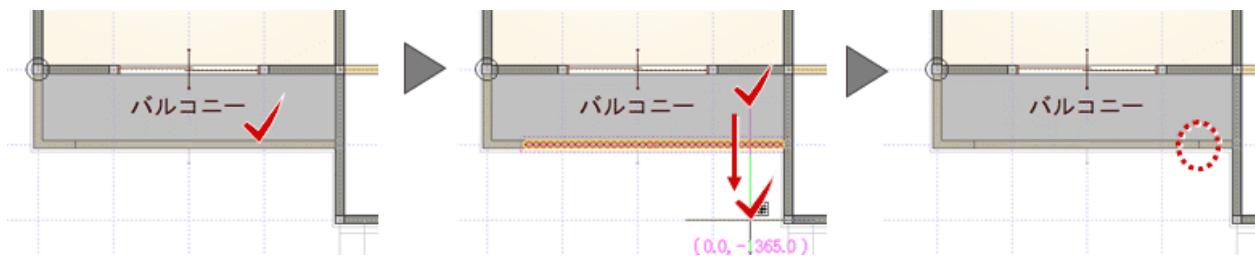
1 「変形」メニューから「分割」を選びます。



2 手摺をクリックして、分割する位置で始点、終点をクリックします。



3 続けて、手摺をクリックして、分割する位置で始点、終点をクリックします。



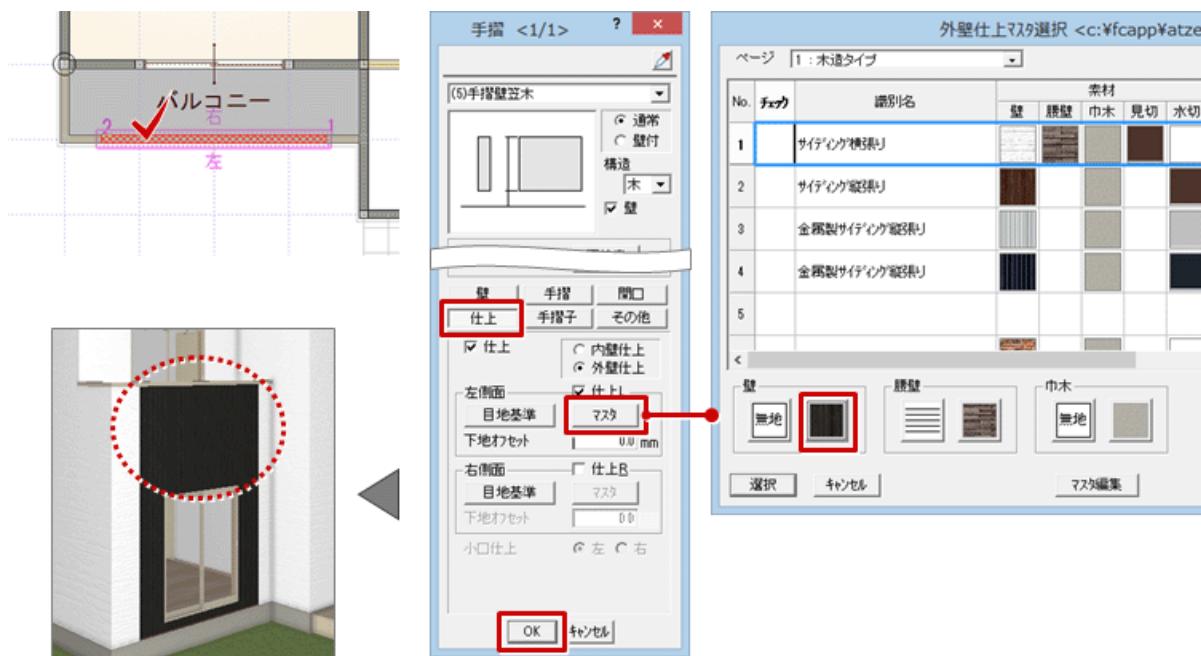
4 「属性変更」をクリックします。



5 手摺をクリックします。

6 「手摺」ダイアログの「仕上」を選んで、「マスタ」をクリックします。

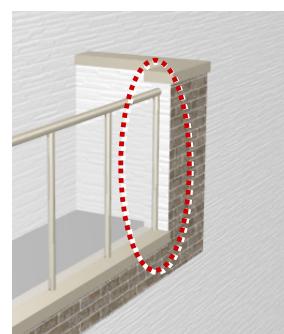
7 外壁仕上または素材を変更して、「OK」をクリックします。



・「変形」メニューの「分割」で分割された手摺は、手摺を接着して分割前の状態に戻すことはできません。



・手摺の仕口部分はパーススタジオで張り替える
ことができます。



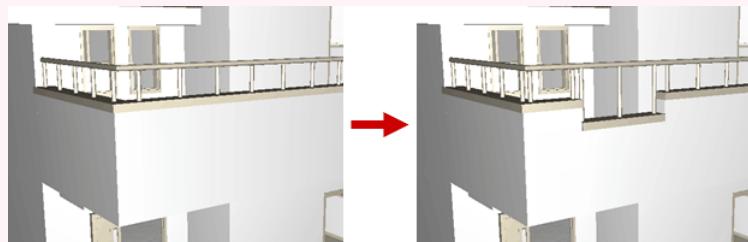
平面図

Q

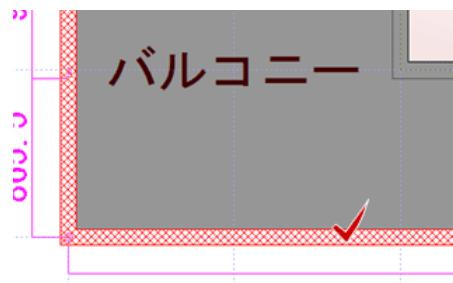
手摺壁の高さを一部だけ変更する方法を教えてください。

A

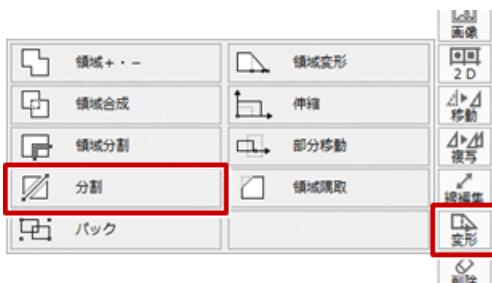
高さを変更したい部分の手摺壁を分断して、手摺壁の属性ダイアログで手摺壁の高さを変更します。



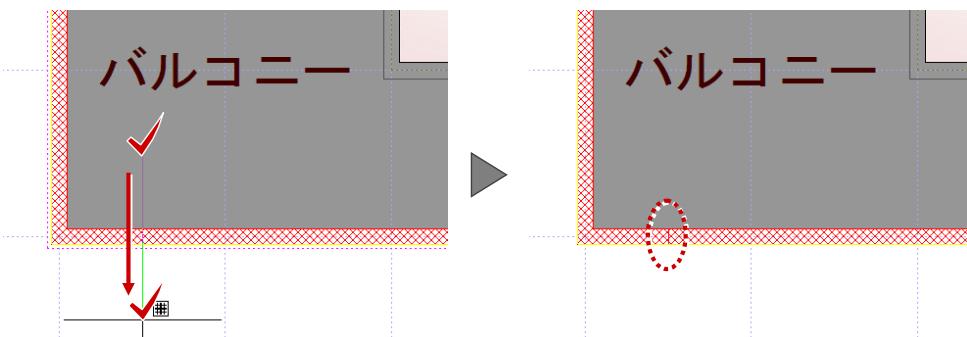
1 バルコニーの手摺壁を選択します。



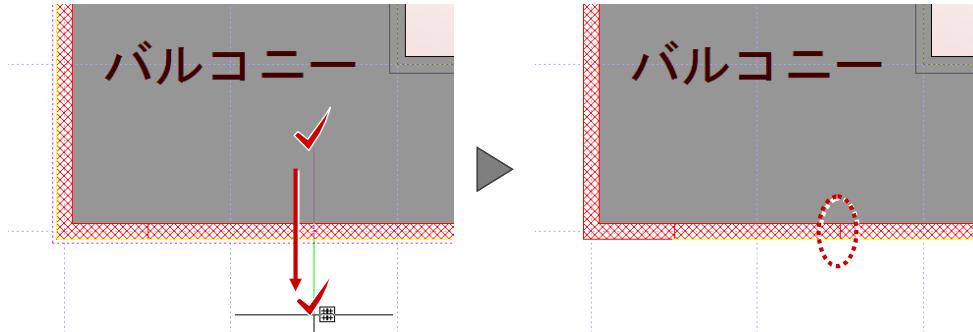
2 「変形」メニューから「分割」を選びます。



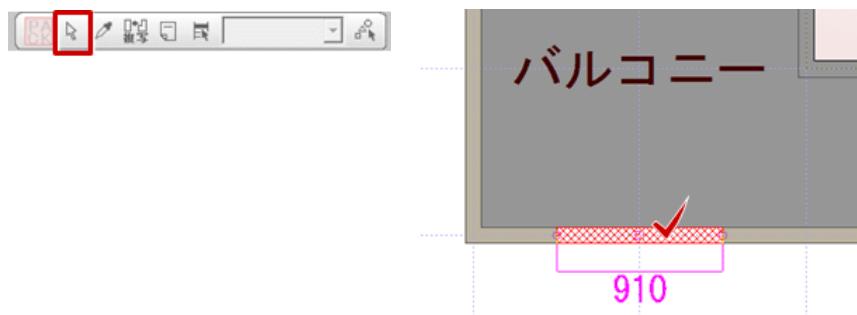
3 手摺壁を分断する線分の始点と終点をクリックします。



4 もう一箇所分断する線分の始点と終点をクリックします。



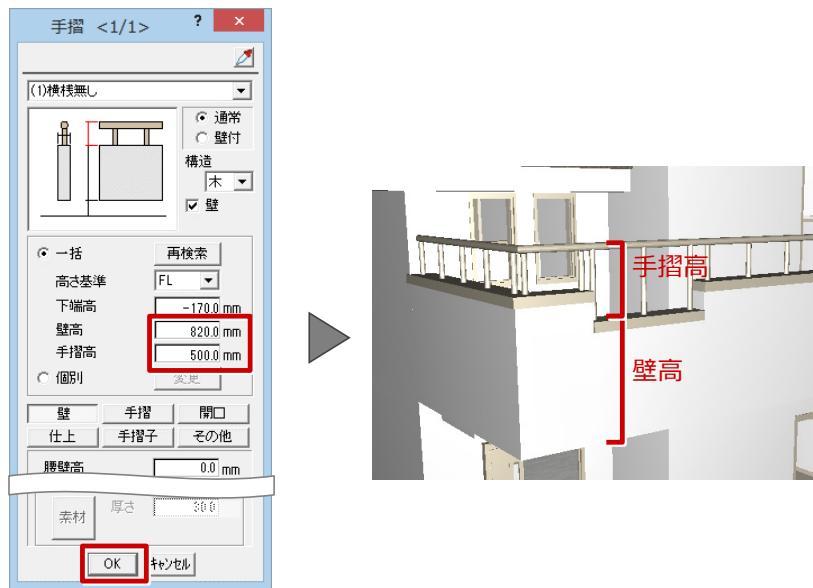
5 「対象データ選択」をクリックして、高さを変更する手摺壁を選択します。



6 「属性変更」をクリックします。



7 「手摺」ダイアログの「壁高」と「手摺高」を変更して、「OK」をクリックします。



平面図

Q

パースモニタで筋かいを表現する方法を教えてください。

A

「外部」メニューの「化粧材」の「ななめ飾り」を使用して、パースモニタで筋かいを表現します。

1 「柱壁」メニューから「柱」を選択します。



2 配置位置をクリックします。



3 「外部」メニューから「化粧材」の「ななめ飾り」を選択します。



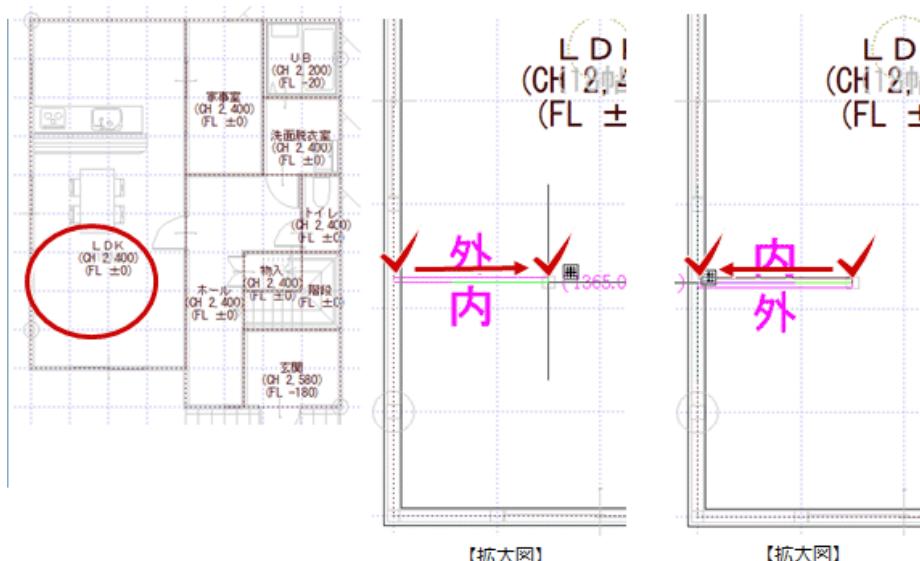
4

「ななめ飾り」ダイアログで形状やサイズ、素材を設定します。
ここでは「見付」を「90」、「見込」を「45」とし、「オフセット」を OFF にします。



5

左から右方向に始点、終点をクリックして、続けて右から左方向に始点、終点をクリックします。



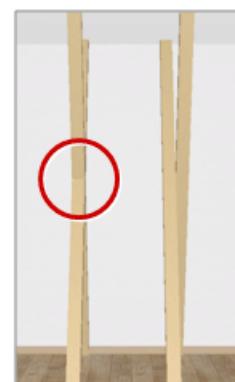
【拡大図】

【拡大図】



・ここでは「見付形状」の「クロス」を使わずに、ななめ飾りを 2 本入れてダブル（たすき掛け）の筋かいを表現します。

「見付形状」を「クロス」で入力した場合、
交差部分の立体が重なります。

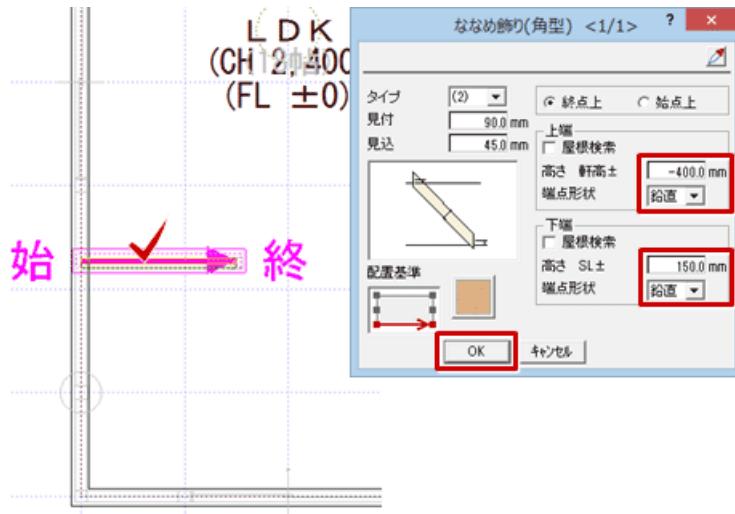


6 「属性変更」をクリックします。



7 ななめ飾りをクリックします。

「ななめ飾り」ダイアログの「上端」「下端」の高さや形状を変更して、「OK」をクリックします。
ここでは、「上端」の「高さ」を「-400」、「端点形状」を「鉛直」、「下端」の「高さ」を「150」、「端点形状」を「鉛直」にします。



8 同様に、もう 1 つのななめ飾りも変更します。



平面図

Q

平面図で方位マークを入力する方法を教えてください。

A

「汎用」メニューの「2Dマーク」の「方位マーク」を使用して、方位マークを入力します。
配置図の方位マークを平面図に読み込むこともできます。

平面図で方位マークを入力する方法

1

「汎用」メニューから「2Dマーク」の「方位マーク」を選びます。



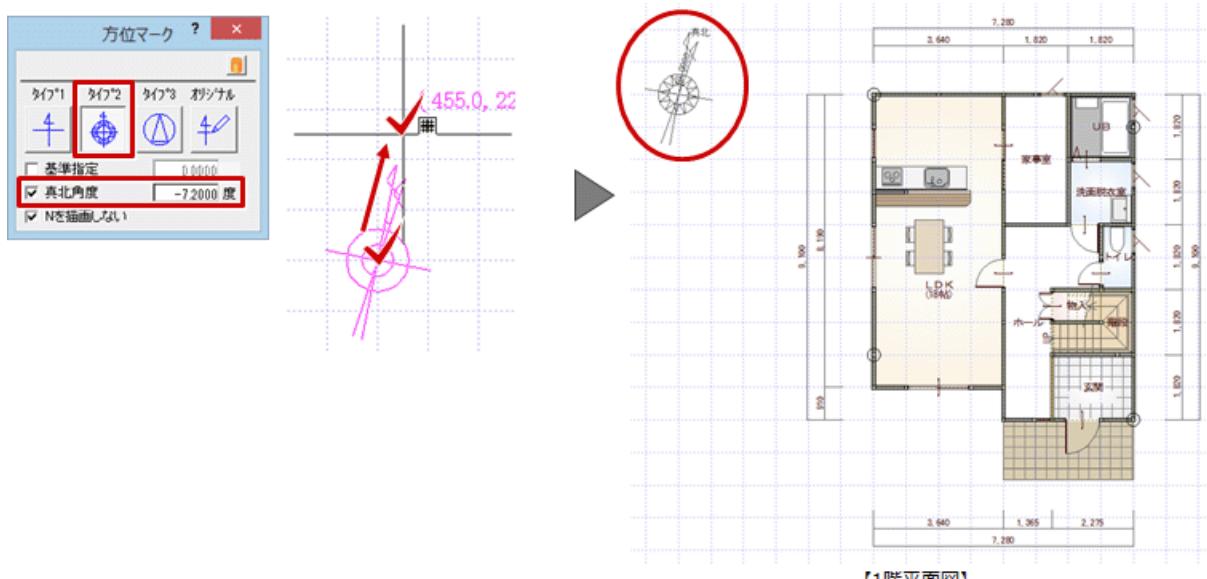
2

「方位マーク」ダイアログでタイプを選びます。

磁北と真北を表示するときは「真北角度」をONにして、偏角をマイナス値で設定します。

3

方位マークの基準点、方向をクリックします。

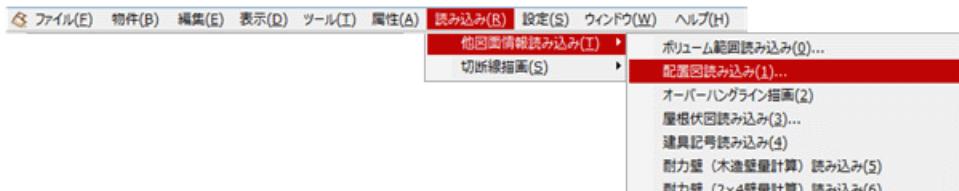


配置図の方位マークを読み込む方法

配置図に方位マークが入力してある場合は、そのまま平面図に読み込むことができます。

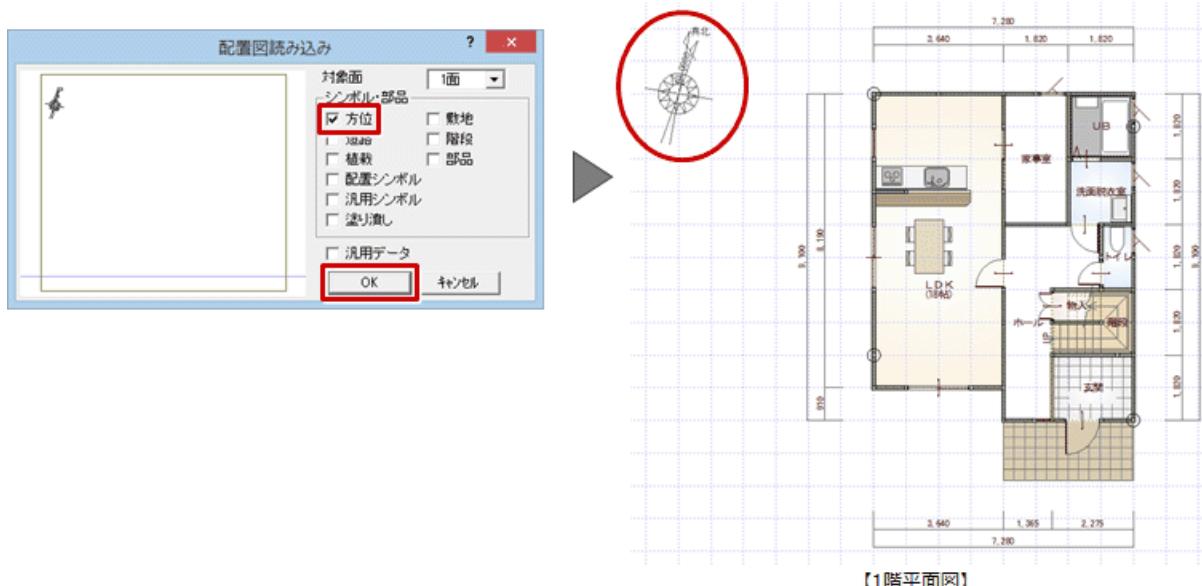
1

「読み込み」メニューから「他図面情報読み込み」の「配置図読み込み」を選びます。



2

「配置図読み込み」ダイアログの「方位」のみ ON にして、「OK」をクリックします。



【1階平面図】



・方位マークは、平面図、配置図どちらでも入力可能ですが、立面図などに連動する方位には優先順位があります。

- ① 配置図 1 面と平面図に方位マークの入力がある場合、配置図 1 面の方位マークを優先します。
- ② 配置図 1 面に方位マークの入力がない場合、平面図の方位マークを参照します。
- ③ 配置図 1 面にも平面図にも方位マークがない場合、配置図 1 面の真上を北として方角を設定します。

平面図

Q

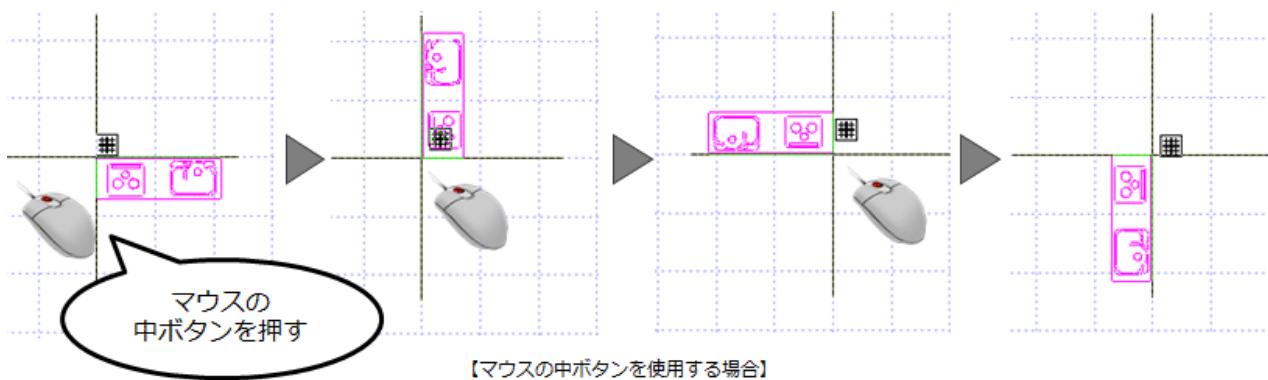
部品を入力するとき、向きを変えて配置する方法を教えてください。

A

以下の 2 つの方法があります。

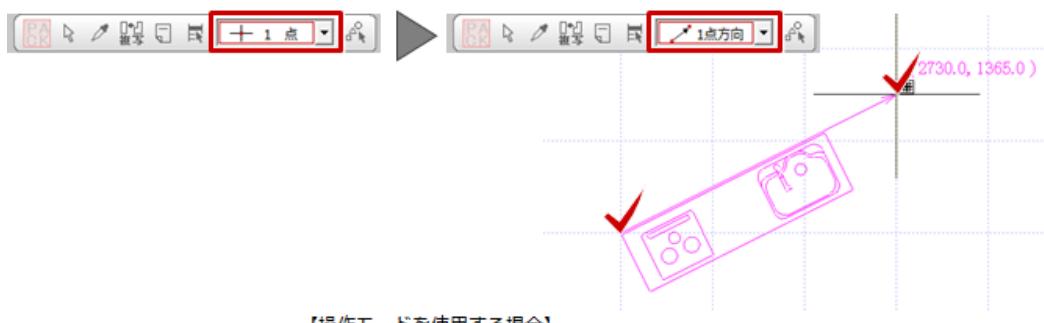
- ・マウスの中ボタンを押して 90° ずつ向きを変える
- ・操作モードを「1 点方向」にして任意の方向に向きを決める

マウスの中ボタンを押して 90° ずつ向きを変える方法



※ 無変換キーを 1 回押しても 90°回転します。

操作モードを「1 点方向」にして任意の方向に向きを決める方法



平面図

Q

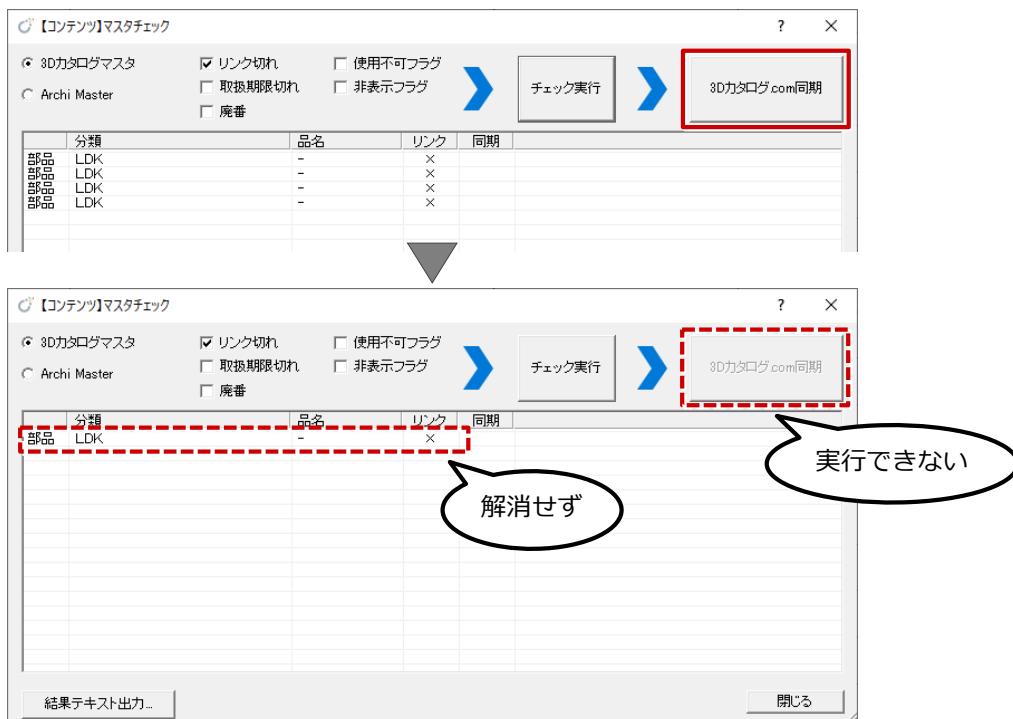
「ツール」メニューの「建材マスタリンク切れチェック」から「3D カタログ.com 同期」を実行できません。または実行してもリンク切れになります。リンク切れを解消する方法を教えてください。

A

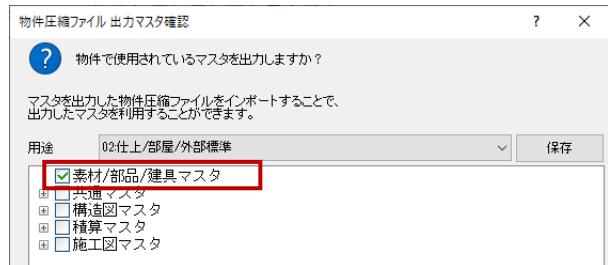
「3D カタログ.com 同期」を実行したときは、3D カタログマスターの標準マスターと 3D カタログ.com からダウンロードしたアイテムが、チェックと取得の対象になります。

3D カタログマスターで複製、新規登録したオリジナルのアイテムはリンク切れ取得の対象になりません。DATA STATION のデータも対象外となります。

この場合にリンク切れを解消するには、ご使用のマスターにあるアイテムを入力しなおしてください。



- 「エクスポート」「インポート」など物件データを「.fcbz」で取得する場合、エクスポート時に「素材/部品/建具マスター」を添付することで、リンク切れするアイテムを少なくすることが可能です。



- DataStation のコンテンツに関しては、「3D カタログの A 会員契約」 + 「DataStation 契約」がされていないとリンク切れになります。

平面図

Q

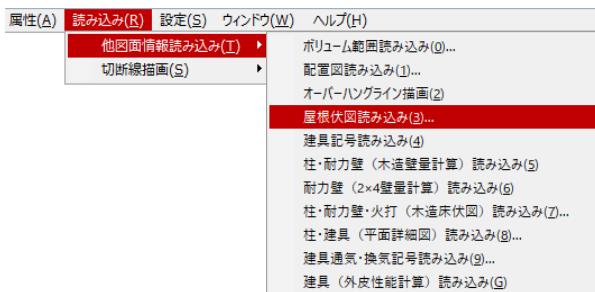
2階平面図に下階の屋根を読み込む方法を教えてください。

A

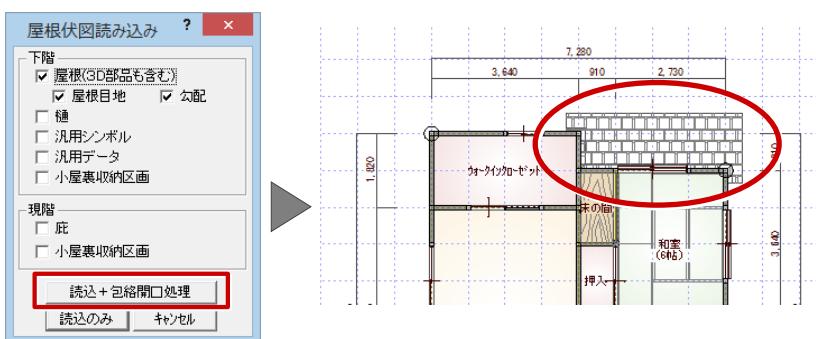
「読み込み」メニューの「他図面情報読み込み」の「屋根伏図読み込み」をクリックします。

1 2階平面図を開きます。

2 「読み込み」メニューから「他図面情報読み込み」の「屋根伏図読み込み」を選びます。



3 「屋根伏図読み込み」ダイアログの「読み込み」ボタンをクリックします。
下階の屋根伏図が読み込まれます。



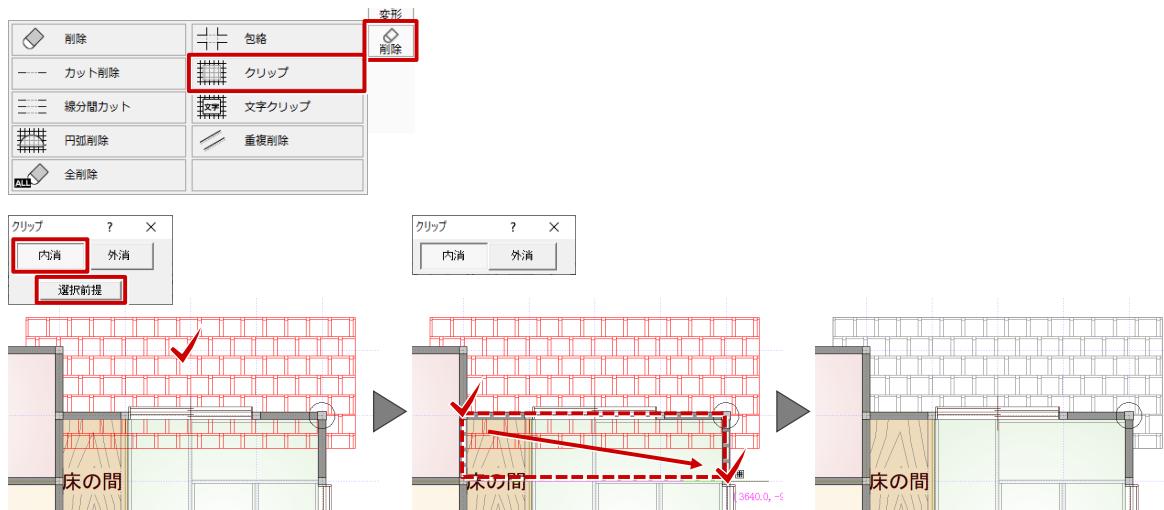
読み込み可能なデータについて

屋根 (3D 部品も含む)	屋根、ダクト、ドーマ、トップライト、煙突、棟換気、カマボコ、ドーム、棟瓦、のし瓦、縦型ドレイン、横型ドレイン ※ 3D カタログ部品・AM 部品・3D 部品が読み込み対象 ※ 屋根の目地と勾配も読み込みたいときは、「屋根目地」「勾配」を ON にします。
樋	軒樋、集水器、曲り、はい樋
汎用シンボル	水平面、鉛直面、台形面、傾斜面、つみき (直方体、柱体、梁形、錐体、球体)、自由鉛直面、自由押出形状
汎用データ	補助点、線分、文字、寸法線などの汎用データ、汎用コマンドで入力された塗り潰しデータ、高さ表記
小屋裏収納区画	「区画」メニューの「小屋裏収納区画」で入力した小屋裏収納区画
庇	庇 ※ 2階平面図に2階屋根伏図の庇を読み込みたいときは、ON にします。



・「読み込+包絡開口処理」で包絡開口処理される対象は、柱や壁、建具や出窓壁などです。

・部屋領域は包絡されませんので、屋根伏図のデータを読み込んだ後に「削除」メニューの「クリップ」の「内消」などで編集を行ってください。



平面図

Q

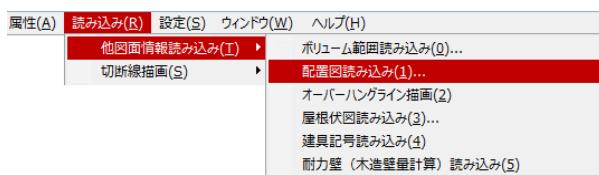
平面図に配置図を読み込む方法を教えてください。

A

平面図の「読み込み」メニューの「他図面情報読み込み」の「配置図読み込み」で敷地、道路、方位などを読み込みます。

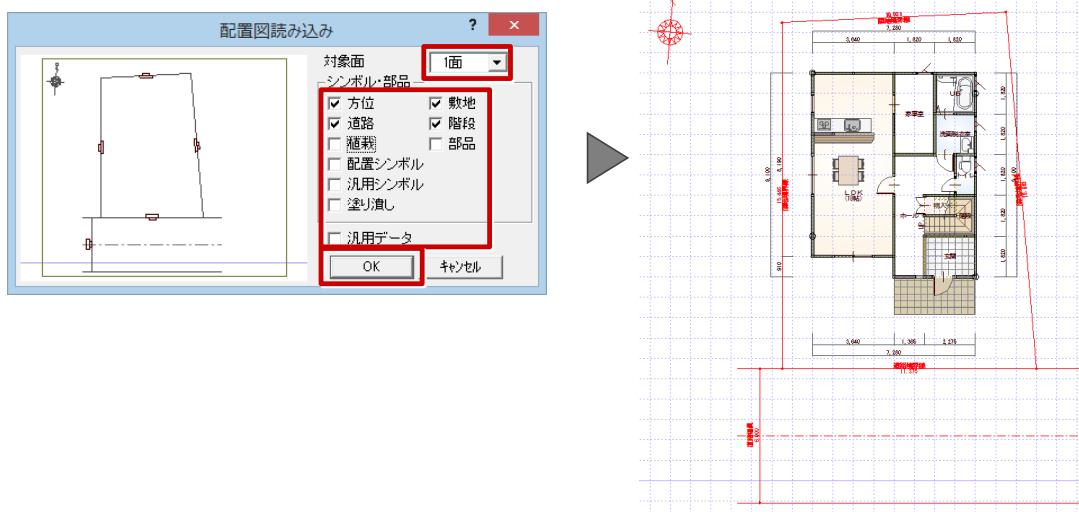
1

「読み込み」メニューから「他図面情報読み込み」の「配置図読み込み」を選びます。



2

「配置図読み込み」ダイアログで、読み込む配置図の対象面、読み込むデータを設定して「OK」をクリックします。

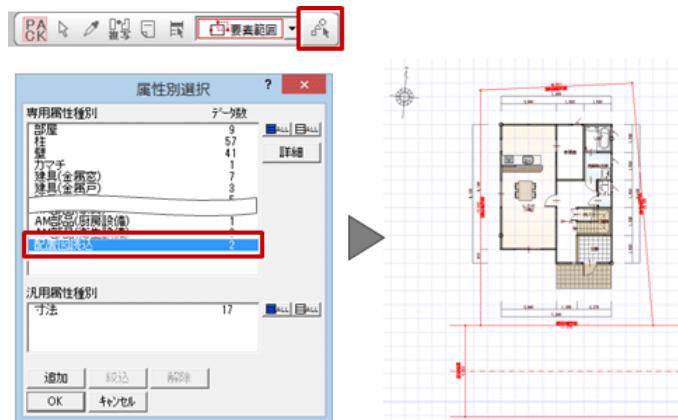


- 方位マーク以外の配置図の敷地、部品、汎用シンボルなどは、汎用データとして読み込まれます。
- 読み込み可能なデータは次の通りです。

植栽	樹木、植栽、芝生
配置シンボル	塀、塀飾り、フェンス、擁壁、スロープ、外部手摺、アプローチ、ウッドデッキ、ウッドフェンス、ガラスブロック、外装ルーバー、飛び石、表札・看板、簡易建物、法面 ※自動車軌跡は読み込み対象外
汎用シンボル	水平面、鉛直面、台形面、傾斜面、つみき（直方体、柱体、梁形、錐体、球体）、自由鉛直面、自由押出形状
塗り潰し	配置図の塗り潰しデータ（汎用データを除く）
汎用データ	補助点、線分、文字、寸法線などの汎用データ、汎用コマンドで入力された塗り潰しデータ、高さ表記



・読み込んだ配置図データ（方位マーク以外）を削除するには、「属性別選択」で「配置図読込」だけを選び、読み込んだ配置図データを選択してから削除します。



平面図

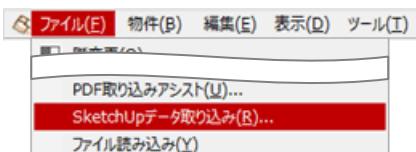
Q

SketchUp データを取り込む方法を教えてください。

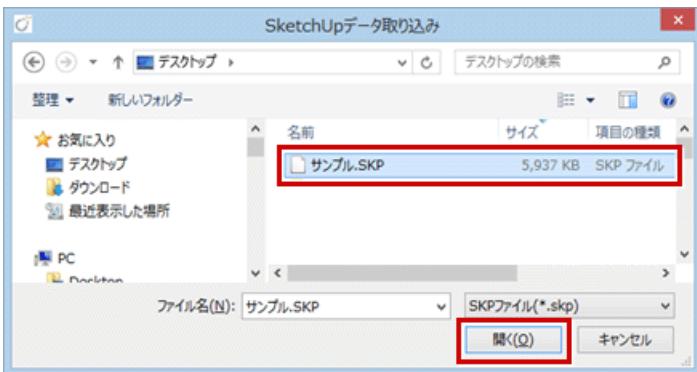
A

平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図、平面詳細図、パースモニタ、パーススタジオで「ファイル」メニューの「SketchUp データ取り込み」を実行します。

1 「ファイル」メニューから「SketchUp データ取り込み」を選びます。



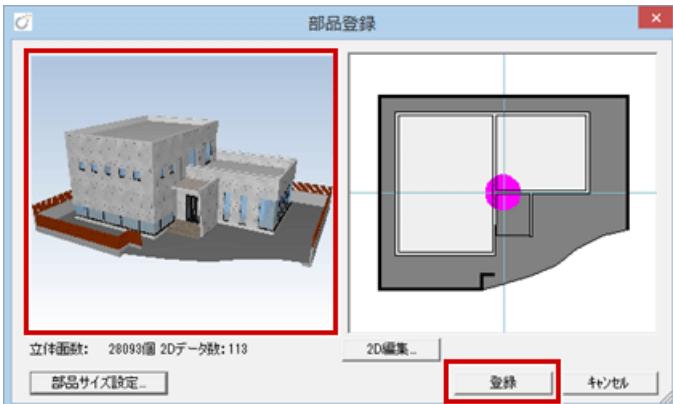
2 読み込む SketchUp データファイル (*.skp) を指定して「開く」をクリックします。



3 「部品登録」ダイアログで 3D モニタのアングルを調整します。この表示状態が部品登録時のサムネイル画像となります。

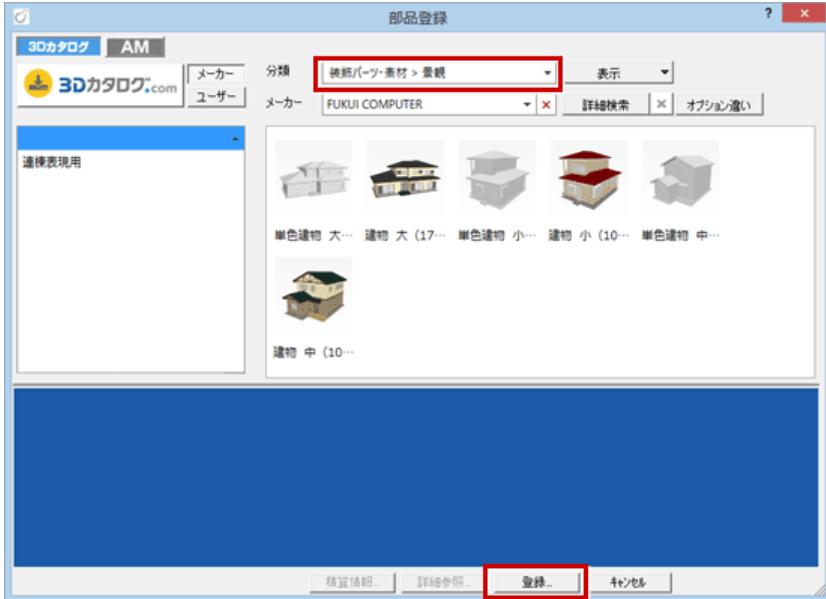
※ 2D モニタに表示される ● の位置が配置基準点になります。変更する場合は 2D モニタ上をクリックします。

4 「登録」をクリックします。

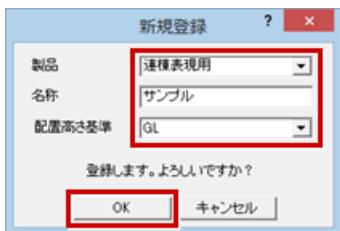


回転	マウスの右ボタンを押したまま ドラッグします。
移動	マウスのホイールボタンを押し たまま ドラッグします。
拡大・縮小	マウスのホイールボタンを回し ます。または両ボタン ドラッグ を使用します。

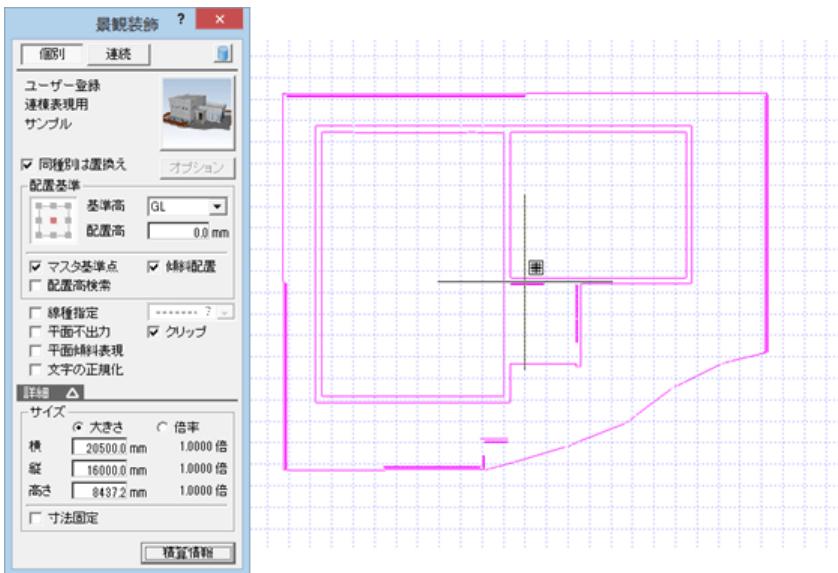
5 登録先となる 3D カタログマスター の分類を選んで、「登録」をクリックします。



6 登録する製品、名称、配置高さ基準を設定して、「OK」をクリックします。



7 登録した部品を入力できる状態になります。



- SketchUp データの面数が 50000 面を超える場合は登録できません。
SketchUp にて登録面数を減らしてから、再度取り込んでください。

